

上田市文化財調査報告書第44集

神林遺跡 下郷古墳群

平成2年度県営ほ場整備事業殿城地区施工に伴う
神林遺跡ほか発掘調査概要報告書

1992. 3

上田市教育委員会
上小地方事務所

神林遺跡 下郷古墳群

平成2年度県営は場整備事業歴城地区施工に伴う
神林遺跡ほか発掘調査概要報告書

1992. 3

上田市教育委員会
上小地方事務所

序

昭和 63 年度からはじまった県営ほ場整備事業殿城地区に伴う埋蔵文化財の発掘調査も、本調査をもって一段落しました。

振り返りますれば、昭和 63 年度はほ場整備の開始の年であり、林之郷遺跡の第一次調査が行われ、平安時代の集落址が記録されました。続く平成元年度には林之郷遺跡の第二次調査と、八千原遺跡の調査を行いました。林之郷遺跡からは弥生時代末から古墳時代にかけての集落址が良好な状態で検出され、八千原遺跡からは県内でも有数の縄文時代の敷石住居群が検出され、歴史研究に多大な成果を提供することができました。そして平成 2 年度、神林遺跡と下郷古墳群の調査を行い、ここに御報告する次第です。

3 ケ年にわたる調査にあたりましては、長野県教育委員会、上小地方事務所、上田市農政部の関係各課の方々の御指導・御協力をいただき、ことに、殿城地区ほ場整備実行委員会や林之郷・漆戸・下郷各自治会の皆様には、調査が円滑に進捗するよう御尽力いただきました。さらに、調査にあたっていただいた諸先生方・作業員の皆様には、夏の猛暑から烏帽子岳の吹き下ろしの冷たい時期、現場で御苦労頂きました。ここに関係各位に衷心より感謝申し上げます。

1998 年冬季長野オリンピックの開催決定とともに、上信越自動車道や北陸新幹線の建設事業が着工に向け急ピッチで進捗し、それとともに各種の開発計画が日程押しの状態となり、埋蔵文化財の保護はいよいよ最大の難関を迎えようとしています。自動車道や新幹線が長野県、上田市にとっても『百年の計』の大事業であることは勿論ですが、遺跡が語る歴史の重みもまた感じつつ、皆様方の御理解・御協力を切にお願いし序といたします。

平成 4 年 3 月

上田市教育委員会教育長 内藤 尚

例　　言

- 1 本書は長野県上田市大字下郷字神林における平成2年度県営は場整備事業殿城地区に伴う、神林遺跡ほか発掘調査概要報告書である。
- 2 平成2年度は、上田市教育委員会が赤羽寮を調査団長として、神林遺跡ほか発掘調査團を組織し、平成3年度は、上田市教育委員会が塙入秀敏を調査団長として、上田市遺跡発掘調査團を組織し、調査を一部委託して実施した。なお、事務局は上田市教育委員会社会教育課が担当した。
- 3 調査は、1990年（平成2年）6月1日から1991年3月25日まで、及び1991年5月1日から1992年3月25日までの2ヶ年度にわたって実施した。この間の調査は調査團の指導のもと、主に中沢徳士が担当した。なお、下郷第2号古墳の調査については、特に塙入秀敏が主に行い、出土人骨については信州大学医学部の西沢寿光氏に玉稿をいただいた。
- 4 遺構の実測は塙入、倉沢正幸、中沢、荒井かき子が行い、一部を御写真測図研究所及び新日本航業㈱に委託して実施した。
- 5 遺物の実測・観察は荒井・小野沢恵美子・唐沢裕子・小林明子・大井敬子・市村みつ子が行い、中沢が確認・修正・加筆した後、トレースした。なお、一部小川忠博が撮影した写真とともに実測をした。
- 6 文章の文責は文末に記した。
- 7 図版の版組は荒井が行った。
- 8 遺構の写真は倉沢・中沢・林正治・井部定夫が撮影し、遺物の写真は中沢が撮影した。
- 9 遺物の洗浄は現場作業員が、注記・接合・整理は整理作業員が行った。なお、石膏による復元は樋口眞知子が行った。
- 10 本調査にかかる資料は上田市立信濃國分寺資料館に保管してある。
- 11 本書の編集発行は事務局が行った。
- 12 本調査に当たり、次の皆さんに御協力・御助言をいただいた。記して感謝する次第である。
上田市文化財保護審議会、長野県教育委員会文化課、殿城地区は場整備実行委員会、下郷自治会、上田市農協そ菜センター、上田市立清明小学校、小川忠博、信州大学医学部西沢寿光（順不同・敬称略）
- 13 平成2年度調査に係る「神林遺跡ほか発掘調査團」の組織は次のとおりである。
顧問 五十嵐幹雄（日本考古学協会員、上田市文化財保護審議会委員）
“ 岩佐今朝人（日本考古学協会員、上田小松誌考古編纂副主任）
団長 赤羽寮（平成2年10月10日まで上田市教育委員会教育長）
副団長 小林陽三（上田市教育委員会教育次長）
調査員 塙入秀敏（日本考古学協会員、上田女子短期大学助教授）
“ 猪熊啓司（上小考古学研究会員、長野県長野高等学校教諭）

〃 川上元（日本考古学協会員、社会教育課課長補佐兼文化係長）
〃 倉沢正幸（長野県考古学会員、上田市立信濃國分寺資料館学芸員）
担当者 中沢徳士（社会教育課学芸員）
調査員 塩崎幸夫（社会教育課主事）
〃 久保田敦子（社会教育課主事）

14 平成3年度調査に係る「上田市遺跡発掘調査団」の組織は次のとおりである。

顧問 五十嵐、岩佐（いずれも前出）
团长 塩入秀敏（日本考古学協会員、上田女子短期大学助教授）
副团长 川上元（日本考古学協会員、上田市立博物館長）
調査員 猪熊、倉沢、中沢、尾見智志（平成3年4月1日より社会教育課主事）、塩崎、久保田

監事 久保浩美（上田市文化財保護審議会委員、元文化課文化財保護係長）、岩佐

15 本調査に係る事務局の体制は次のとおりである。

事務局長 須藤清彬（社会教育課長）
同次長 川上元（社会教育課文化係長、平成3年3月25日まで）
寺島隆史（社会教育課文化係長、平成3年4月1日から）
事務局員 中沢、塩崎、久保田、小林香保利（平成3年3月25日まで）、尾見智志（平成3年4月1日から）（社会教育課文化係）

16 現場作業に参加・協力していただいた方々（順不同、敬称略）

柳沢仁美、井部定雄、林正治、岩下真、柴崎仁志、三井千代子、小林ひさ江、久保寺純子、柴崎和美、荒井かぎ子、逢坂いさむ、小菅洋子、小林てい、清水潤二、宮之上よし子、渡辺製婆俊、飯塚謙三、佐野とも、佐野もと江、酒井あい子、小林佐代子、小林増右衛門、成沢伯、竹内三郎、西沢勝、小山康直、関茂樹、清水芳敏、宮入義一

17 整理作業に参加・協力していただいた方々（順不同、敬称略）

荒井かぎ子、小野沢恵美子、唐沢裕子、小林明子、大井敬子、市村みつ子、樋口眞知子、樋口若子、田中弥重子、清水潤二、小林由美子、窪田幸子

18 今回の調査により、多くの遺構・遺物が検出された。遺構の完掘状況はすべて掲載したが、出土状況等は除いた。また遺物は、遺構に伴う代表的なものを中心を選択して報告した。

凡　例

遺構

- 1 遺構の略号は、神林遺跡 = K N B 、下郷古墳 = S M G 、堅穴住居址 = S B - 、掘立柱建物址 = S T - 、土壙 = S K - 、ピット = P - 、溝址 = S D - 、堅穴住居址のピット = P とし、統一番号は任意で、欠番も生じている。
- 2 遺構の版組は、国家座標の北を基準に行ったが、紙面の都合により例外もある。
- 3 遺構実測図は、原則として原図 $1/20 \cdot 1/10$ とし、縮尺 $1/4$ としたが、紙面の都合により例外もある。
- 4 遺構が混乱や切り合いによって破壊を受けている場合は、破線で示した。
- 5 遺構の主軸方位は、国家座標の北とのなす角度で示し、竪を伴う住居址については、竪を通る中軸線とのなす角度で示した。
- 6 遺構を示す規模の単位は、原則として m で、その他の場合は単位を示した。
- 7 焼土は網点のスクリーントーンで示した。
- 8 遺構写真の縮尺は任意であり、写真の横には、遺構番号と撮影の方向を () 内に東・西・南・北をそれぞれ E · W · S · N と示した。

遺物

- 1 遺物実測図は、原則として原図 $1/1$ 、縮尺 $1/4$ としたが、例外もある。
- 2 上器の実測方法は 4 分割法を用い、右 $1/2$ に断面及び内面を、左 $1/2$ に外面を記録した。
- 3 黒色処理のある遺物は網点のスクリーントーンで示した。
- 4 節割りの方向は矢印で示した。
- 5 遺物観察表の、法量は cm で、3 段構成の上から口径（蓋の場合は抓み径）、器高（完存していない場合は残高）、底径（蓋の場合は根径）を記し、残存していない場合は「-」とした。器質の「胎」は胎土を、「焼」は焼成を、「色」は色調を表す。また、（外）（内）はそれぞれ外面・内面を示す。
なお、色調は遺物の基本的な色を、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財團法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』1991年を用いて判別した。
- 6 遺物写真の縮尺は任意であり、横に記してあるのは、遺構番号と、遺物図版番号である。

目 次

序

例言

凡例

目次

第一章 序説	1	第2節 遺物	43
第1節 調査の原因と経過	1	1 壺穴住居址出土遺物	43
1 調査に至る経過	1	2 上塙出土遺物	61
2 調査の経過	2	3 ピット出土遺物	68
第2節 調査の方法	3	4 溝址出土遺物	69
第3節 調査日誌	3	5 遺物観察表	74
第二章 遺跡の環境	4	第四章 下郷古墳群の調査	112
第1節 自然的環境	4	第1節 遺構	112
第2節 歴史的環境	7	1 第1号古墳	112
第3節 基本的層序	8	2 第3号古墳	113
.....	3 第2号古墳	114
第三章 神林遺跡の調査	9	第2節 遺物	120
第1節 遺構	9	1 第1号古墳出土遺物	120
1 壺穴住居址	10	2 第2号古墳出土遺物	120
2 土塙	24	3 第3号古墳出土遺物	127
3 ピット	30	4 第5号古墳出土遺物	127
4 溝址	36	5 遺物観察表	129
5 遺構一覧表	37	写真図版	137
付編 下郷第2号墳出土人骨について	173			



第 1 図 地図整備計画図及び調査範囲

第一章 序

第1節 調査の原因と経過

1 調査に至る経過

昭和62年6月23日付け農村発第80号で、上田市農政部農村整備課から「松原ほ場整備事業殿城地区における埋蔵文化財発掘調査について（協議）」として、上田市殿城地区のほ場整備事業を昭和63年度からの事業として計画している旨の協議があり、昭和63年度及び平成元年度の当該事業に係る埋蔵文化財発掘調査については、上田市教育委員会・上小地方事務所発行の『林之郷』（昭和63年度）及び『林之郷・八千原』（平成2年度）に報告したとおりである。

平成2年度のほ場整備施工に係る埋蔵文化財については、下郷集落から北へ上田市と真田町との境界に至る神川第2段丘をほ場整備するというもので、その施工区域内には周知の埋蔵文化財包蔵地である神林遺跡と下郷古墳群が存在していた。このため、平成元年秋、長野県教育委員会（以下「県教委」という）、上小地方事務所、上田市、上田市教育委員会（以下「市教委」という）の担当課・担当職員の出席により遺跡の保護協議を実施した。この席上、市教委は、遺跡の範囲確認のための試掘を早急に実施するよう、県教委より指導を受け、その結果によって再度協議を実施することとした。市教委ではこの後、試掘調査を実施し、この結果とは場整備の設計図面との照会を行い、平成2年6月12日再度協議を実施し、下記の計画で調査を実施することとした。

グローバル調査報告書

発 募 調 査 地	上田市人字下郷字神林
遺 跡 名	神林遺跡・下郷古墳群
遺 跡 の 状 況	地目（水田・畑）破壊状況（一部破壊）
調査の目的及び概要	開発事業者はほ場整備事業殿城地区に先立ち 4,000m ² 以上を発掘調査に付ける。本調査は平成2年10月31日までに終了する。調査報告書は平成3年3月31日までに刊行するものとする。
調査の作業日数	発掘作業 122日、整理作業 122日、合計 244日
調査に要する費用	19,808,000円
調査報告書作成部数	平成3年版
発 募 調 査 の 主 体 者	上田市教育委員会
経 費 の 負担割合	県政部局負担額（原 因 者）14,955,000円（75.5%） 文化財保護部局負担額（表家賃相分）4,853,000円（24.5%）
備 考	調査の結果、重要な遺構等が検出された時は、その保存について改めて協議するよう配慮する。

一方、平成2年6月1日には、この調査に際し市教委が新たに組織した『神林遺跡ほか発掘調査会』の赤羽京調査團長と上田市との委託契約が成立し、同日調査準備に着手した。

2 調査の経過

(1) 平成2年度の経過

本調査に係る平成2年度の契約、補助金の申請事務等は次に示すとおりである。

国庫補助金関係	県費補助金関係	上小地方事務所	発 報 調査 団
平成2年4月4日 「国庫第7号 補助金の内示」	平成2年4月4日 「教文第2号 補助金の内示」	平成2年5月10日 委託契約締結	平成2年6月1日 委託契約締結
平成2年4月5日付 「上教社第113号 補助金交付申請」	平成2年8月10日付 「教文第173号 補助金交付申請」	平成2年6月4日 審査委託契約締結 (計画変更による)	
平成2年7月24日付 「国庫第7号 補助金交付決定」	平成2年10月12日付 「長野県教育委員会 教文第2号 補助金交付決定」		
平成2年10月1日付 「上教社第32号 計画変更申請申請」	平成2年10月1日付 「教文第32号 計画変更承認申請」		
平成3年2月26日付 「国庫第71号 補助金変更交付決定」	平成3年3月15日付 「長野県教育委員会 教文第2号 補助金変更交付決定」		
平成3年3月30日付 「上教社第64-1号 補助事業実績報告」	平成3年3月30日付 「教文第64-1号 補助事業実績報告」	平成3年3月30日 「上教社第64-1号 事業実績報告」	平成3年3月30日 事業実績報告
平成3年4月10日付 「長野県教育委員会連 2教文第1-1号 補助金確定」	平成3年3月31日付 「長野県教育委員会教育 行教文第2-6号 補助金確定」		
平成3年4月11日付 「上教社第84-1号 補助金交付請求」	平成3年4月2日付 「上教社第72-2号 補助金交付請求」	平成3年3月30日 「上教社第64-2号 公証金交付請求」	

(2) 平成3年度の経過

平成2年9月7日、平成3年度の過物整理・報告書刊行に係る遺跡の保護協議を県教委・上小地方事務所・上田市・市教委の担当者により開催し、整理作業 160日、事業費 6,000,000円（農政部局側負担額 4,530,000円=75.5%、文化財保護部局側負担額 1,470,000円=24.5%）で、平成3年3月31日までに調査報告書を 300部刊行することとした。

平成3年度調査に係る契約、補助金の中請事務等は次に示すとおりである。

国庫補助金関係	県費補助金関係	上小地方事務所	発 報 調査 団
平成3年9月30日 「国庫第7号 補助金の内示」	平成3年11月1日 「教文第3号 補助金の内示」	平成3年5月1日 委託契約締結	平成3年5月1日 委託契約締結
平成3年10月11日付 「上教社第145号 補助金交付申請」	平成3年11月20日付 「教文第274号 補助金交付申請」		
平成3年7月24日付 「国庫第71号 補助金交付決定」	平成3年10月12日付 「長野県教育委員会 教文第2-6号 補助金交付決定」		

平成4年3月25日、本報告書を刊行してすべての調査を終了した。なお、平成3年度の事業実績報告・補助金の確定については、本報告書刊行後のため、割愛する。

第2節 調査の方法

遺跡名は長野県教育委員会作成の遺跡台帳に記載されている名称『神林遺跡』『下郷古墳群』とした。また、記録の便宜を図るため、遺跡記号としてKA-N BAYASHIのKNB、SHI-MO GOのSMGを組み合わせて与えた。各種の記録や遺物の注記等はこの記号を用いている。また、古墳は地表で確認できたものを西から順次番号を、1から5まで与えた。

遺跡の調査地区的設定については、予め試掘ピットを掘り、おおよその範囲は把握してしたもの、ピットの密度が極めて粗かったため、本発掘に際しては改めてトレーンチ調査を行い、遺跡の性格と土層の把握をし、併せて面的調査の範囲=調査区の設定を行った。

面的調査については、表上、耕作上の排除はすべてバックホーを用い、その後の作業は人手によった。なお、面的調査に際しては、グリッドを設定し、遺物の取り上げ、遺構測量に利用した。このグリッド杭の設定については、国家座標のメッシュに従い、遺跡周辺の三角点の座標値から調査区南側に引っ張り、この点を基準点として3×3mのグリッドを設定した。

なお、最終的の遺構全体測量、石組遺構等については専門業者に委託して実測を行い、現場作業の迅速化を図っている。

第3節 調査日誌(抄)

平成2年

- 6/4 バックホーによる範囲確認の試掘調査、発掘器材搬入、テント設営
- 6/7 範囲確定の試掘調査終了、バックホーによる表土剥
- 6/11 表土剥～遺構検出作業
- 6/15 降雨のため午前で作業中止
- 6/19 専門業者による基準点測量
- 6/22 調査区域の桑の伐採
- 6/27 グリッド杭打ち開始
- 6/29 桑の抜根をバックホーで行う。
- 6/30 遺構掘り上げ開始
- 7/2 出土遺物の整理を埋蔵文化財整理室にて開始。
- 7/4 テント移動、SMG-3の周囲にトレーンチをいれる。降雨のため午後3時作業終了。
- 7/10 古墳の掘り方や構造について研修。作業班の編成
- 7/12 専門業者によるSMG 1~3の現況測量
- 7/18 SMG-3の側壁が倒れる恐れがあるため、バックホーにより取り除く。グリッド杭打ち
- 7/21 上田市立第五中学校2年5組の生徒・PTA見学に来訪
- 8/2 信濃國分寺資料館考古学教室訪問
- 8/7 SMG-2に積み上げられた石を除去
- 8/10
↳ お盆休み
- 8/16

- 8/20 社会教育課事務局及び上木課人塚上齊来訪、古墳の移築について検討。
- 8/22 SMG-2排上のウォーターセパレーション開始。玉類が出土。
- 8/23 SK 18より耳皿出土
- 8/28 SMG-1の周辺発掘のため、ブルドーザーにより積み上げられた堆土を移動。
- 9/4 専門業者によるSMG-2のステレオカメラ測量
- 9/13 信州大学西沢寿晃氏SMG-2出土の人骨分析のため、来訪。
- 9/18 上田市文化財保護審議会委員 4名視察
- 9/26 小泉の高田遺跡発掘作業員、応援に参加。
- 10/9 上田市上木課工事係、SMG-1及びSMG-2の側壁倒壊防止のため、材木により補強する。
- 10/12 調査区内の清掃
- 10/16 専門業者による空洞（バルーン）
- 11/2 発掘器材の撤収、現地調査終了
- 11/3 発掘器材の整理、整備

この後、上田市立清明小学校内埋蔵文化財整理室において平成3年度まで整理・報告書作成作業を実施し、平成4年3月25日、調査報告書を刊行してすべての調査を終了した。

第二章 遺跡の環境

第1節 自然的環境

神林遺跡及び下郷古墳群の位置する地域は、地形的に見ると大きくは千曲川右岸に展開する上田盆地の東側にあたる。ここは特に上田盆地の北東部にそびえる四阿山(2,332m)に源をもつ神川によって形成された 大崩状地形を呈した地域である。神川左岸の神川崩状地では、第1段丘面・第2段丘・第3段丘面及び赤坂集落の谷口崩状地などから構成されている。第1段丘面では標高約580mの大日ノ木集落付近を頂点として半径4kmの規模で南北に広がり、その先端部は500mの等高線をもって段丘崖として終わっている。またこの押出しが第2段丘にも及び、新しい崩状地をつくっている。現在の神川は回春して下刻し、この面よりかなり低いところを流れているが、長い年月のうちに流路が次第に西に偏したため、このように南北方向に見事な三段の段丘を形成しているといえるのである。

第1段丘面は現河床面より約20~30mの比高をもち、森・大日ノ木・小井田・町吉田などの各集落が立地する広い面で、通称古田面と呼ばれている。この面の地質は神川の運んだ厚い砂礫層からなり、地表面は1~2mほどの厚さを持つローム層に覆われている。古くから周辺の神明川や瀬沢川から、この面に水を取り入れたり、また吉川堰（童女堰）の開削などによる開拓が行われたため、現在立派な水田地帯となっている。しかし、昭和62年度この面の大字芳田字訛口上に所在する訛口上遺跡の発掘調査を実施した地域では、水便の悪さのため、下流の水田地帯へ田用水を公平に配分する用水堰の分配施設としての『訛口』が字名になったと見られ、水に苦心をし



第2図 神林遺跡周辺遺跡分布図

番号	遺跡名	時代	備考	番号	遺跡名	時代	備考
2	石矢遺跡	繩~平		30	荒神田遺跡	平	
3	赤坂将軍塚古墳	古	市指定史跡	31	訃口上遺跡	奈~平	1987年度調査
4	托田遺跡	繩~平		32	中吉田遺跡	繩~平	
5	北屋敷遺跡	繩~平		33	今井遺跡	平	
6	城山遺跡	繩		34	いなご坂遺跡	繩	
7	上組遺跡	平		35	吉田原古墳群	古	
8	矢沢古墳	古		39	中道遺跡	繩~弥	
9	宿組遺跡	平		40	上野東遺跡	繩	
10	平沢遺跡	平		41	陣馬塚古墳	古	
11	下左口遺跡	繩		42	亥馬塚古墳	古	
12	下樋口遺跡	平		43	熱泰寺古墳	古	
13	石坪遺跡	弥		44	熱泰寺遺跡	繩	
14	神林遺跡	繩~弥		45	七ツ塚古墳群	古	市指定史跡
15	下郷古墳群	古		46	塙田塚古墳	古	
16	大日の木古墳	古		47	野竹塚古墳	古	
17	大日の木遺跡	繩~平		48	篠井久保遺跡	弥~平	
18	北の平遺跡	平		49	篠井塚古墳	古	
19、20	八千原・堂下遺跡	繩~平		50	掛の宮遺跡	繩~古	
21	太田遺跡	平		51	掛の宮古墳	古	
22	柴崎古墳	古		52	染屋台桑里水田遺跡	弥~平	'84.'85調査
23	井戸田遺跡	繩~平		54	国分遺跡群	弥~平	
24	尾無遺跡	繩~平		56	国分周辺遺跡群	繩~平	
25	林之郷遺跡	繩~平	'88.'89調査	398	米沢古墳群	古	
26	日ノ井古墳	古		399	米沢遺跡	繩~平	
27	高寺古墳群	古		407	矢沢氏支城跡	近	
28	生地場古墳	古		410	伊勢崎城跡	近	
29	中村Ⅱ遺跡	繩		412	岩門城跡	近	

第1表 神林遺跡周辺遺跡一覧表

たかつての歴史を見た。近年この面の段丘崖に沿って、桜台・みすず台などの住宅団地もでき、また浅間山麓広域農道などの開通に伴って、様相が一変しつつある。

第2段丘面は今回調査した神林遺跡や下郷占墳群、昭和63年度及び平成元年度に発掘調査を実施した林之郷遺跡及び八千原遺跡の位置する面で、第1段丘より約10~12m低く形成されている。この面も比較的広く林之郷や上青木など五つの集落があり、林之郷面と呼ばれている。地質も第1段丘面と比べて、あまりローム質の弱くない上層で比較的通水性もよく、またいくつかの用水堰に恵まれているため、現在同様に広い水田地帯になっている。この面もまた宅地化の波が押し寄せてきていることもいなめない。林之郷集落周辺では、住宅のある部分がやや高い微高地となっており、集落東側即ち第1段丘崖下で低くなる。いわゆる後背湿地の様相を呈していることがわかる。遺跡の主体部は、したがってこの若干高い部分の集落の中で、さらに一帯に広がっていることが分布調査で確認されている。また、第3段丘面は全体的には神川氾濫原としての比較的狭い平坦面としてとらえられている。この段丘面に包括されている久保林集落のあるところは、2~3m高い微段丘を形成して安全な平坦地となっている。この面は久保林面と呼ばれているところであるが、やはり近年宅地化が急速に進化しており、かつての景観が変貌している。

一方、神川右岸の染屋面では25m内外の急崖となっており、僅かにベンチ状に第2・第3段丘が形成されているだけである。これは前述の通り、神川の流路が下刻と同時に漸次西偏したため、東側の左岸では見事な段丘となるのに対して、右岸では浸蝕され段丘が形成されにくいといえる。

第2節 歴 史 的 環 境

上田市域の東側にあたる一帯の歴史的環境を見てみると、とくに考古学的遺跡で鳥居子丘西南麓に分布する遺跡として把握され、各段丘からは縄文期から奈良・平安時代に属す、いくつかの遺物・遺構が確認されている。

今回調査を実施した第2段丘面の考古遺跡から概観すると、まず一連の林之郷遺跡群及び、この遺跡群の北側には、漆戸地籍の八千原・堂下・北の平などの遺跡があり、南側では苔久保地籍の中村II遺跡が、西側には太田・法楽寺遺跡が分布調査等によって確認されている。このうち、林之郷遺跡群の茅御堂遺跡及び太田遺跡は、昭和49年広域農道開削に伴う事前の発掘調査が行われ、太田遺跡からは古墳時代鬼高廟の住居址4軒、同期の高床状遺構、また平安時代国分寺の住居址4軒とこれらに伴う豊富な遺物を検出した。また茅御堂遺跡からも古墳時代五頭期・和泉期・鬼高廟の各住居址及び集石遺構・堅穴遺構とそれぞれに伴う遺物が検出され、この地域の様相がかなり明かにされたのである。

昭和63年度の林之郷遺跡群の林之郷地区分の調査では、奈良時代から平安時代にかけての集落址を検出し、続く平成元年度の同遺跡の茅御堂地区分では弥生時代終末から古墳時代にかけての集落址が良好な状態で検出されている。また、同年の八千原遺跡の調査では、縄文時代中期から後期にかけての敷石住居址を中心とした大集落が検出され、上田市においては最大規模の縄文の遺跡の調査成果を上げた。

古墳は遺跡群の中の南側、苔久保字中村に高寺古墳1・2・3・号墳が、およそ30m前後の間隔で南北に並んでいる。いずれもほとんど破壊された古墳で、正確な規模は不明であるが、3号

墳の残存状態等から直径約5m・高さ約1mほどの比較的小規模な終末期古墳と見られる。同様な規模の生地場古墳が高寺古墳の僅か西南部の墓地内にある。また、林之郷字塚田の段丘端部にも日ノ井古墳がある。この古墳も墓地内にあり、墳丘が破壊され石室が露出しているが、直径約9mほどの円墳とみられる。なお、対岸の第2段丘面にあたる笠井地籍にも、笠井塚古墳・掛ノ宮塚古墳また第1段丘面の社宮寺古墳等の小規模な終末期古墳があり注意される。このうち特に笠井塚古墳からは、かつて直刀2本と刀子などが発見されている。

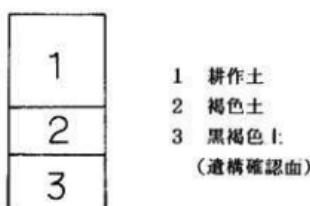
第1段丘面では、小井田集落を中心として繩文中期加曾利E式土器・石鐵・打製石斧・凹石・砾石、弥生後期箱清水式土器及上師器・須恵器など豊富な遺物を出土する井戸田遺跡、繩文中期土器・土師器などを出土する尾無遺跡、平安期と見られる土師器を出土する成田遺跡などがある。また中吉田集落一帯に広がる中吉田遺跡群は、この面における最も豊富な資料を提供している遺跡として知られる。この遺跡群の中心は次郎淵と無量寺の両遺跡で、前者からは繩文中期勝板式土器片・弥生後期箱清水式土器片・上師器・須恵器などが採集され、さらに子持勾玉も検出されており、注意される遺跡である。後者からは繩文中期加曾利E式土器・弥生後期土器・土師器・須恵器が採集されている。ここからは加曾利E期に比定される台付有孔釦付土器も発見されており、本遺跡も特に注意されている。

さらにこの遺跡群の西側に、いずれも後半期の上師器・須恵器を出土する荒神田遺跡、訛口上遺跡、今井遺跡が確認されている。このうち、昭和62年調査を実施した訛口上遺跡からは、奈良時代前半と見られる甕を作り住居址や溝址・土壤・ピットなどの構造が検出された。また、この段丘面の古墳分布を見ると、南側段丘岸のみすず台団地のほぼ中央にある下青木吉田原古墳が現存するのみである。この古墳の墳丘は東西15m・南北13m・高さ4mの円墳で、石室内部は玄室と羨道の区分が明確ないわゆる両袖式で、石室の総長6.6mを計る横穴式石室を持っており、市指定史跡となっている。このほか周辺には、旗鉢原古墳・寺沢古墳・尾無古墳など、古墳時代後期に屬す、いくつかの古墳がかつて存在したが、団地の造成等で破壊されてしまった。このうち、尾無古墳からは直刀・鉄鎌などが出土したという記録がある。

このように、神川扁状地周辺にはいくつかの良好な遺跡が存在していることが知られ、今回調査した神林遺跡及び下郷古墳群もまた、大いなる期待の内に調査が開始されたのである。

第3節 基本的層序

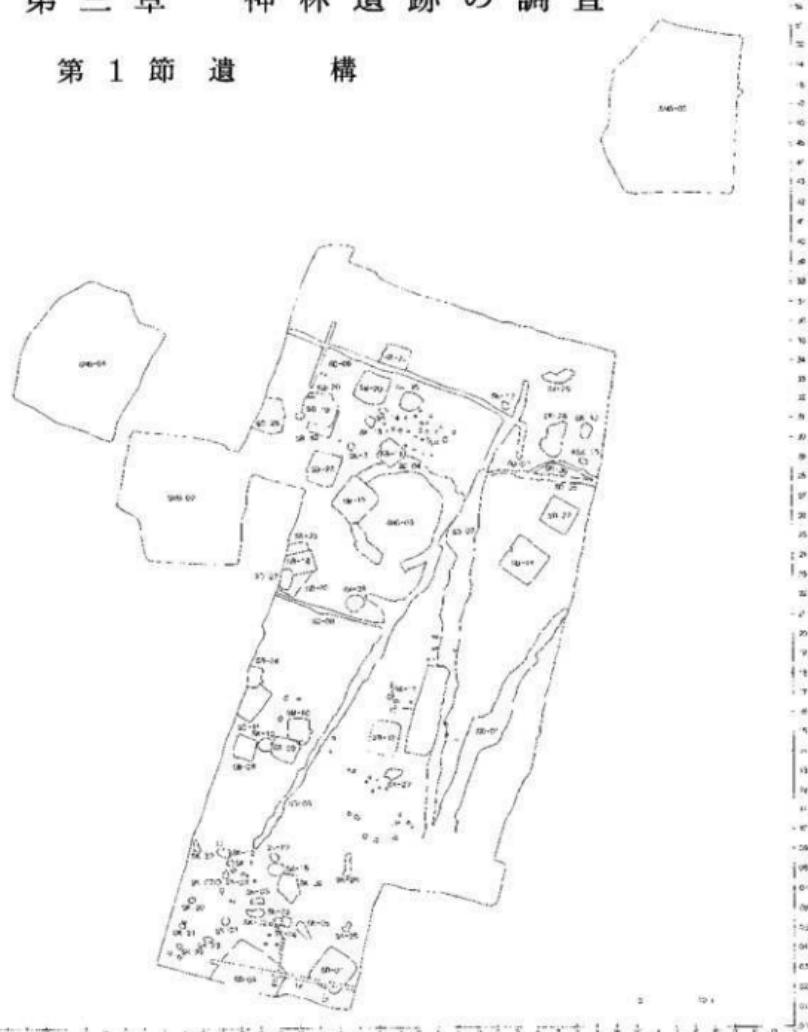
神林遺跡の基本的な土層は第3図に示したとおりである。



第3図 神林遺跡土層柱図

第三章 神林遺跡の調査

第1節 遺構

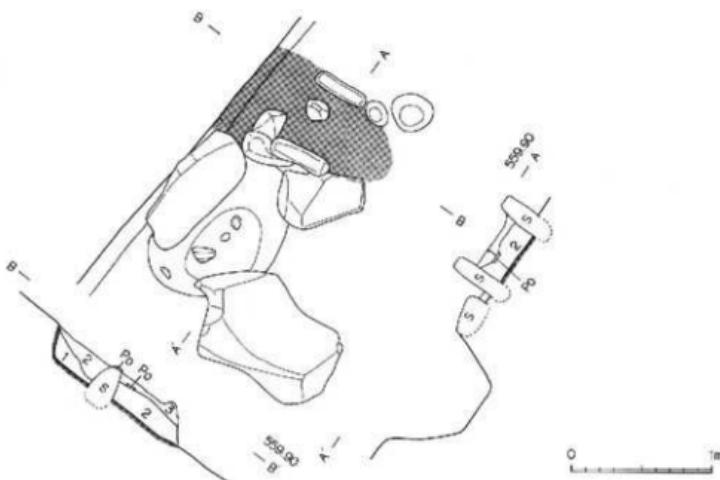


第4図 神林遺跡遺構配図

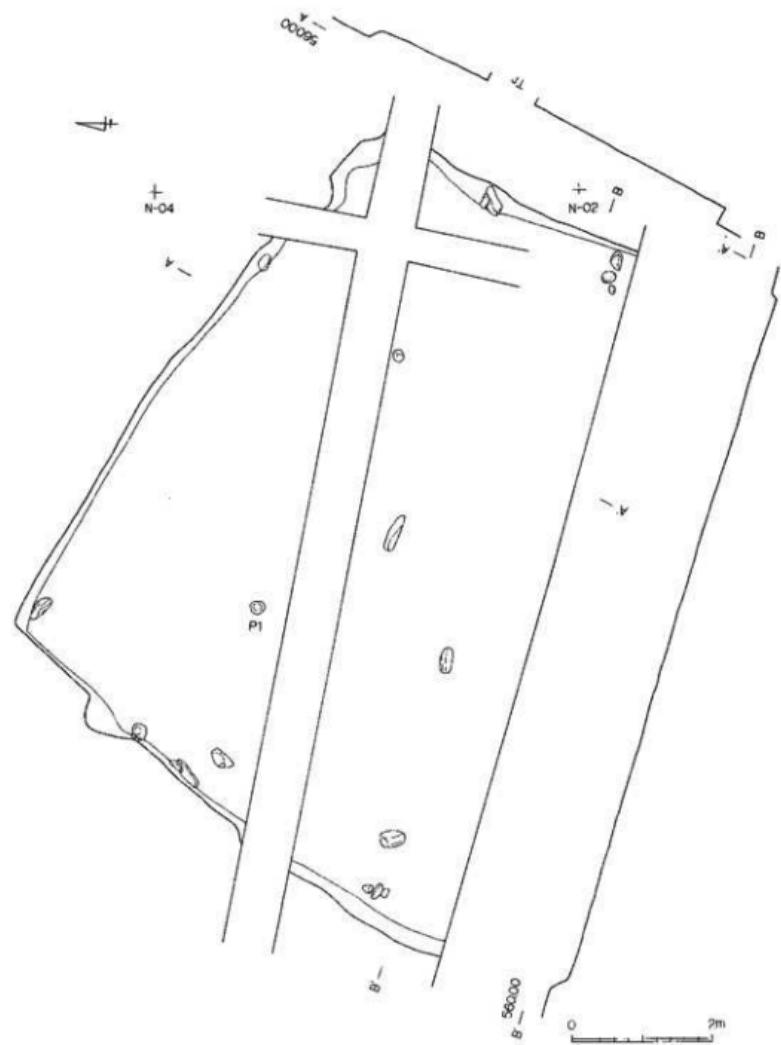
1 壁穴住居址



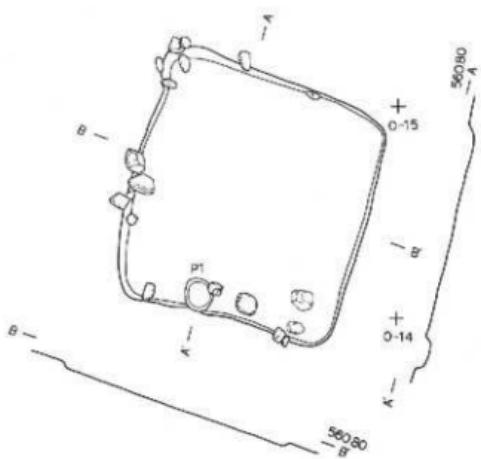
第5図 SB-01実測図



第6図 SB-01実測図

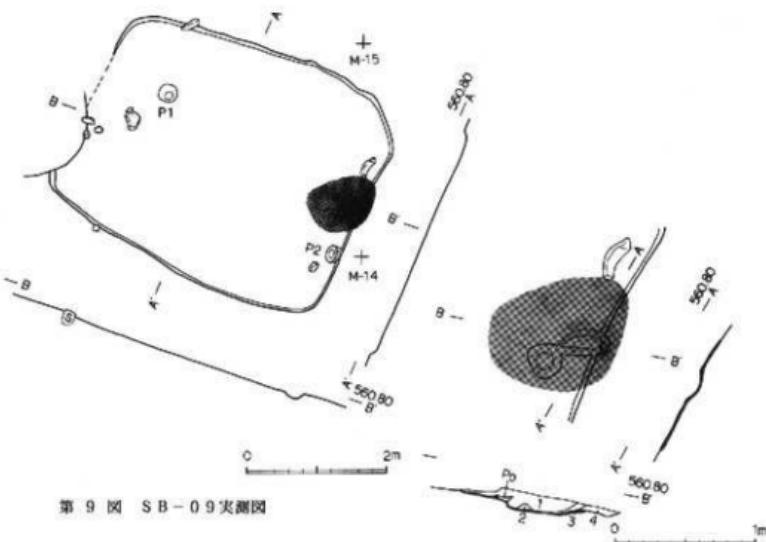


第7圖 SB-03実測図



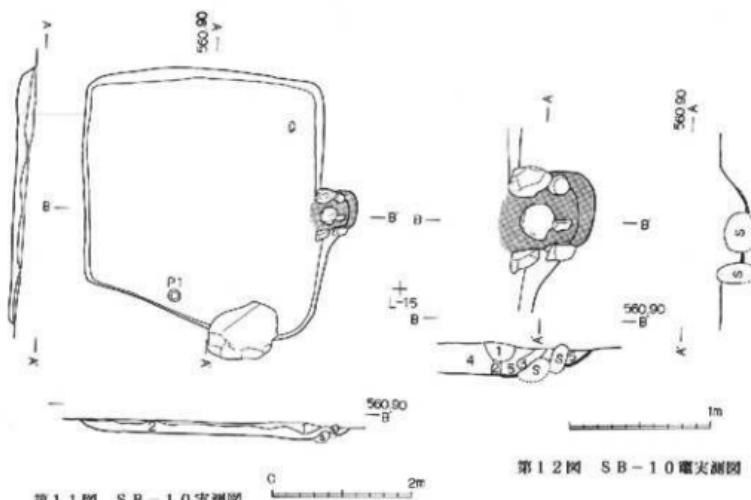
第8図 SB-08実測図

0 2m



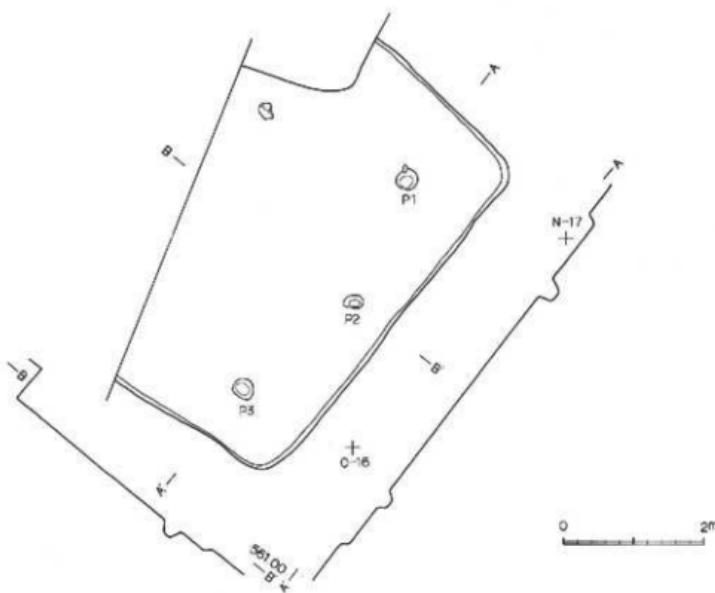
第9図 SB-09実測図

第10図 SB-09電実測図

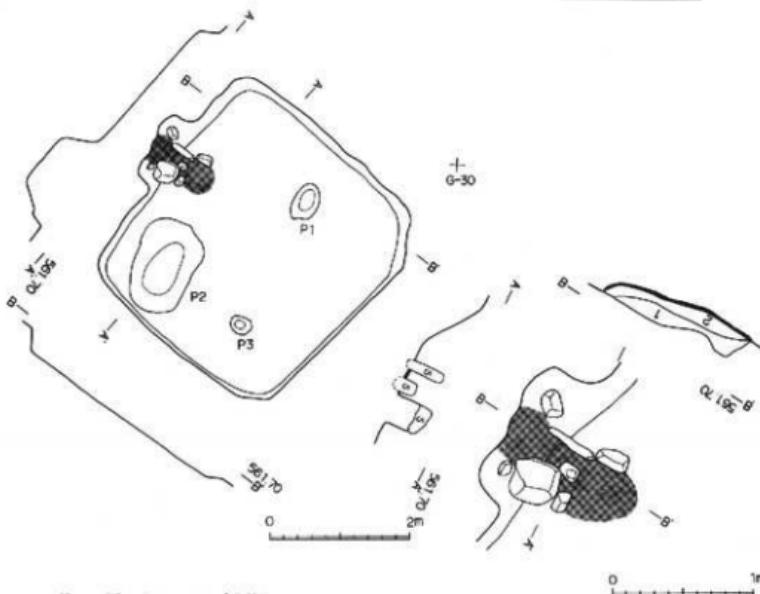
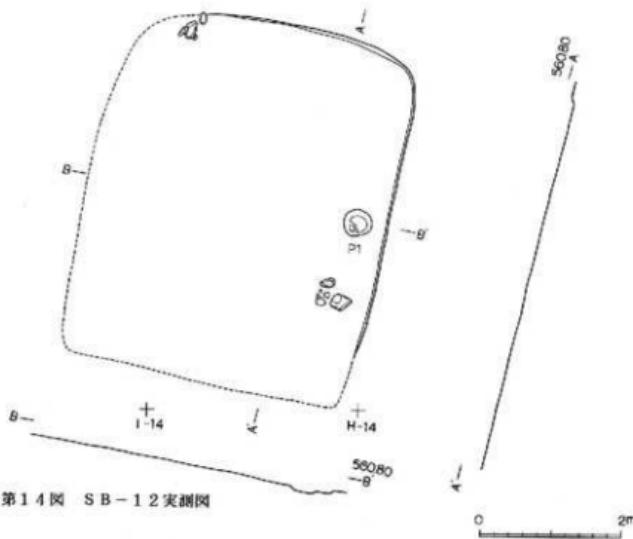


第11図 SB-10実測図

第12図 SB-10電気測図

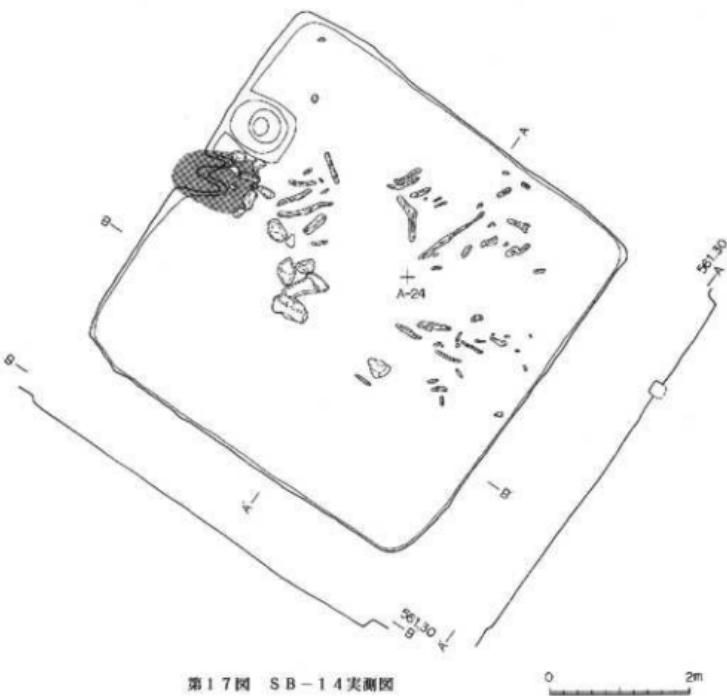


第13図 SB-11実測図



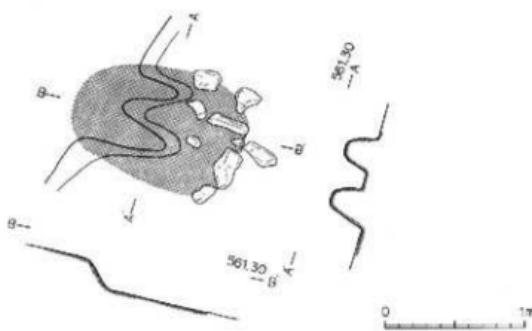
第15図 SB-1-3 実測図

第16図 SB-1-3 磁炎測図



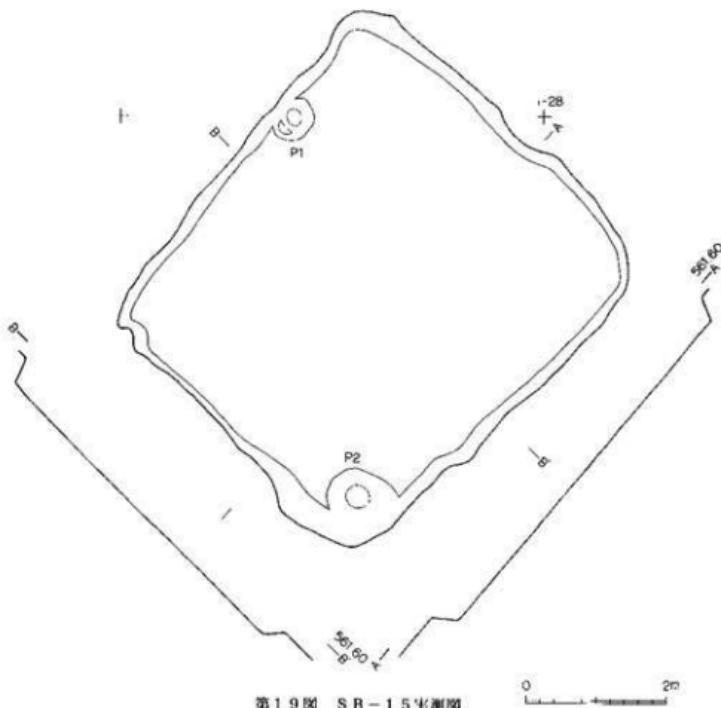
第17図 SB-14実測図

0 2m

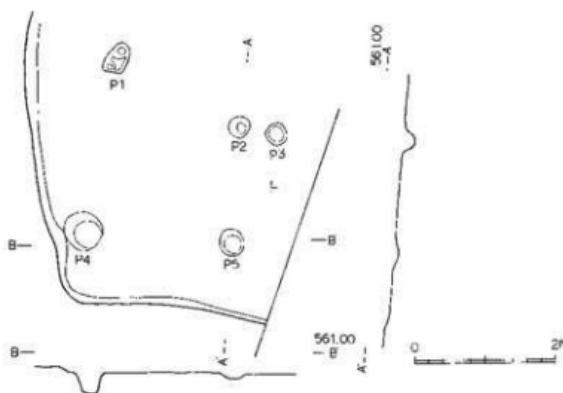


第18図 SB-14実測図

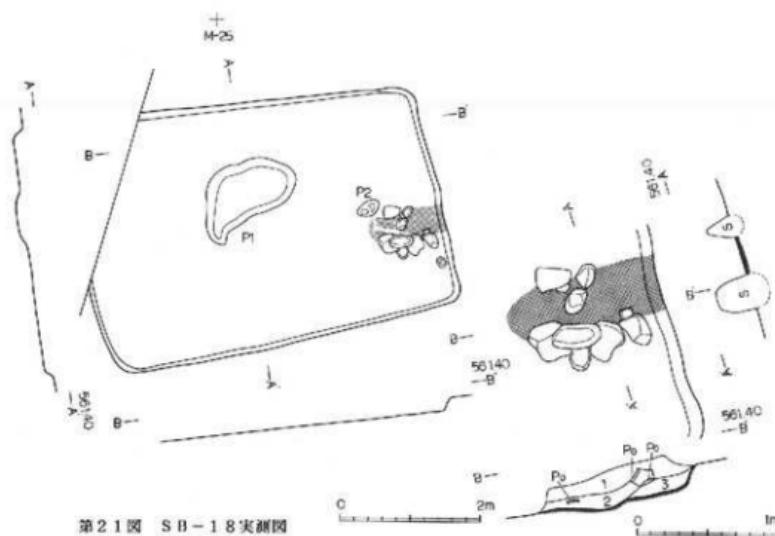
0 1m



第19図 SB-15火薬庫

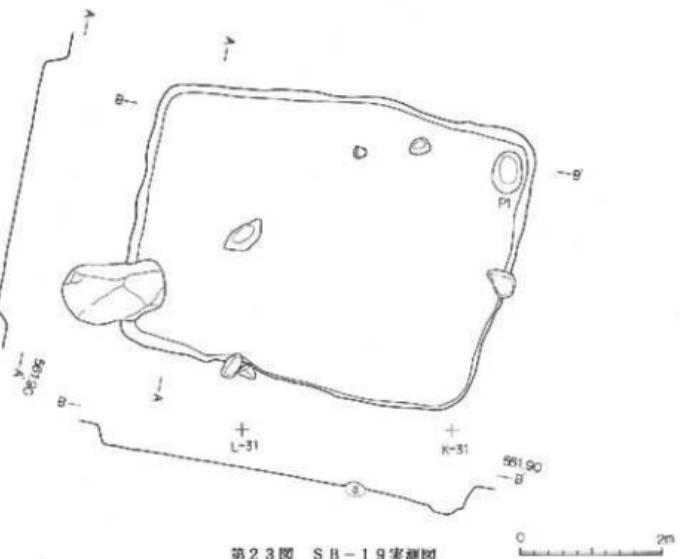


第20図 SB-17火薬庫

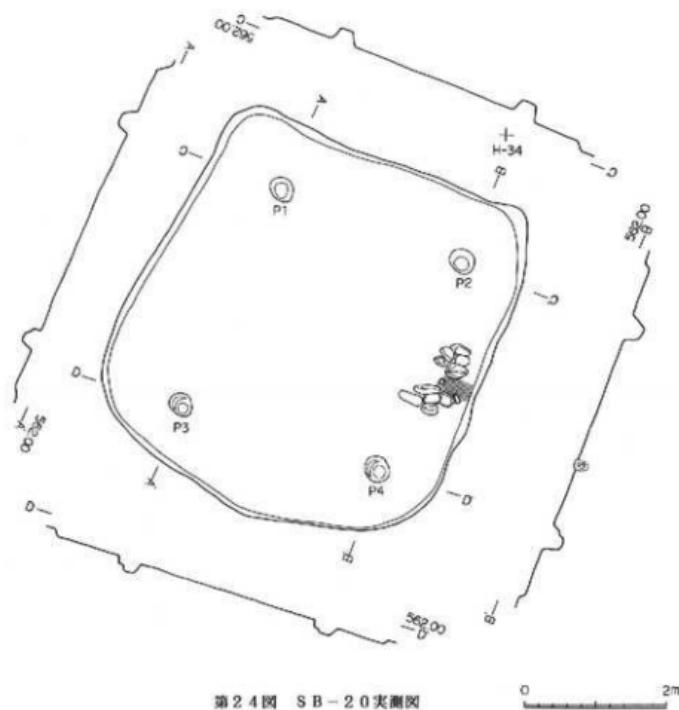


第21図 SB-18実測図

第22図 SB-18窓実測図

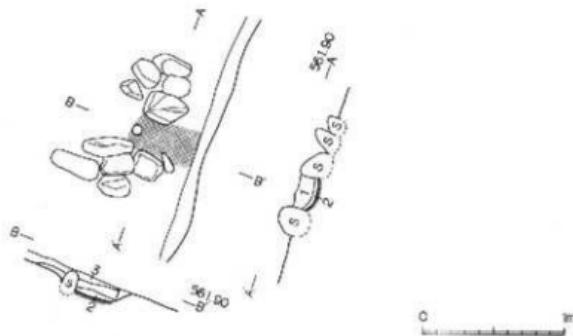


第23図 SB-19実測図



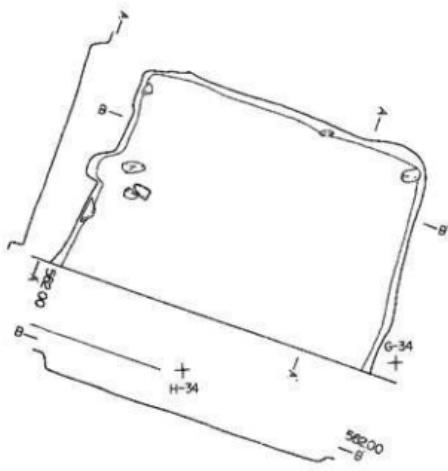
第24図 SB-20実測図

0 2m

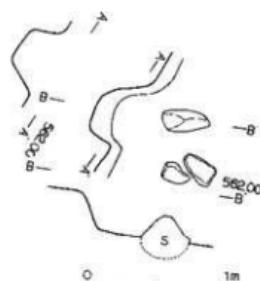


第25図 SB-20実測図

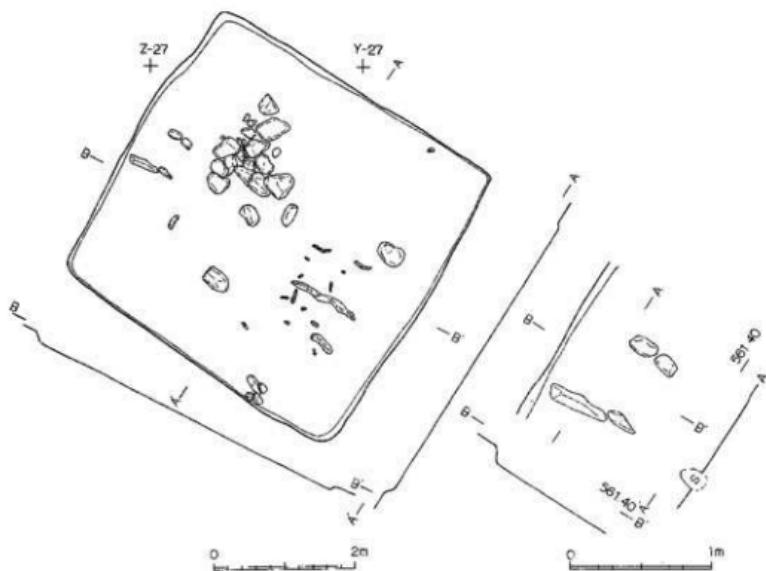
0 2m



第26図 SB-21実測図

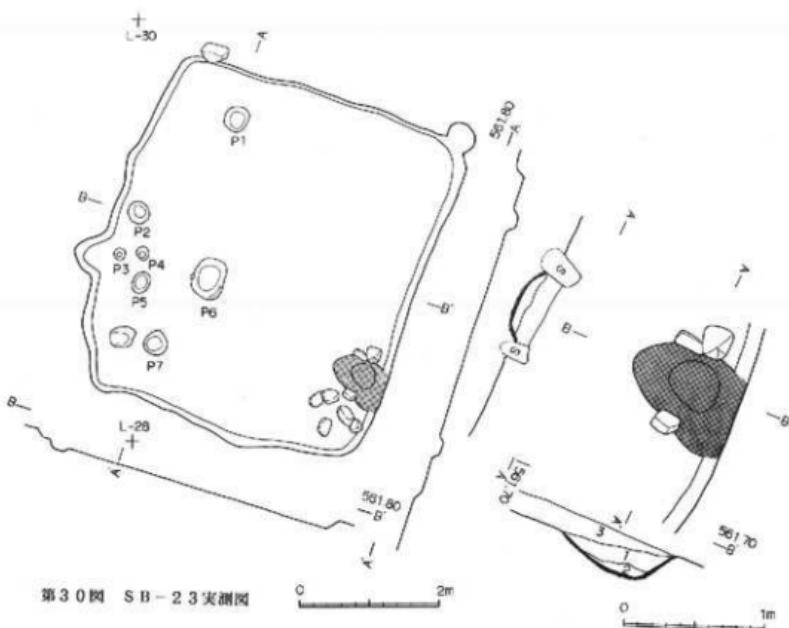


第27図 SB-21実測図



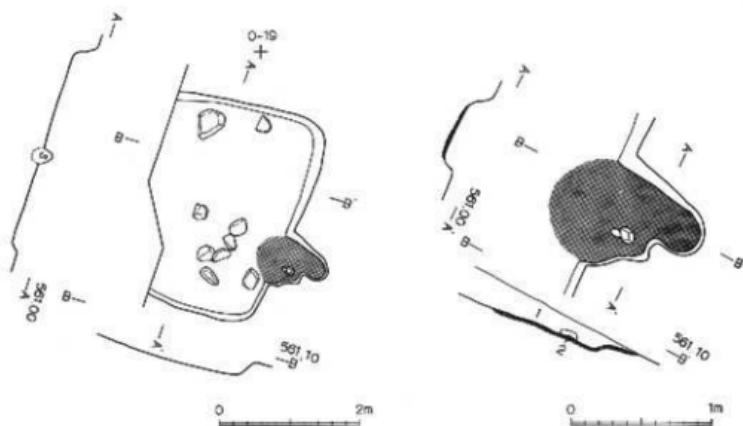
第28図 SB-22実測図

第29図 SB-22実測図



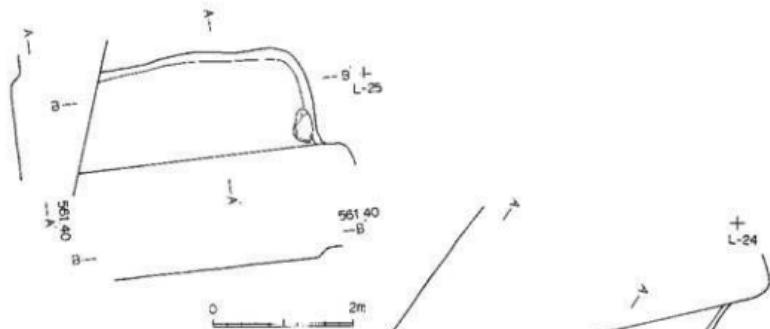
第30図 SB-23実測図

第31図 SB-23電実測図

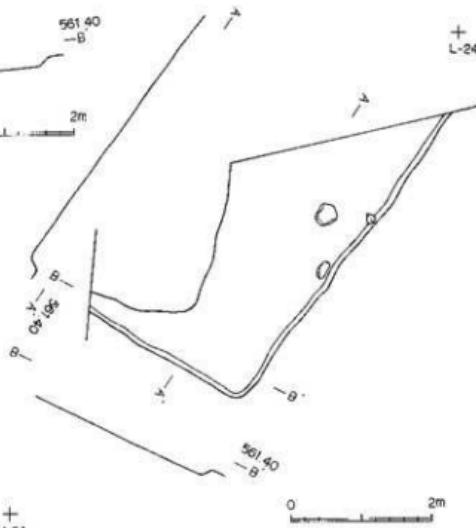


第32図 SB-24実測図

第33図 SB-24電実測図



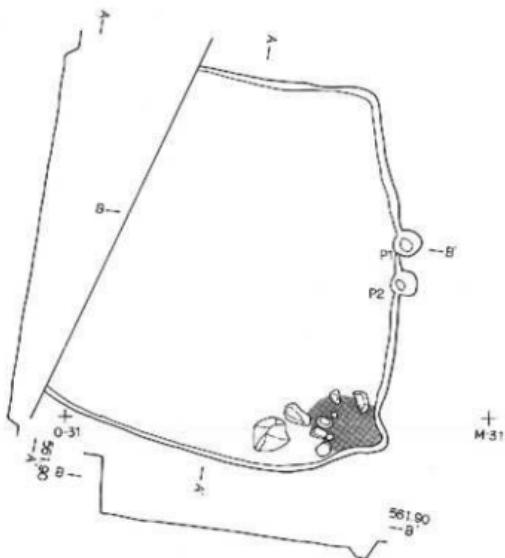
第34図 SB-25実測図



第35図 SB-26実測図

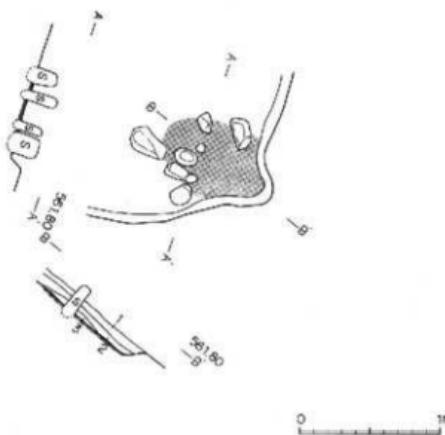


第36図 SB-27実測図



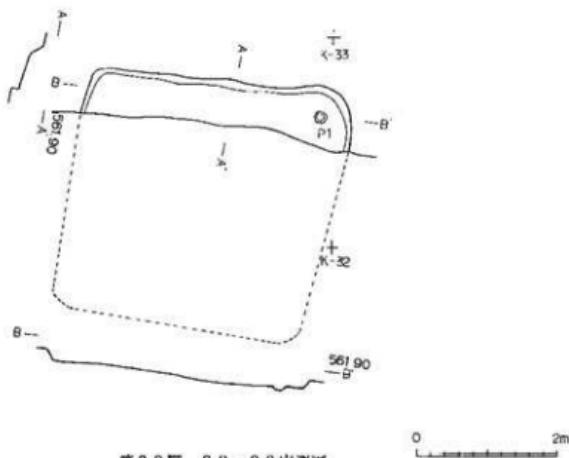
第37図 SB-28実測図

0 2m

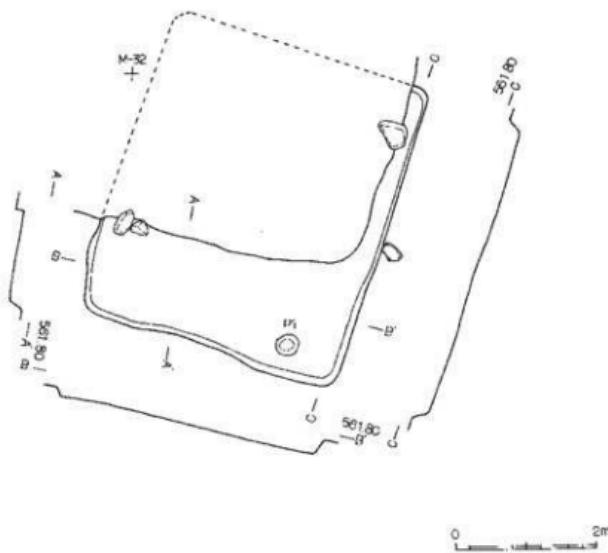


第38図 SB-28実測図

0 1m

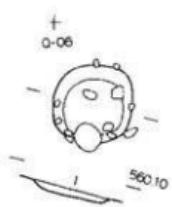


第39図 SB-29実測図

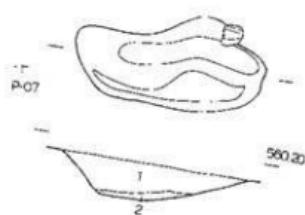


第40図 SB-30実測図

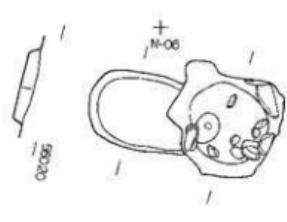
2 上頸



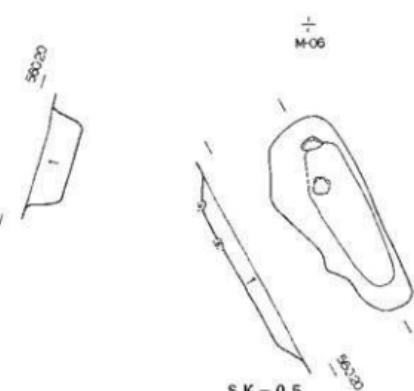
SK - 0 1



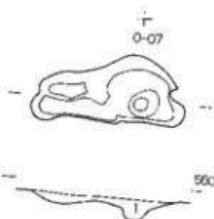
SK - 0 2



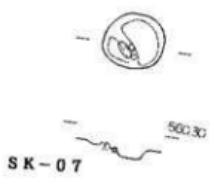
SK - 0 3



SK - 0 5



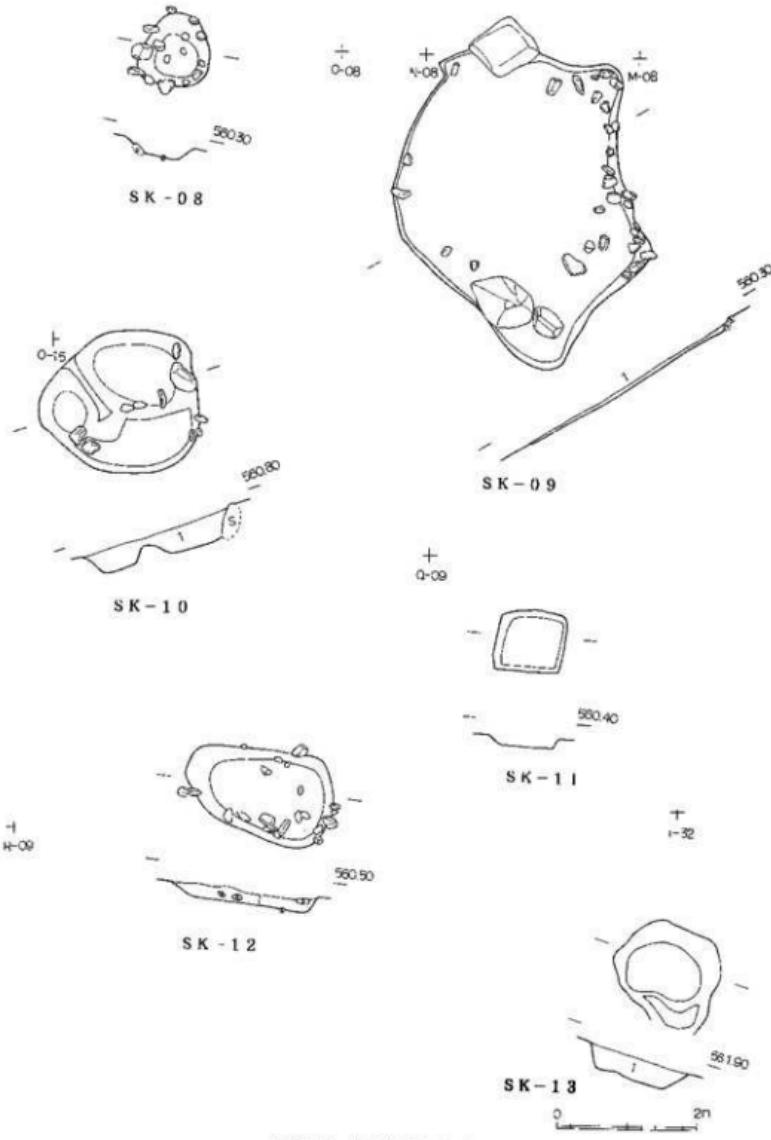
SK - 0 6



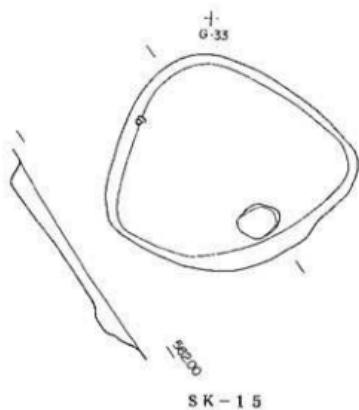
SK - 0 7

0 20

第41図 土城実測図(1)

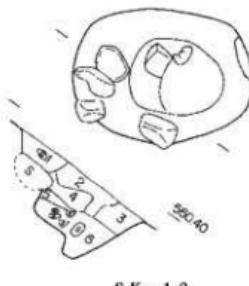
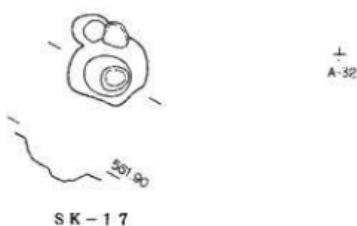


第42図 土壌火薬圖(2)



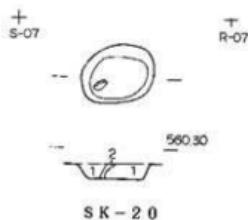
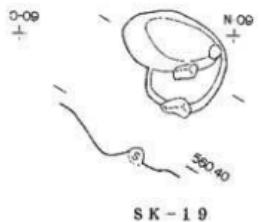
+
0.09

+
N-09

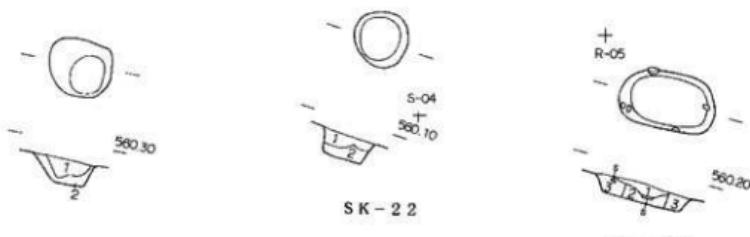


0 2m

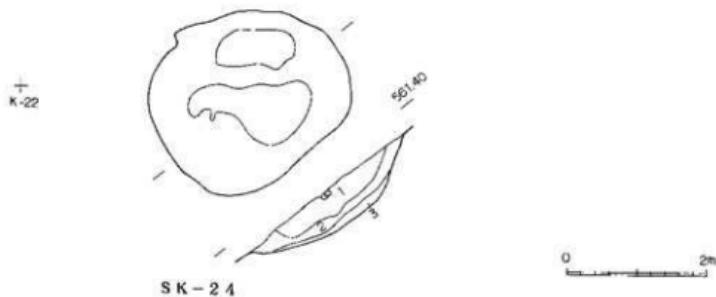
第43図 土壌実測図(3)



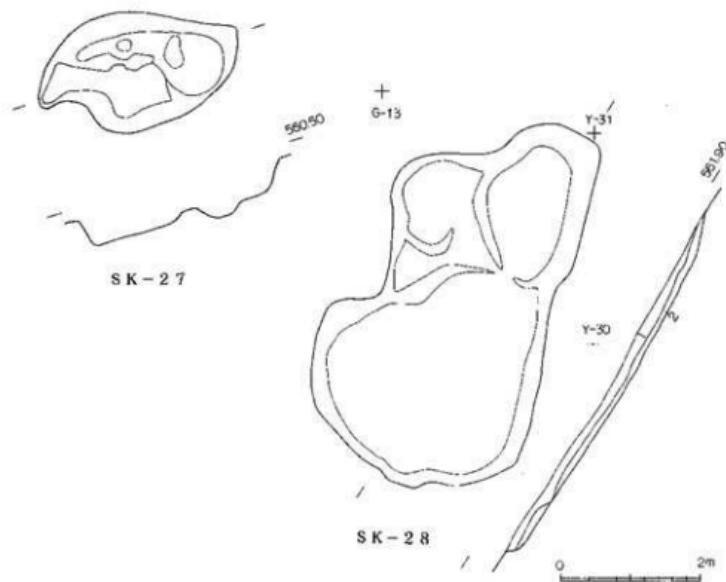
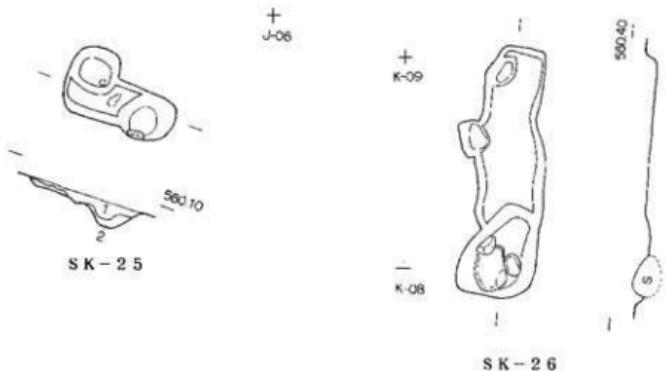
S.06



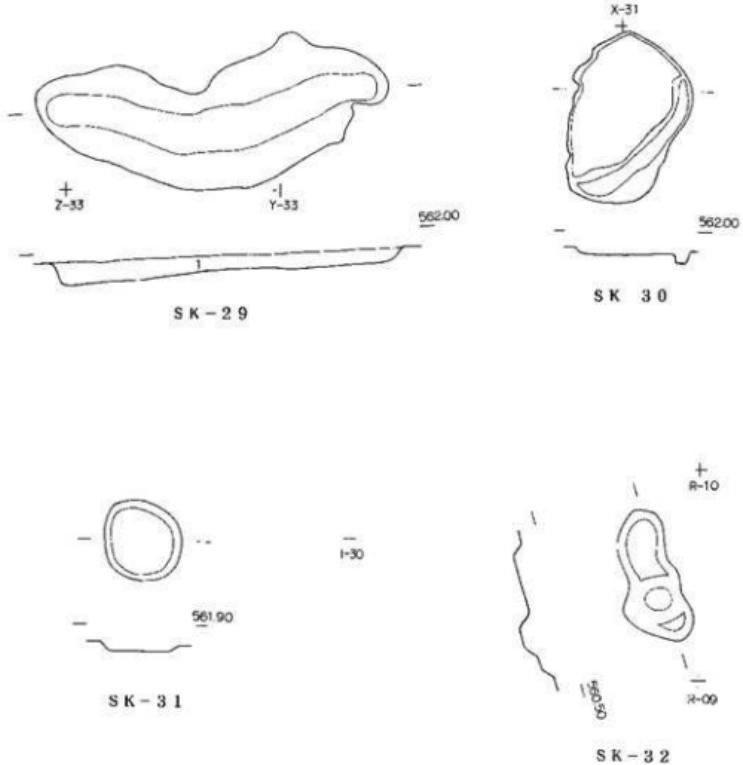
SK-21



第44圖 土壤炭層圖(4)



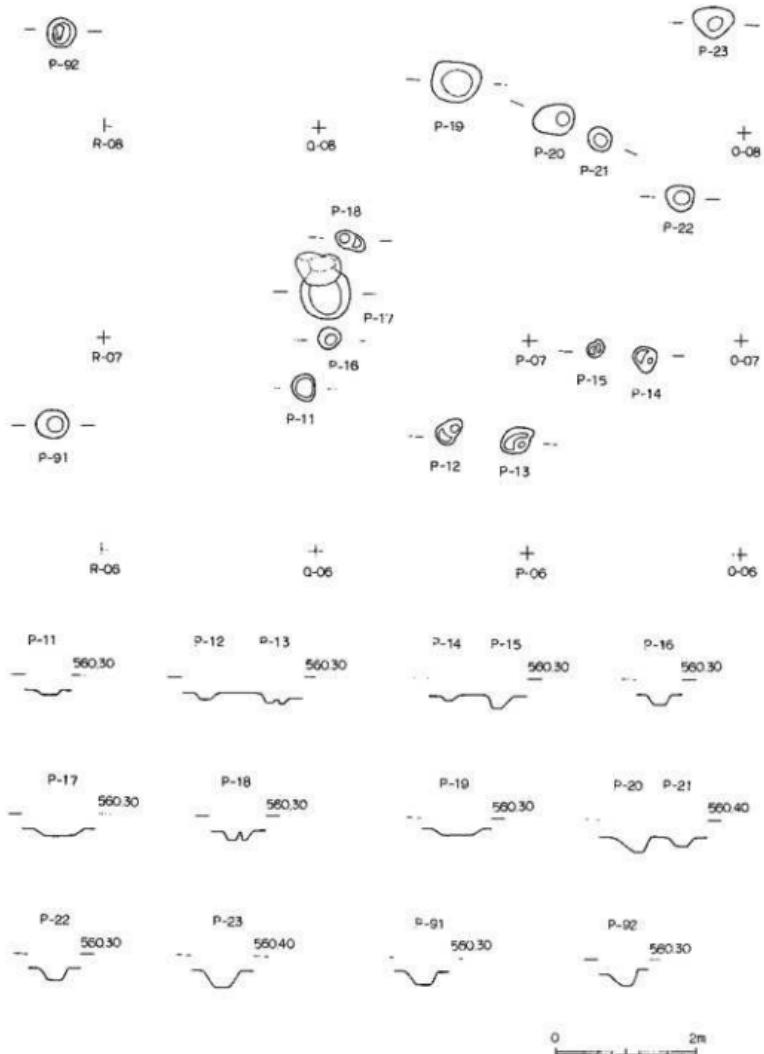
第45図 土壌実測図(5)



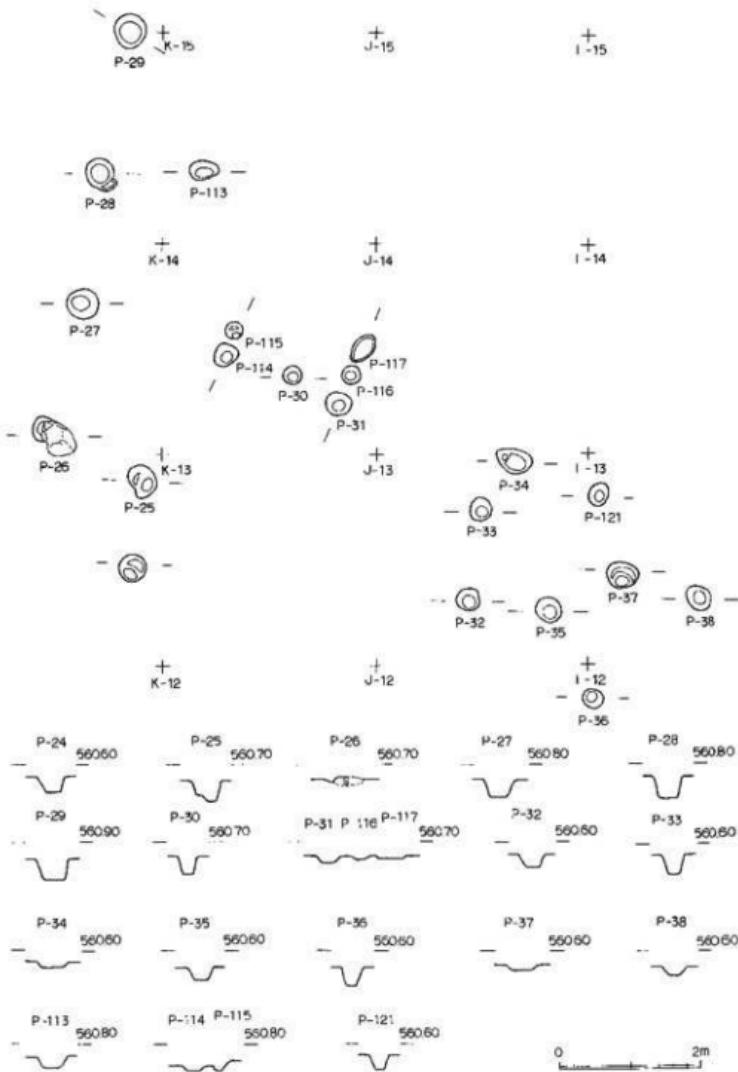
0 1m 2m

第45図 上縹穴測図(6)

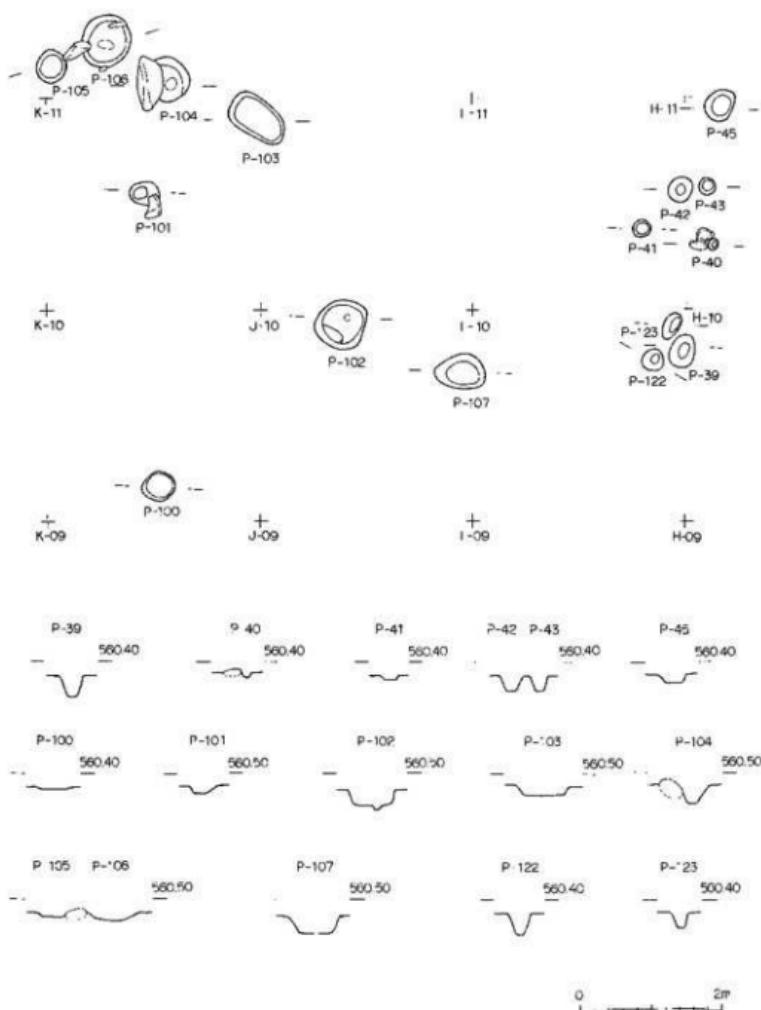
3 ピット



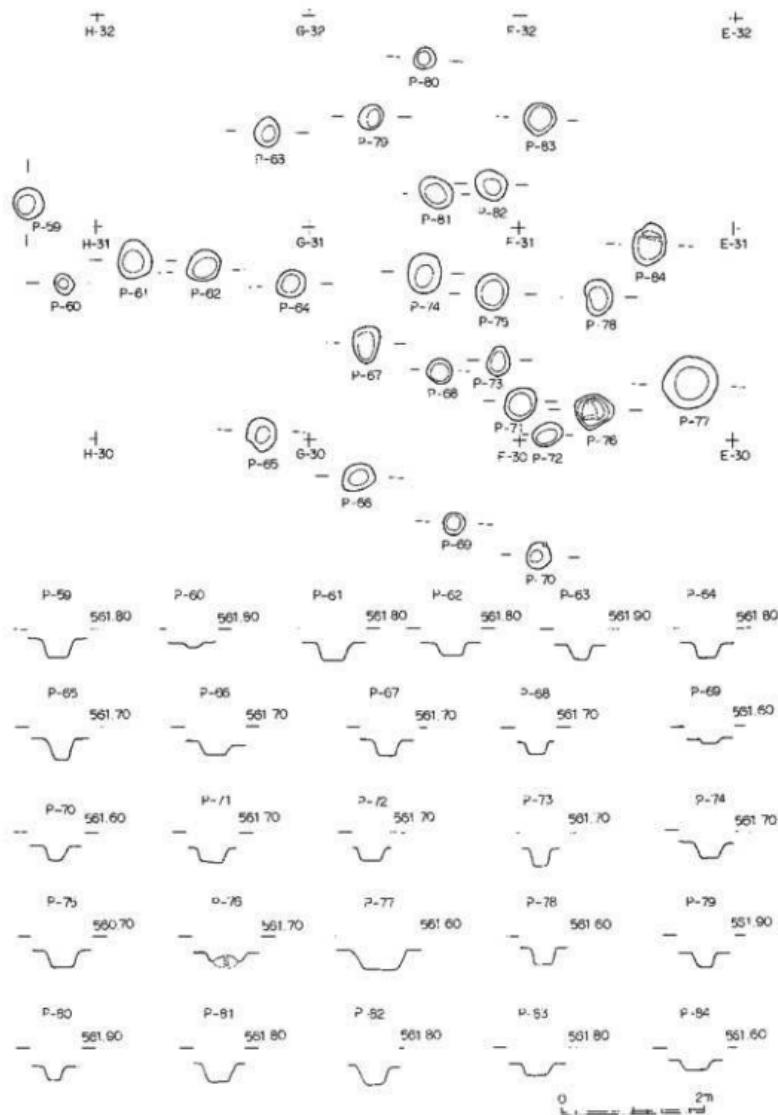
第47図 ピット実測図(1)



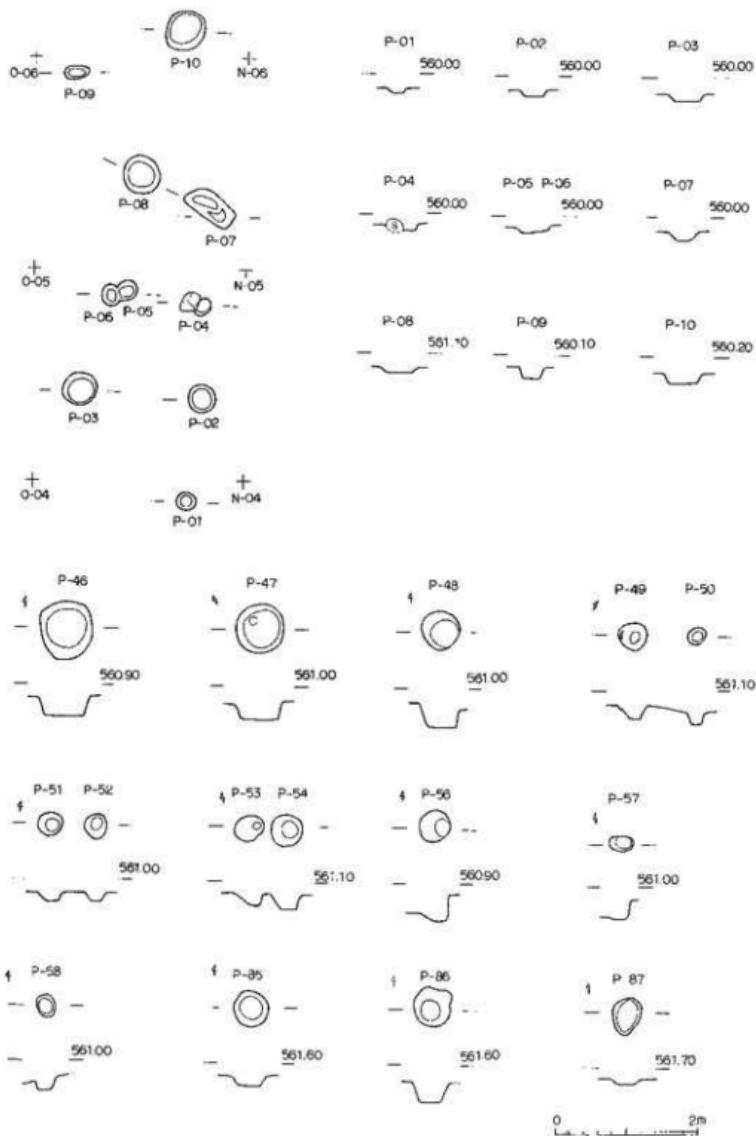
第48図 ピット実測図(2)



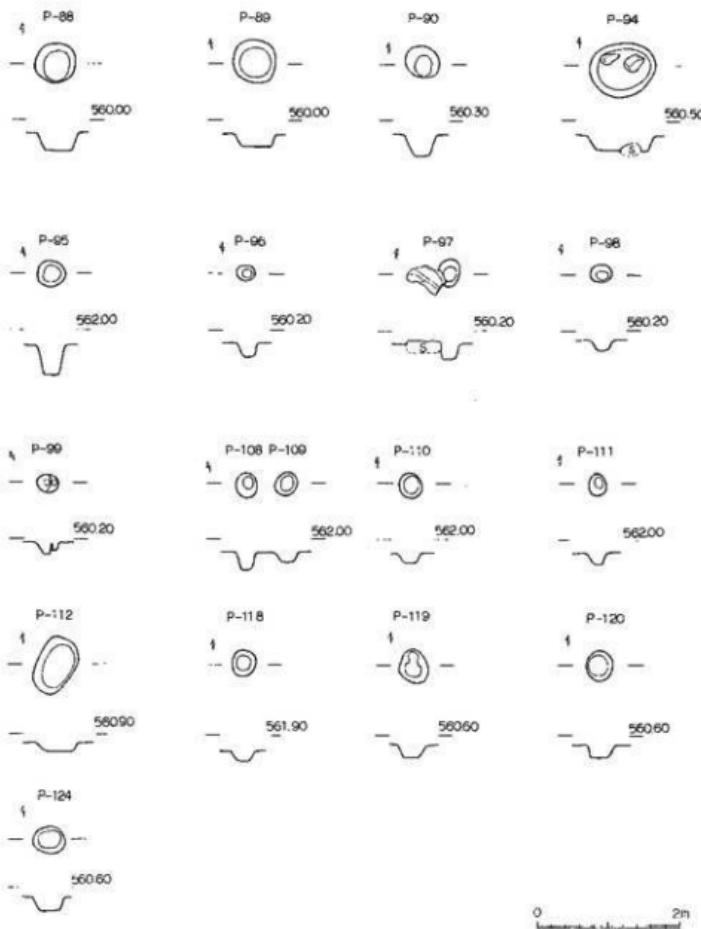
第49図 ピット実測図(3)



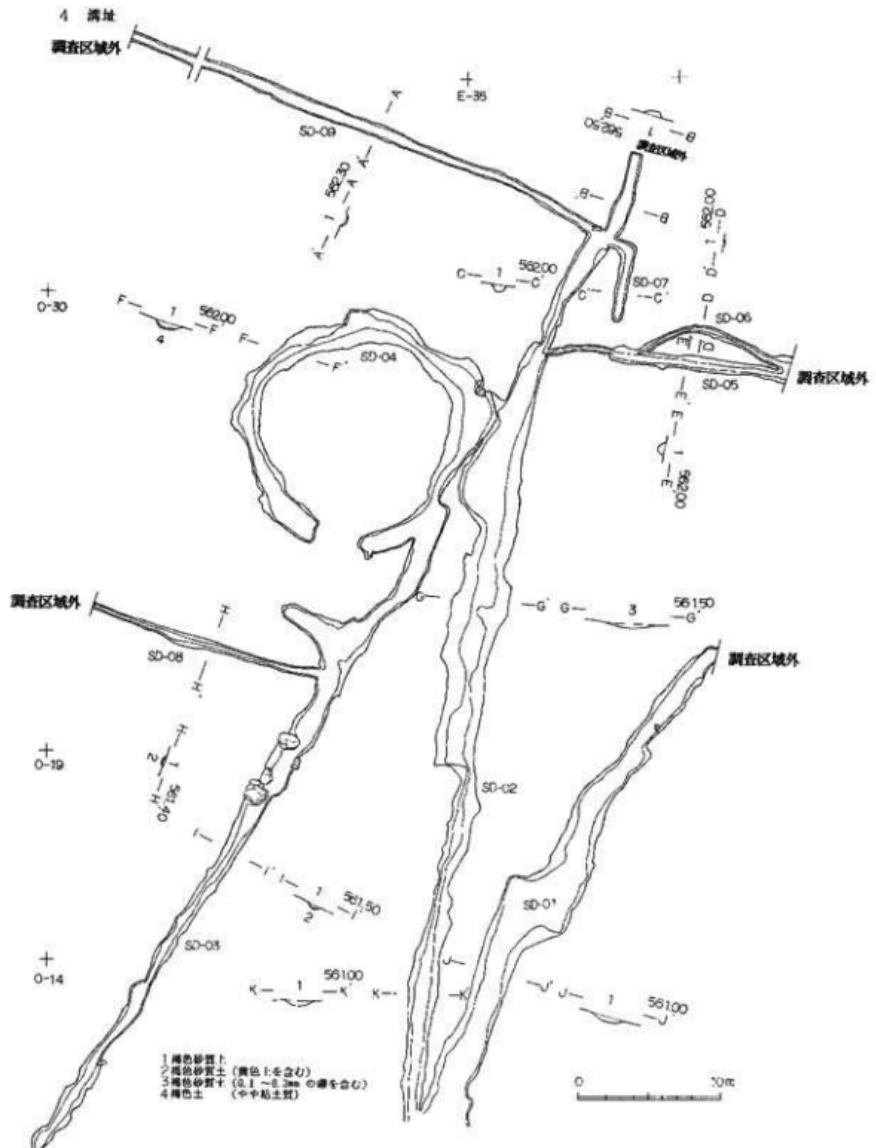
第50図 ピット実測図(4)



第51回 ピット実測図(5)



第52図 ピット実測図(6)



第53図 清量実測図

地盤番号	位置(グリッド)概要	層床	標高	土 壤	柱・坑槽穴(長深×短径×深さ)	位 置 (全長×幅×高)
S B - 1 第 64 層	0-15.16.17.18. P-16. N-17. E-18. W-19. H-20. F-21. G-22. R-23. S-24.	5.72×(3.44) (0.16~0.21).12 550. 82~560. 12	1 黒褐色土 P1 (0.32×0.30×0.21) P2 (0.32×0.26×0.14)	P2 (0.18×0.10)	なし	
備 考						
S B - 1 第 65~66 層	C-14.15. H-13.14.15. N-15. E-16. W-17. R-18. S-19. F-20. G-21. P-22. Q-23.	(4.80)×(3.80) (0.04~0.05).05 560. 48~560. 65	1 黒褐色土 P1 (0.40×0.38×0.08)	P1 (0.40×0.38×0.08)	なし	
備 考						
S B - 1 第 67 層	G-23.30. H-29.30. N-24. E-25. W-26. R-27. S-28. F-29. G-30. P-31. Q-32.	3.54×3.30 (0.15~0.25).15 561. 25~561. 37	1 黒褐色土 P1 (0.34×0.38×0.09) P2 (0.28×0.26×0.05)	P2 (1.20×0.84×0.43) 1. 50×0.37 2. 黄褐色砂質土 (黄土、植生無)	西東中央・Y-48-4	
備 考						
S B - 1 第 68 層	A-22. B-24. C-25. D-26. E-27. N-28. S-29. F-30. G-31. P-32. Q-33.	5.64×5.64 (0.20~0.20).08 560. 87~561. 00	1 黒褐色土 SK-01 (1.00×0.82×0.32)	SK-01 (1.00×0.82×0.32)	手標中央・Y-33-4	
備 考						
S B - 1 第 69 層	B-25. C-27. D-28. N-29. E-30. F-31. G-32. P-33. Q-34.	5.64×5.02 (0.37~0.37).24 561. 12~561. 18	1 黑褐色土 P1 (0.54×0.60×0.25)	P2 (1.04×0.78×0.50)	なし	
備 考						
S B - 1 第 70 層	C-16.17.18.19. H-16.17.18. (G-18.19.20.)? N-21. E-22. F-23. G-24. P-25. Q-26.	(0.40)×(0.38) (0.03~0.04).04 560. 89~560. 76	1 黑褐色土 P1 (0.12×0.20×0.16) P2 (0.12×0.20×0.16) P3 (0.33×0.39×0.25) P4 (0.33×0.39×0.25)	P2 (0.30×0.20×0.16) P4 (0.30×0.20×0.16)	なし	
備 考						
S B - 1 第 71 層	K-23. L-25. M-23. N-24. O-25. P-26. R-27. S-28. T-29. U-30. V-31. W-32. X-33. Y-34. Z-35.	5.10×2.28 (0.14~0.17).17 561. 04~561. 08	1 黑褐色土 P1 (0.28×0.42×0.07)	東側より・Y-37-4 1. 黑褐色砂質土 2. 黄褐色砂質土 3. 黄褐色砂質土 (黄土、多量混入)	1. 10×0.65	
備 考						
S B - 1 第 72 層	K-31. M-32. L-31. N-32. O-33. P-34. R-35. S-36. T-37. U-38. V-39. W-40. X-41. Y-42.	5.20×4.04 (0.24~0.24).24 561. 32~561. 43	1 黑褐色土 P1 (0.60×0.42×0.09)	P1 (0.60×0.42×0.09)	なし	
備 考						

選擇番號		位置(アリーフ)		標高	標高	標高	標高	柱・坑道穴(長径×短径×深さ)	位置(全長×幅×高さ)
選擇番號	半面輪	面輪	旁輪	床	壁	土	層	柱	坑道穴(長径×短径×深さ)
S B - 0.1 第54～55番	1-02.03.04 N-01.03.04	2-02.03.04 N-01.03.04	3-02.03.04 N-01.03.04	5.82×5.51 550.52～559.53	0.23～0.07 0.43	1 黑褐色土		P1 (0.33×0.22×0.10) P2 (0.33×0.22×0.10) P3 (0.33×0.22×0.10) P4 (0.33×0.22×0.10) P5 (0.33×0.22×0.10) P6 (0.33×0.22×0.10) P7 (0.33×0.22×0.10) P8 (0.33×0.22×0.10) P9 (0.33×0.22×0.10) P10 (0.33×0.22×0.10) P11 (0.33×0.22×0.10) P12 (0.33×0.22×0.10) P13 (0.33×0.22×0.10) P14 (0.33×0.22×0.10) P15 (0.33×0.22×0.10) P16 (0.33×0.22×0.10) P17 (0.33×0.22×0.10) P18 (0.33×0.22×0.10) P19 (0.33×0.22×0.10) P20 (0.33×0.22×0.10) P21 (0.33×0.22×0.10) P22 (0.33×0.22×0.10) P23 (0.33×0.22×0.10) P24 (0.33×0.22×0.10) P25 (0.33×0.22×0.10) P26 (0.33×0.22×0.10) P27 (0.33×0.22×0.10) P28 (0.33×0.22×0.10) SK (0.28×0.38×0.07)	西端中央・N-53°-E 上端中央・N-53°-E 1 黑褐色沙質土(耕作土混入) 1 黑褐色沙質土(耕作土混入)
備 考									
S B - 0.3 第7番	1-02.03.04 P-02.03.04 N-02.03.04	2-02.03.04 P-02.03.04 N-02.03.04	3-02.03.04 P-02.03.04 N-02.03.04	10.60×8.05 (N)0.52～ (P)0.12	1 黑褐色土	P1 (0.20×0.20×0.10)			なし
備 考									
S B - 0.8 第59～60番	0-12.14.15 N-12.14.15	1-14.15.16 N-14.15.16	2-14.15.16 N-14.15.16	8.30×3.10 (N)0.49～ (P)0.54	1 黑褐色土	P1 (0.48×0.40×0.07)			なし
備 考									
S B - 0.9 第61番	1-14.15.16 N-14.15.16	2-14.15.16 N-14.15.16	3-14.15.16 N-14.15.16	4.10×2.36 (N)0.45～ (P)0.49	1 黑褐色土	P1 (0.26×0.22×0.06)	P2 (0.24×0.20×0.11)	N-115°-E 1 黑褐色沙質土(耕作土混入) 1 黑褐色沙質土(耕作土混入)	東端中央・N-50°-E 0.90×0.55 1 黑褐色沙質土(耕作土混入) 1 黑褐色沙質土(耕作土混入)
備 考									

地盤番号	位置(グリッド)	標高	土層	柱・竪穴(長径×短径×深さ)	方位(全矢・最大幅)
S B-2.0 第24~25 第7.6	H-32.33 I-32.33.34 N-10°E N-10°W Y-10°S	5.20×1.70 (S)0.08 561.68~561.77	1 黒褐色土	P1 (0.34×0.32×0.18) P3 (0.34×0.30×0.18)	N-110°-E 東偏北より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考					
S B-2.1 第26~27 第7.7~7.8	F-34. G-33.34.35 H-34.35 N-10°W N-10°E Y-10°S	4.10×1.20 (S)0.10 561.64~561.73	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.32×0.18) P3 (0.34×0.30×0.18)	N-110°-E 東偏北より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考	SB-19 に切5.15				
S B-2.2 第28~29 第7.9	V-25.26 V-25.26 Z-25.26 N-10°W N-10°E Y-10°S	4.70×1.44 (S)0.06 561.14~561.94	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.32×0.18) P3 (0.34×0.30×0.18) P5 (0.34×0.32×0.18) P7 (0.34×0.32×0.18)	N-110°-E 東偏北より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考					
S B-2.3 第30~31 第8.0~8.1	J-28.29 K-28.29 L-28.29 N-10°W N-10°E Y-10°S	4.90×1.20 (S)0.08 561.33~561.47	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11) P3 (0.34×0.34×0.11) P5 (0.34×0.34×0.11) P7 (0.34×0.34×0.11)	N-115°-E 東偏南より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考					
S B-2.4 第32~33 第8.2~8.3	A-17.18 O-17.18 N-10°W N-10°E Y-10°S	2.92×1.20 (S)0.31 560.48~560.69	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11) P3 (0.34×0.34×0.11) P5 (0.34×0.34×0.11) P7 (0.34×0.34×0.11)	N-115°-E 東偏南より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考					
S B-2.5 第34 第34~35	L-24.25 W-24 N-10°W N-10°E Y-10°S	2.92×1.20 (S)0.31 561.01~561.08	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11) P3 (0.34×0.34×0.11)	N-115°-E 東偏南より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考	SB-18 に切られている				
S B-2.6 第35 第34~35	I-22.23 W-22.23 N-10°W N-10°E Y-10°S	5.16×1.20 (S)0.14 560.98~561.04	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11) P3 (0.34×0.34×0.11)	N-115°-E 東偏南より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考	SB-18 SB-27 に切られている				
S B-2.7 第36 第5~6	Y-22.22 N-10°W N-10°E Y-10°S	2.90×1.82 (S)0.26 560.70~560.72	1 黑褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11) P3 (0.34×0.34×0.11)	N-115°-E 東偏南より×0.02 1 甲斐緑色土(生物入り) 1 甲斐緑色土(生物入り)
備 考					

遺傳物園版番号	位置(グリッド)、部位	標本	標高	覆土層	柱・附着穴(直径×短径×深さ)	位置(全長×最大幅)	備考
S.B-2.8 第37~89	V-30.31.32 N-30.31.32 [標高/北] N-10.11.12	5.22×(4.38) (S)0.17 561.46~561.55	1 黒褐色土	P1 (0.40×0.38×0.28); P2 (0.38×0.36×0.26)	東壁より・Y-113-E 1.0×0.80 1 黒褐色土 1 黑褐色土 1 黑褐色土 (未焼、紫土焼入)		
SB-2.9 第39	[32.1]32 L-32 [標高/北] N-65	3.61×(3.50) (S)0.13~0.14 561.32~561.60	1 黑褐色土	P1 (0.16×0.16×0.04)			なし
SB-19	SB-19に切られている						
SB-3.0 第40	J-30.31 V-30.31.32 [標高/北] N-10.11.12	4.29×3.72 (S)0.19~0.22 561.46~561.51	1 黑褐色土	なし			なし
SB-19	SB-19に切られている						

第五表 住居址一覧表(4)

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	覆土層
1	114	110	10	1 黒褐色砂質土 (ローム混入)
2	272	120	54	1 黒褐色砂質土 2 黒褐色砂質土 (黄色土ローム状に混入)
3	140	110	16	1 黒褐色砂質土 (黄色土混入)
4	164	112	48	1 黒褐色砂質土 (黄色土混入)
5	306	108	24	1 黒褐色砂質土
6	212	80	32	1 黒褐色砂質土
7	90	78	16	
8	110	94	22	
9	472	320	10	1 黒褐色砂質土
10	226	210	40	1 黒褐色砂質土
11	100	88	16	
12	220	124	24	1 黒褐色砂質土 (10cm~1cm の石、黄色土混入)
13	172	140	32	1 黒褐色砂質土 (黄色土混入)
14	138	90	46	1 黒褐色砂質土
15	360	310	26	1 黒褐色砂質土
16	124	76	20	
17	138	100	28	
18	256	190	116	1 黒褐色砂質土 2 黒褐色砂質土 (黄色土少量混入) 3 黒褐色砂質土 (黄色土多量混入) 4 黒褐色砂質土 (黄色土混入) 5 黄褐色砂質土 6 黒色砂質土
19	160	124	28	
20	108	84	24	1 黒褐色砂質土 (黄色土混入) 2 黄色砂質土
21	90	80	36	1 黑褐色砂質土 (黄色土少量混入) 2 黑褐色砂質土 (黄色土多量混入)
22	80	78	34	1 黑褐色砂質土 (黄色土少量混入) 2 黑褐色土 (小石、黄色土多量混入)
23	140	80	24	1 黑褐色砂質土 2 黑褐色砂質土 (小石、黄色土混入) 3 黑褐色砂質土 (小石多量混入)
24	280	240	52	1 黑色砂質土 2 黑色砂質土 (黄色土混入) 3 黑色砂質土 (黄色土ブロック状に混入)
25	166	66	36	1 黑褐色砂質土 2 黑褐色砂質土 (黄色土混入)
26	360	100	18	
27	298	170	56	
28	508	242	18	1 黑褐色砂質土 2 黑褐色砂質土 (黄色土混入)
29	490	140	22	1 黑褐色砂質土
30	242	168	18	
31	116	110	12	
32	198	62	30	

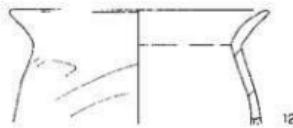
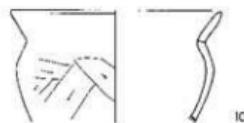
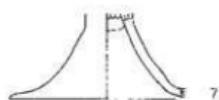
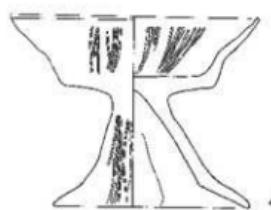
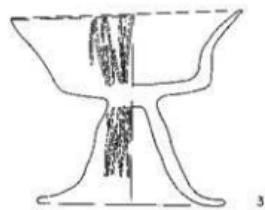
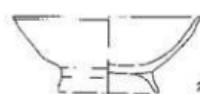
第 6 表 土 壤 一 覧 表

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1	28	26	8	43	24	22	20	87	52	38	7
2	40	38	10	45	48	40	12	88	60	58	26
3	50	48	10	46	84	73	28	89	30	30	16
4	28	—	10	47	70	66	24	90	48	44	30
5	—	28	10	48	54	52	28	91	48	40	20
6	32	—	8	49	40	40	20	92	42	40	22
7	70	38	14	50	26	22	14	94	92	68	21
8	56	52	8	51	36	32	12	95	40	38	44
9	36	18	18	52	34	32	12	96	26	22	18
10	58	54	16	53	43	32	17	97	40	30	24
11	40	34	8	54	44	43	20	98	30	24	14
12	42	26	10	56	44	44	28	99	32	26	18
13	52	36	12	57	20	20	6	100	48	44	4
14	34	32	8	58	32	22	14	101	42	—	10
15	26	22	18	59	46	44	26	102	70	68	28
16	32	30	16	60	32	26	6	103	90	50	14
17	—	70	12	61	58	48	26	104	64	—	26
18	46	24	14	62	52	44	18	105	48	42	6
19	74	60	10	63	48	36	20	106	76	68	14
20	60	42	24	64	44	40	20	107	72	50	26
21	36	32	14	65	50	40	30	108	34	30	26
22	42	36	18	66	50	38	16	109	32	32	12
23	60	50	24	67	54	36	22	110	36	32	14
24	42	38	22	68	36	34	16	111	30	26	18
25	48	36	30	69	34	30	6	112	82	54	12
26	—	36	10	70	38	34	22	113	42	28	16
27	46	44	24	71	50	44	20	114	36	30	10
28	50	48	32	72	44	32	18	115	24	22	14
29	50	44	30	73	44	32	24	116	28	26	6
30	28	26	26	74	58	48	22	117	48	28	4
31	36	32	10	75	52	48	24	118	38	32	10
32	36	34	18	76	56	46	14	119	48	42	18
33	34	30	28	77	76	72	28	120	44	36	18
34	52	36	10	78	54	36	22	121	34	26	22
35	38	34	18	79	38	32	20	122	32	30	32
36	30	28	26	80	34	30	18	123	40	22	22
37	46	38	8	81	52	40	24	124	45	38	20
38	38	32	14	82	48	40	26				
39	48	34	30	83	48	42	18				
40	18	14	8	84	62	46	14				
41	26	24	6	85	52	50	14				
42	38	32	22	86	52	50	30				

第7表 ピットー監表

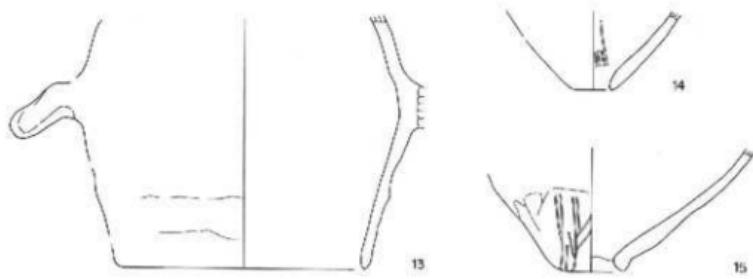
第2節 遺物

1 黑穴住居址出土遺物

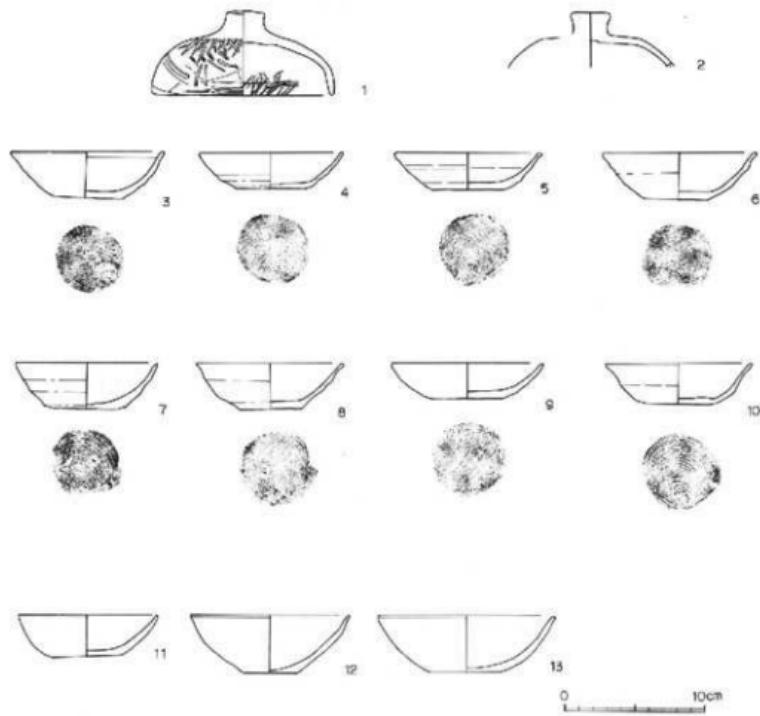


第54圖 SB-01出土遺物實測圖(1)

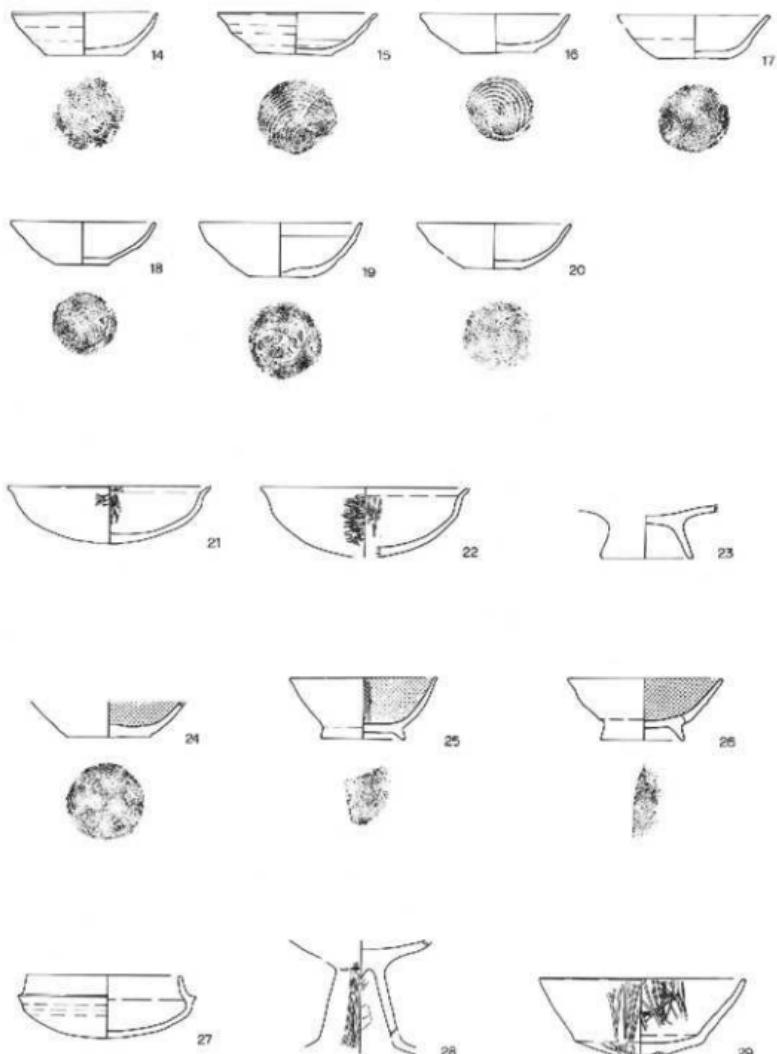
0 10cm



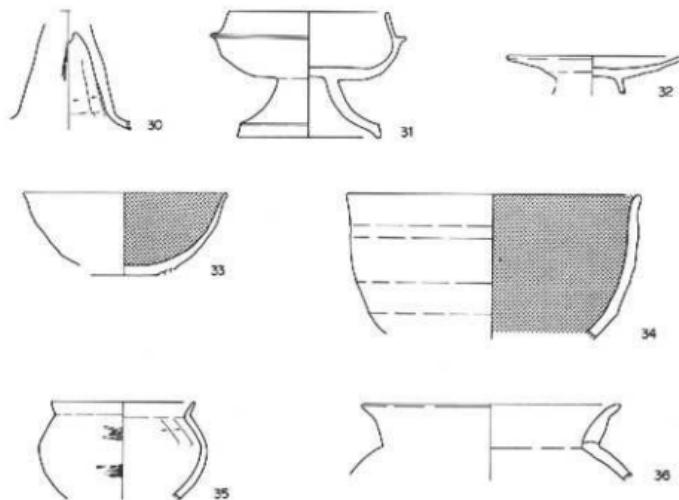
第55図 SB-01出土遺物実測図(2)



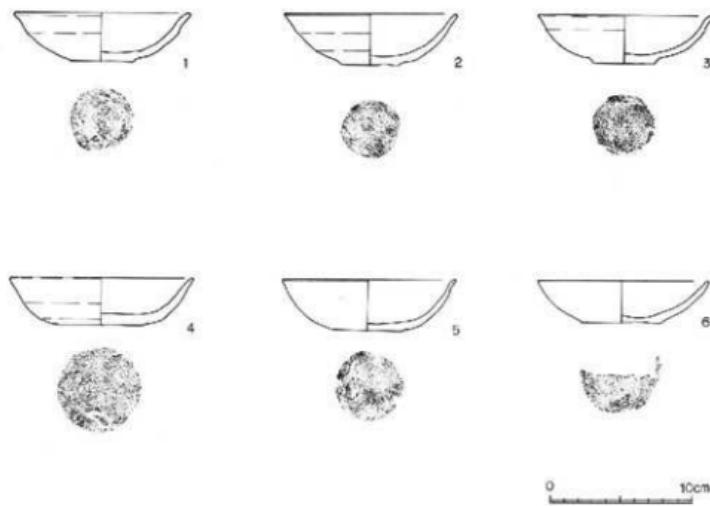
第56図 SB-03出土遺物実測図(1)



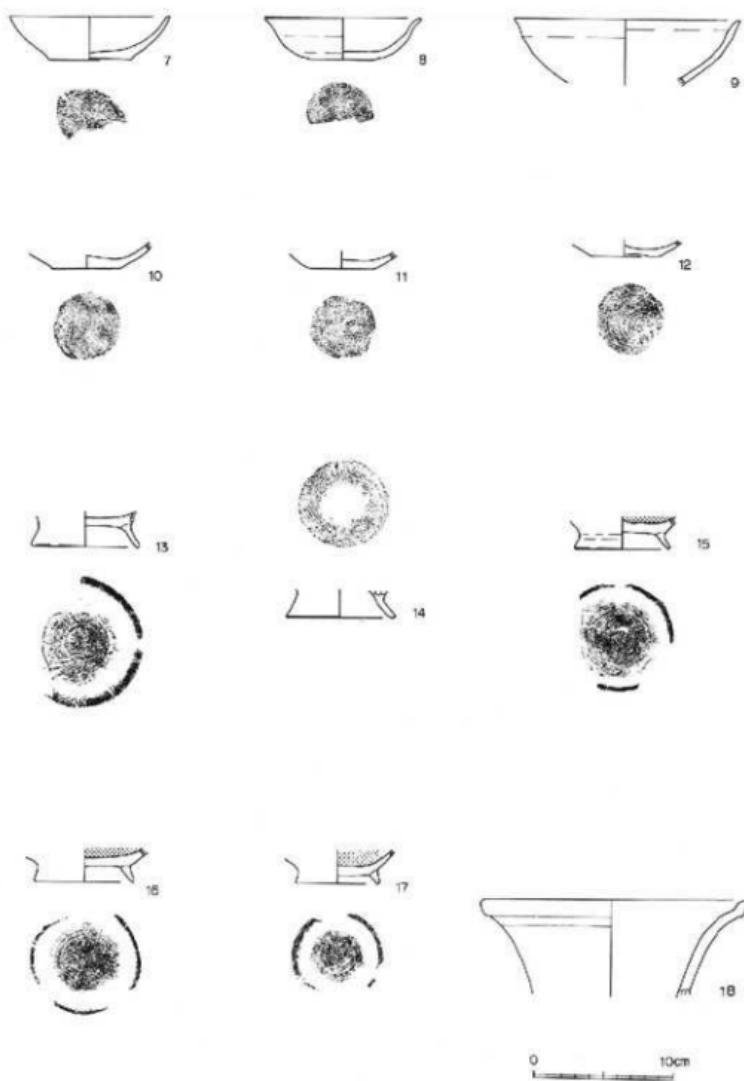
第57圖 SB-03出土遺物實測圖(2)



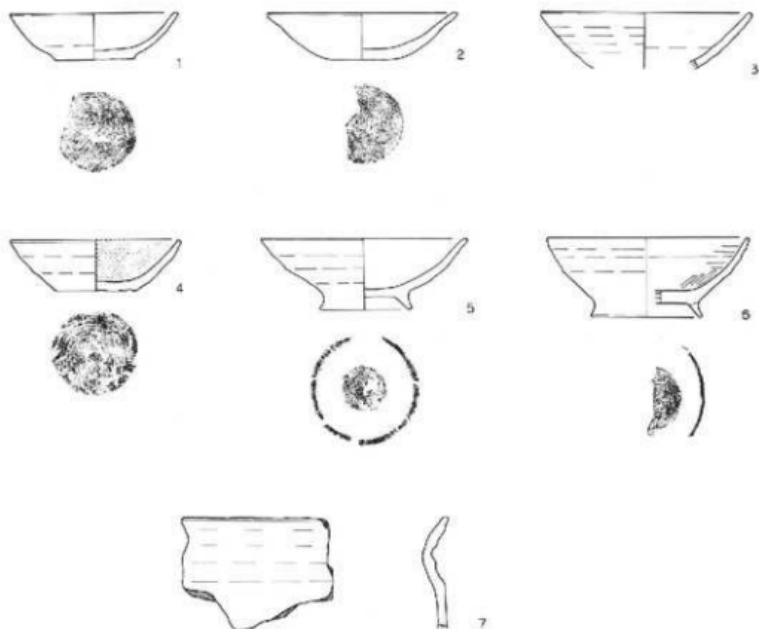
第58図 SB-03出土遺物実測図(3)



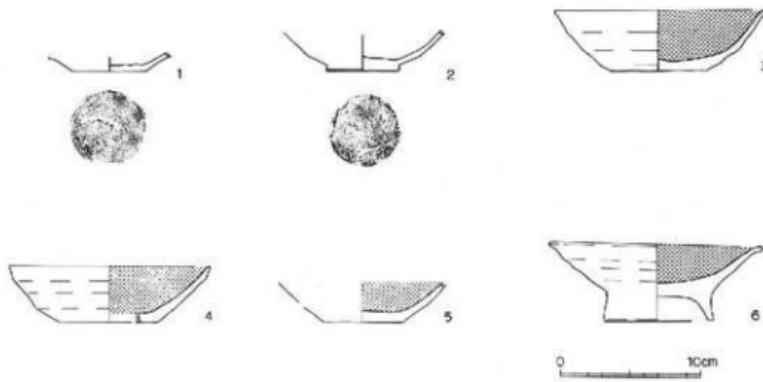
第59図 SB-08出土遺物実測図(1)



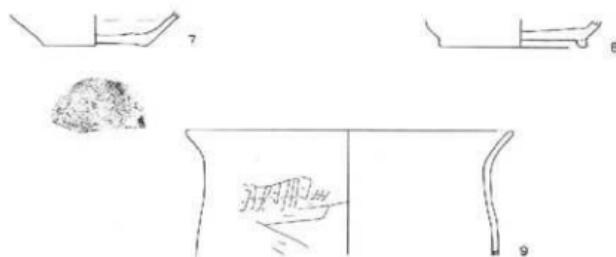
第60圖 SB-08出土遺物實測圖(2)



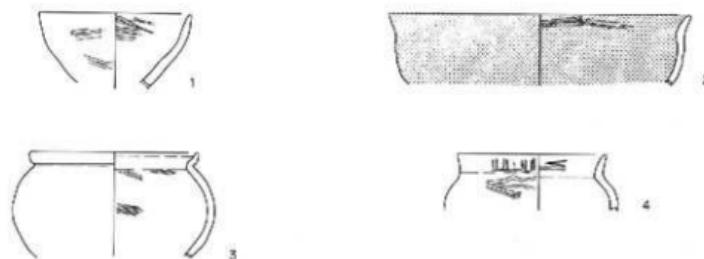
第61図 SB-09出土遺物実測図



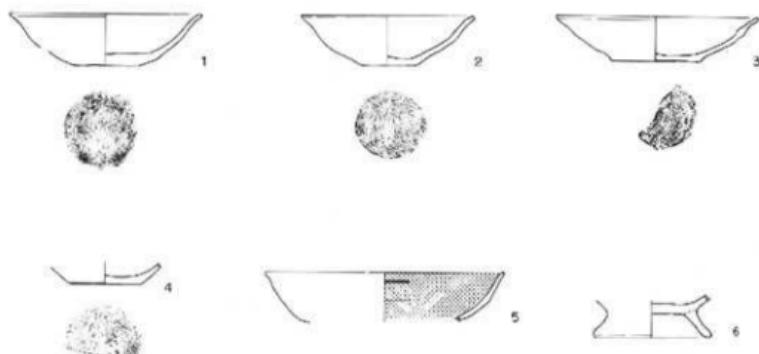
第62図 SB-10出土遺物実測図(1)



第63図 SB-10出土遺物実測図(2)



第64図 SB-11出土遺物実測図

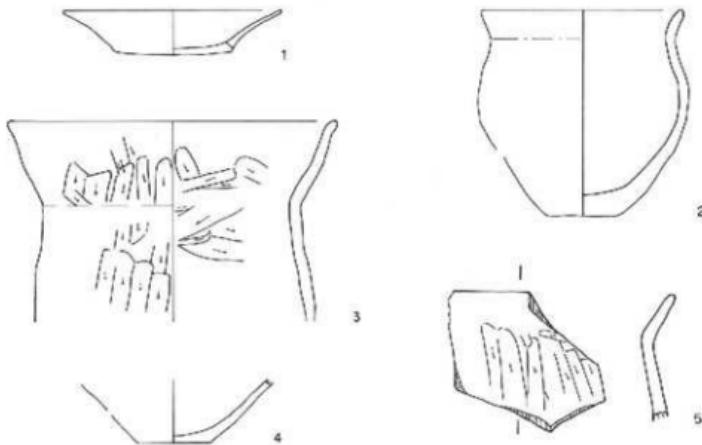


第65図 SB-12出土遺物実測図(1)

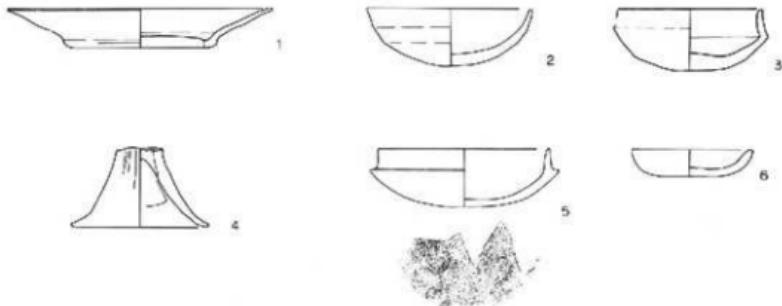
0 10cm



第66図 SB-12出土遺物実測図(2)

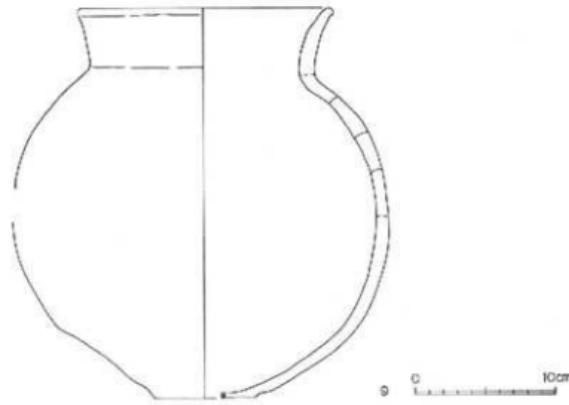
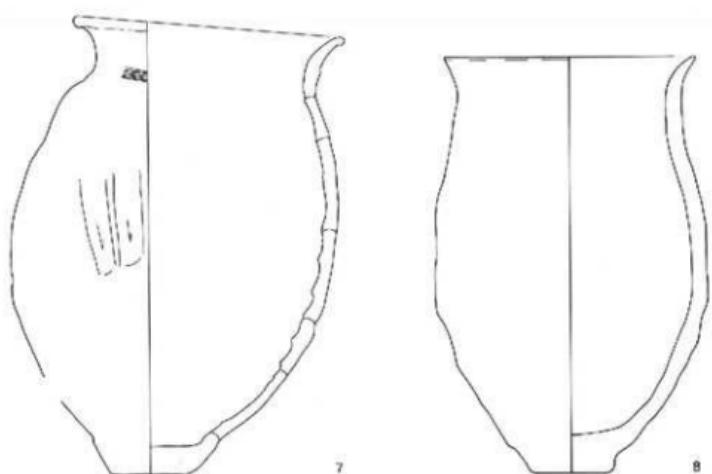


第67図 SB-13出土遺物実測図

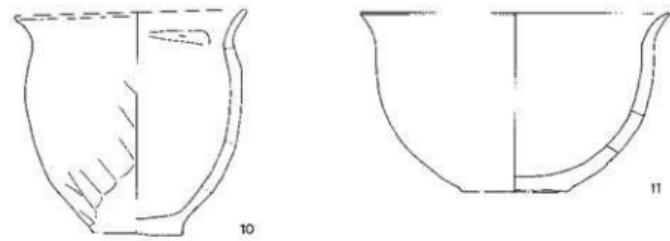


第68図 SB-14出土遺物実測図(1)

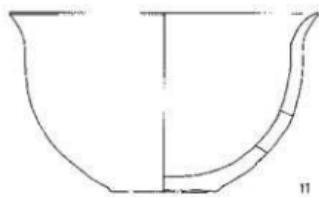
0 10cm



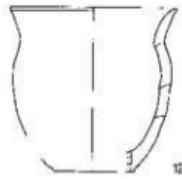
第69圖 SB-14出土遺物実測図(2)



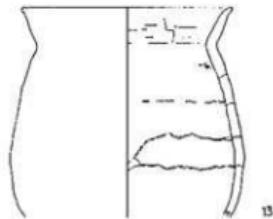
10



11



12



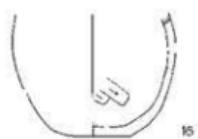
13



14



15



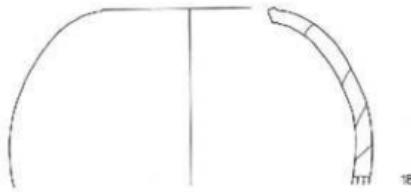
16



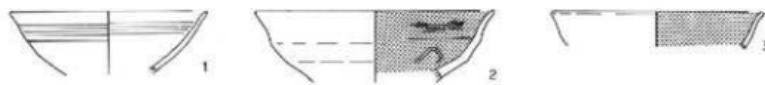
17

0 1 10cm

第70圖 SB-14出土遺物素描圖(3)

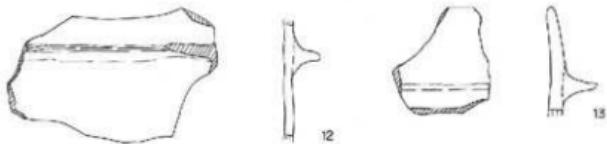


第71図 SB-14出土遺物実測図(4)

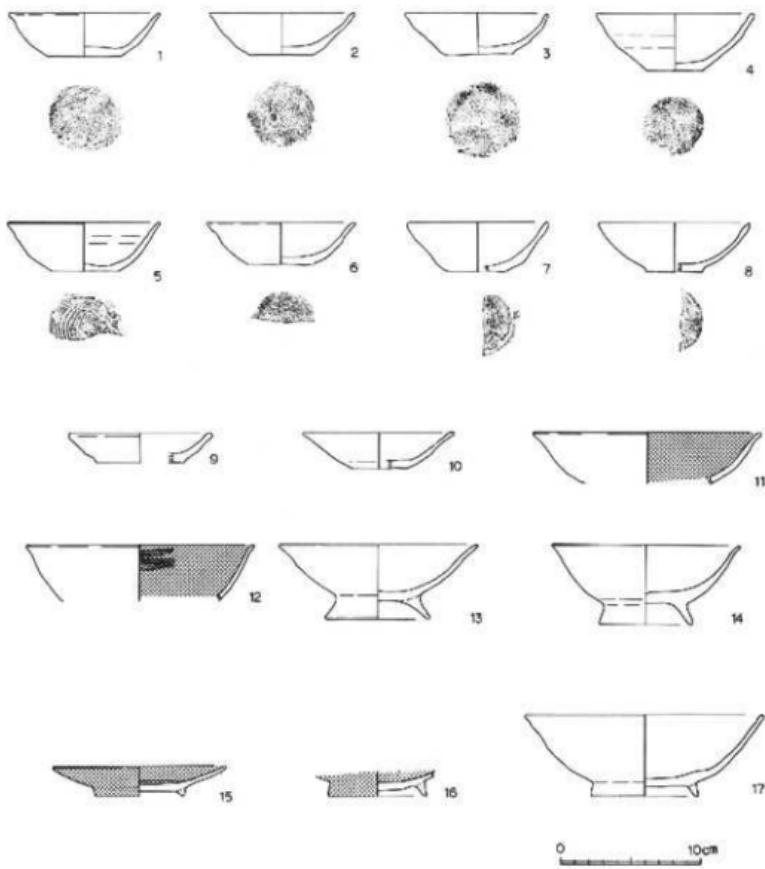


0 10cm

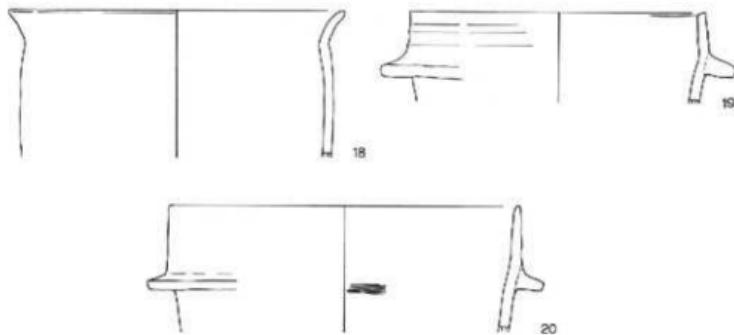
第72図 SB-18出土遺物実測図(1)



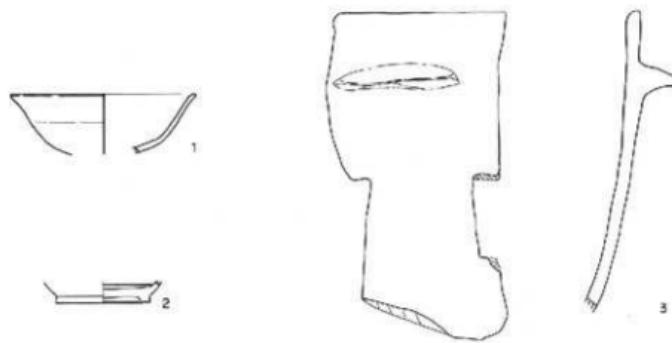
第73図 SB-18出土遺物実測図(2)



第74図 SB-19出土遺物実測図(1)



第75図 SB-19出土遺物実測図(2)



第76図 SB-20出土遺物実測図



第77図 SB-21出土遺物実測図(1)

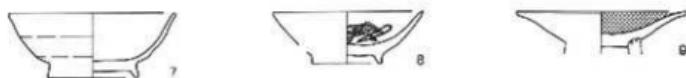
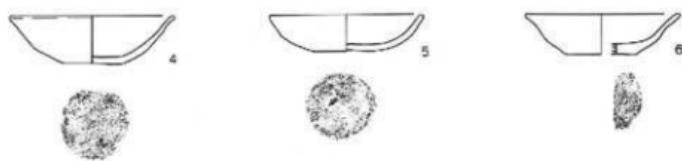
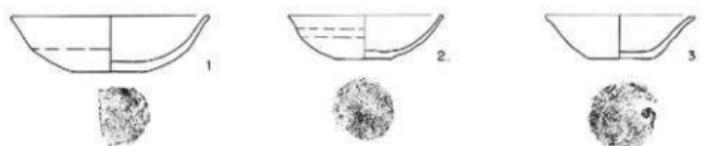
0 1 10cm



第78図 SB-21出土遺物実測図(2)

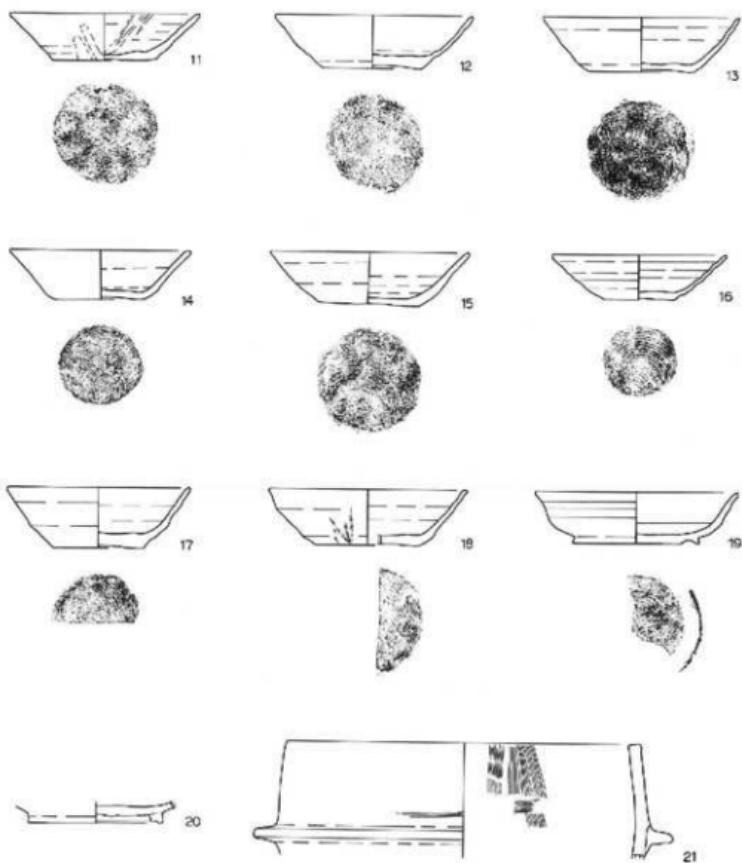


第79図 SB-22出土遺物実測図



0 10cm

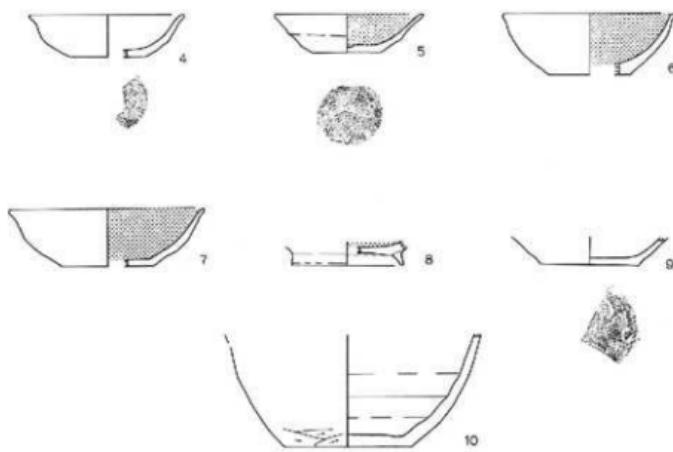
第80図 SB-23出土遺物実測図(1)



第81図 SB-2-3出土遺物実測図(2)



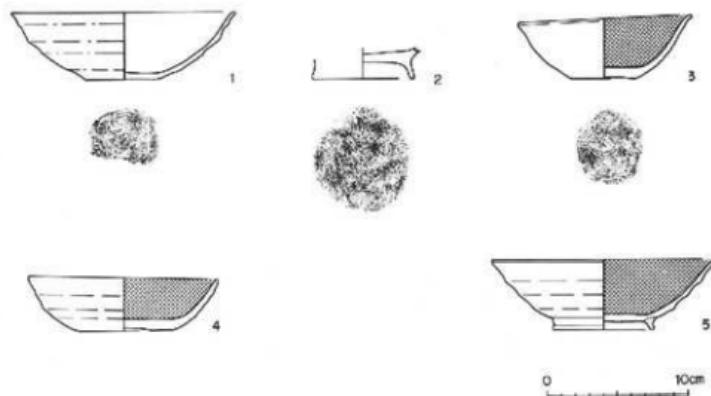
第82図 SB-2-4出土遺物実測図(1)



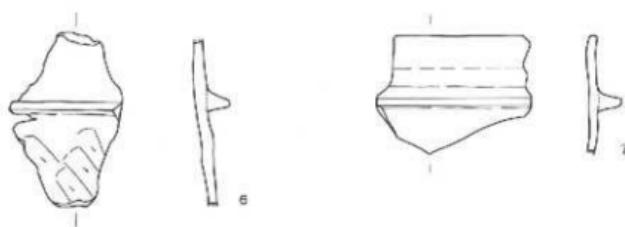
第83図 SB-24出土遺物実測図(2)



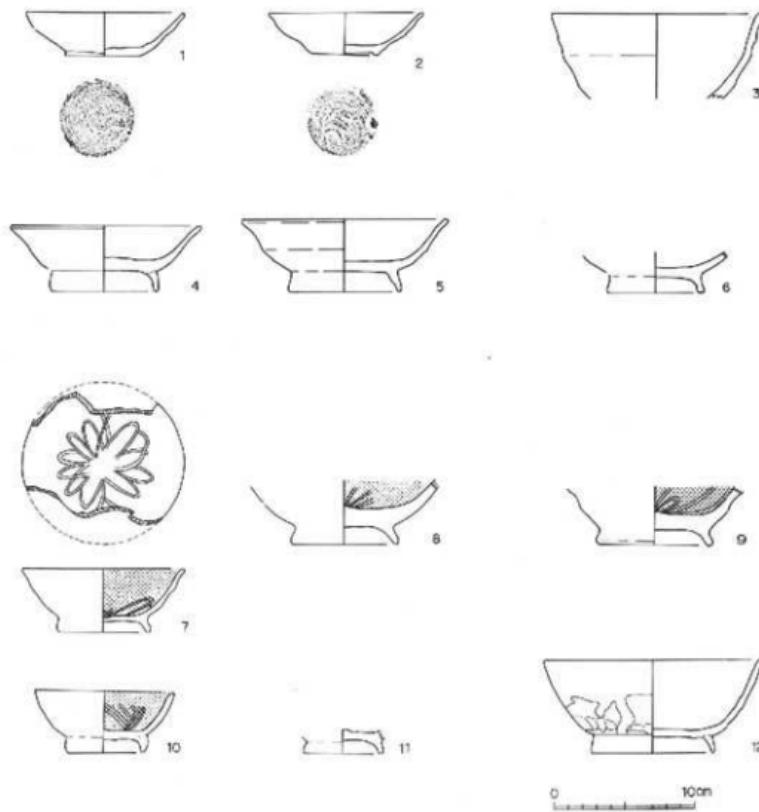
第84図 SB-26出土遺物実測図



第85図 SB-27出土遺物実測図(1)



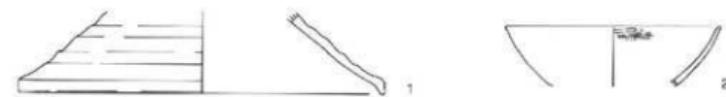
第86圖 SB-27出土遺物実測図(2)



第87圖 SB-28出土遺物実測図(1)



第88図 SB-28出土遺物実測図(2)



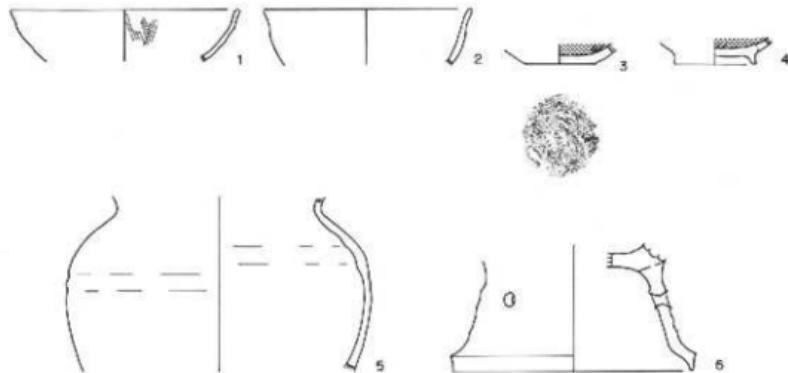
0 10cm

第89図 SB-30出土遺物実測図

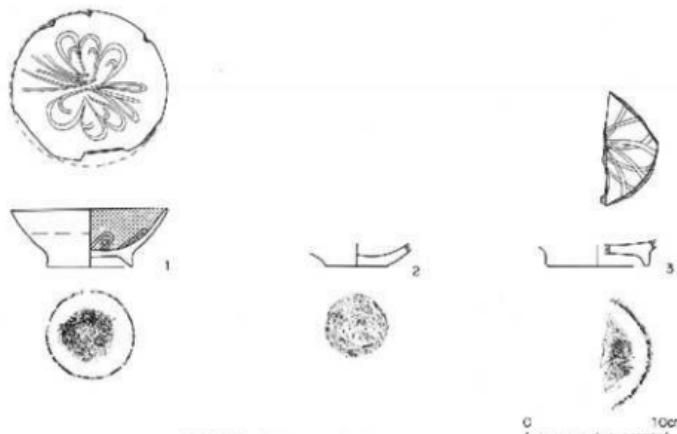
2 土器出土遺物



第90圖 SK-02出土遺物実測図

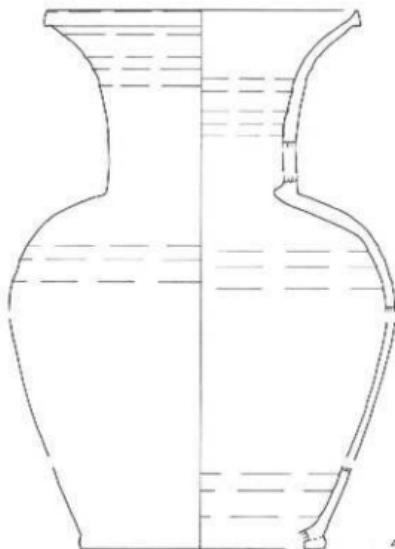


第91圖 SK-05出土遺物実測図

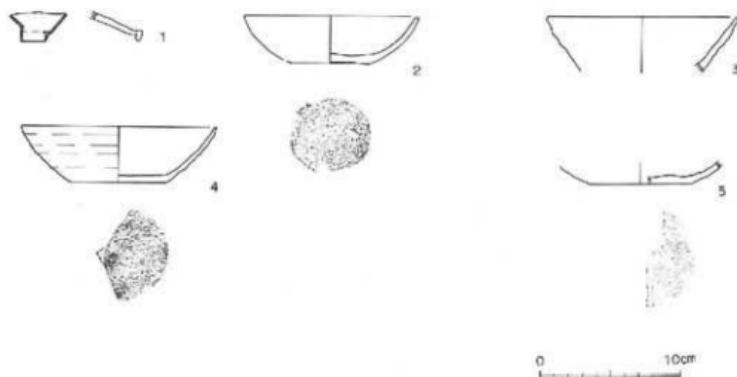


第92圖 SK-07出土遺物実測図(1)

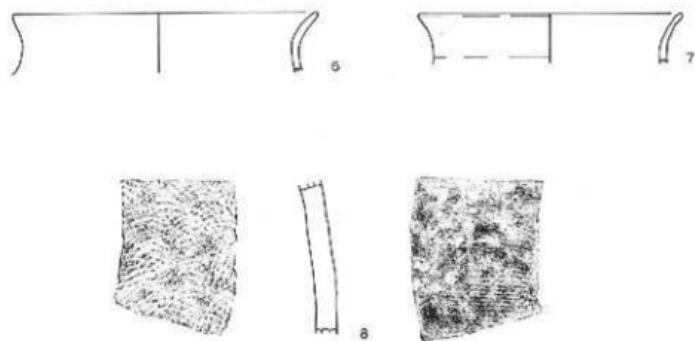




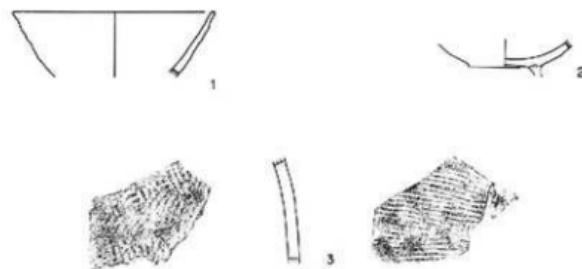
第93図 SK-07出土遺物実測図(2)



第94図 SK-09出土遺物実測図(1)



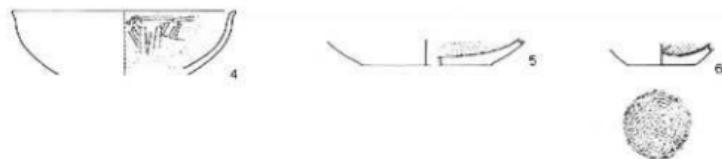
第95図 SK-09出土遺物実測図(2)



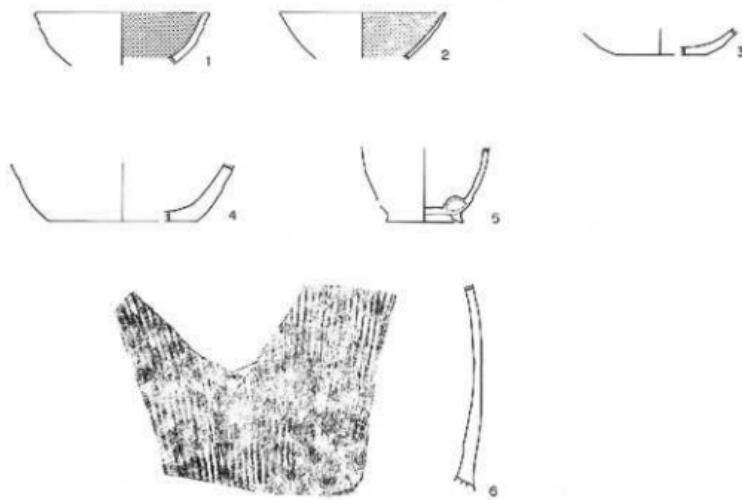
第96図 SK-11出土遺物実測図



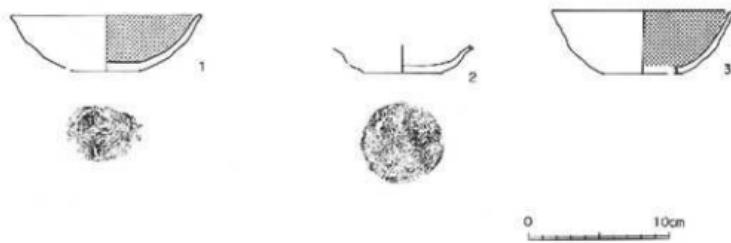
第97図 SK-12出土遺物実測図(1)



第98圖 SK-12出土遺物実測図(2)



第99圖 SK-14出土遺物実測図



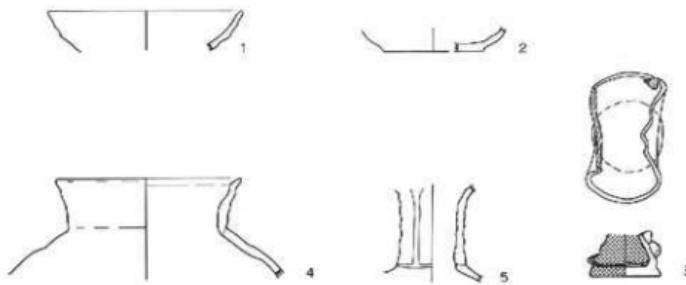
第100圖 SK-15出土遺物実測図(1)



第101図 SK-15出土遺物実測図(2)



第102図 SK-17出土遺物実測図



第103図 SK-18出土遺物実測図



第104図 SK-21出土遺物実測図



第105図 SK-22出土遺物実測図

0 10cm



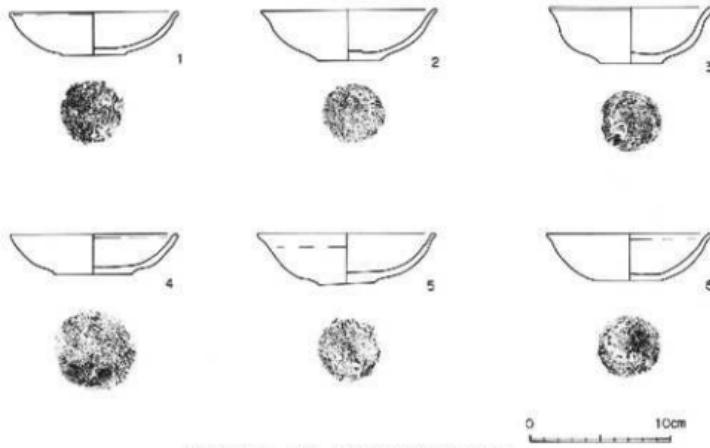
第106図 SK-24出土遺物実測図



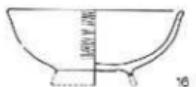
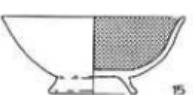
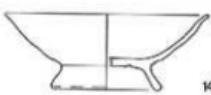
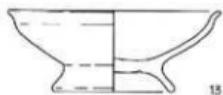
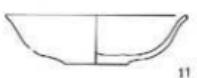
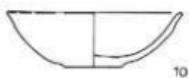
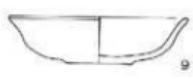
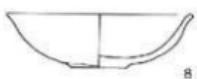
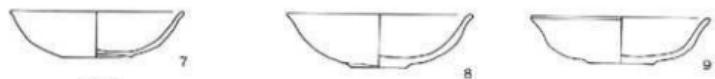
第107図 SK-28出土遺物実測図



第108図 SK-30出土遺物実測図

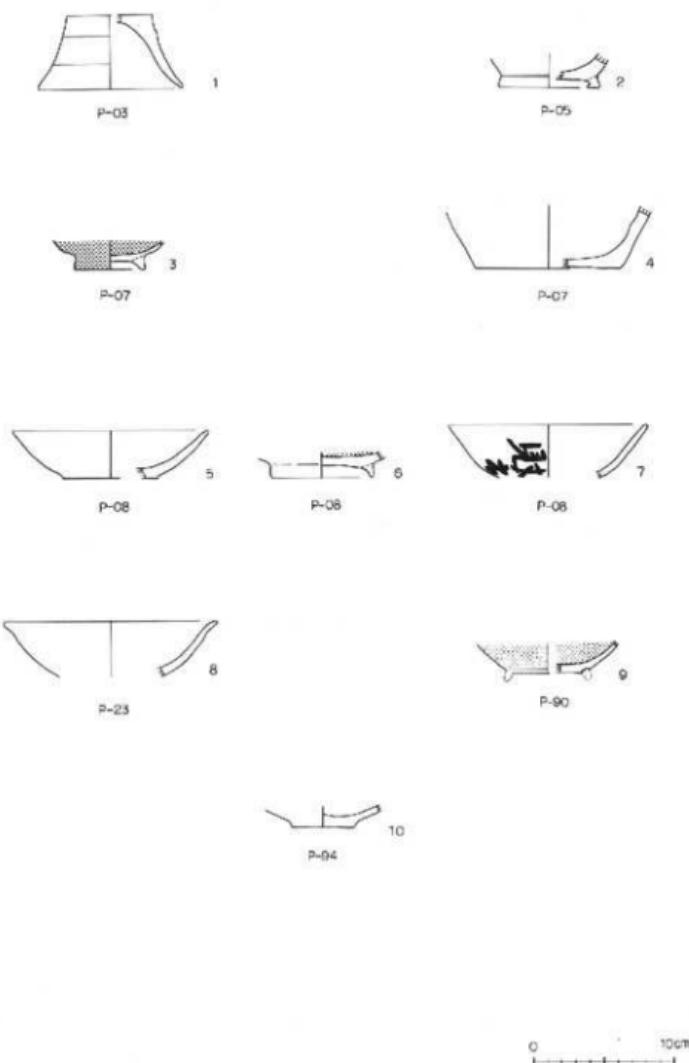


第109図 SK-32出土遺物実測図(1)



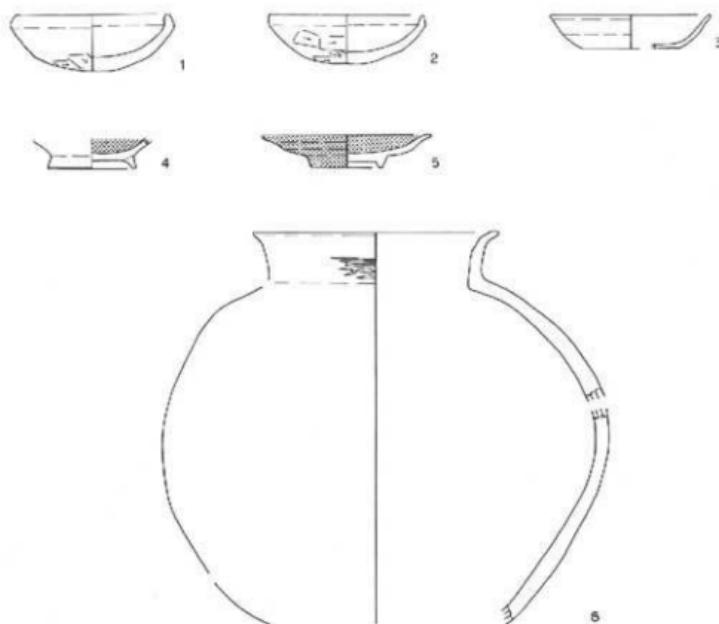
第110図 SK-32出土遺物実測図(2)

3 ピット出土遺物

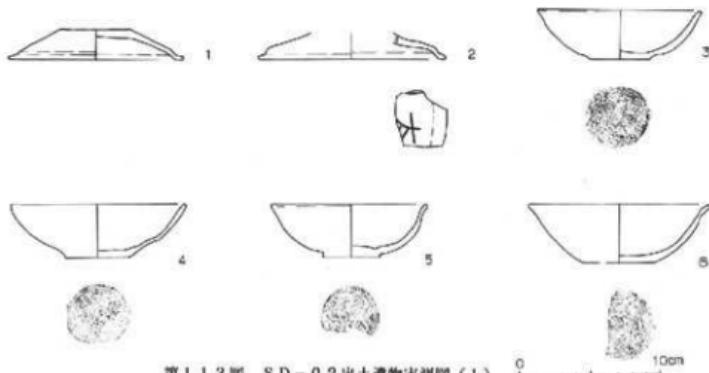


第111図 ピット出土遺物実測図

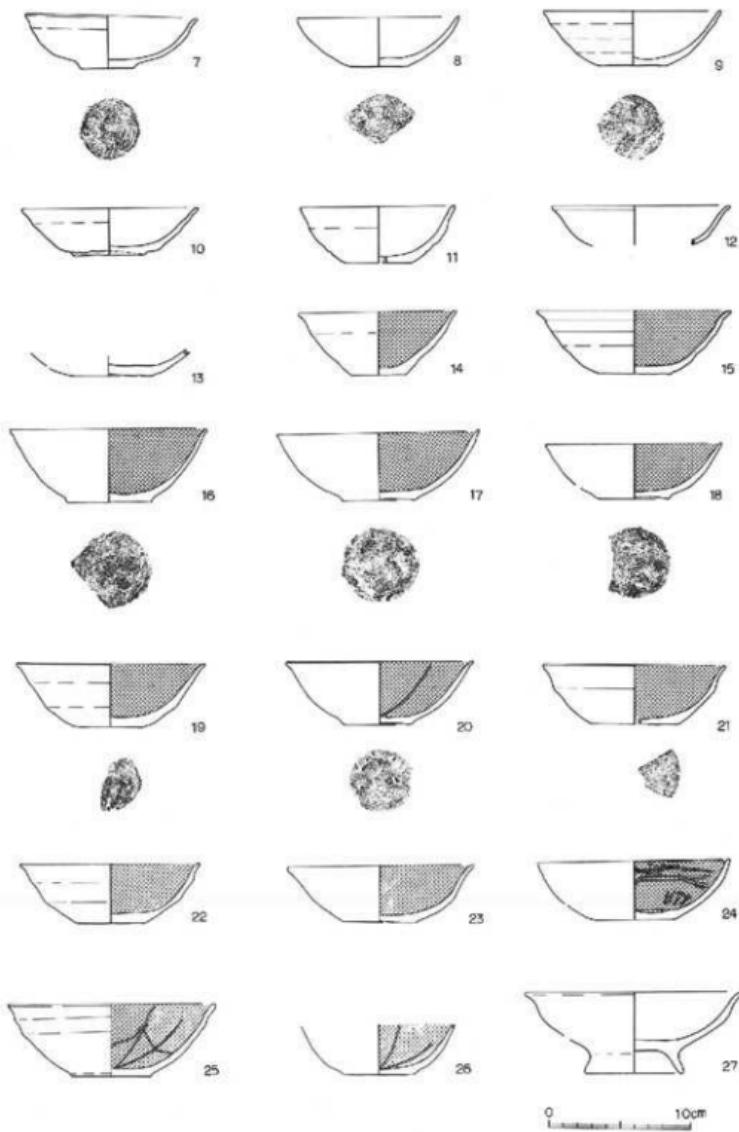
4 满址出土遗物



第11-2图 SD-01出土遗物实测图



第11-3图 SD-02出土遗物实测图(1)



第114図 SD-02出土遺物実測図(2)



28



29



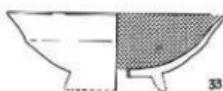
30



31



32



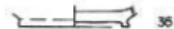
33



34



35



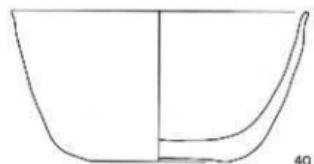
36



37



39



40



41



42



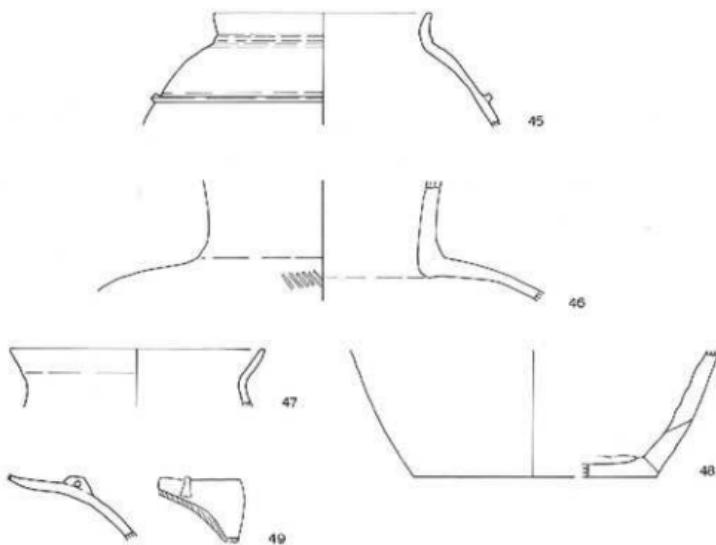
43



44



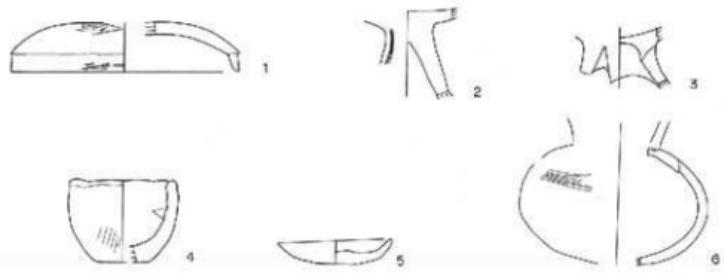
第115圖 SD-02出土遺物実測図(3)



第116図 SD-02出土遺物実測図(4)

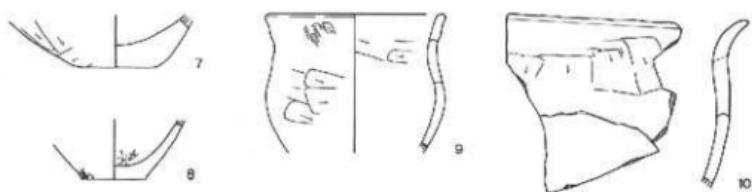


第117図 SD-03出土遺物実測図

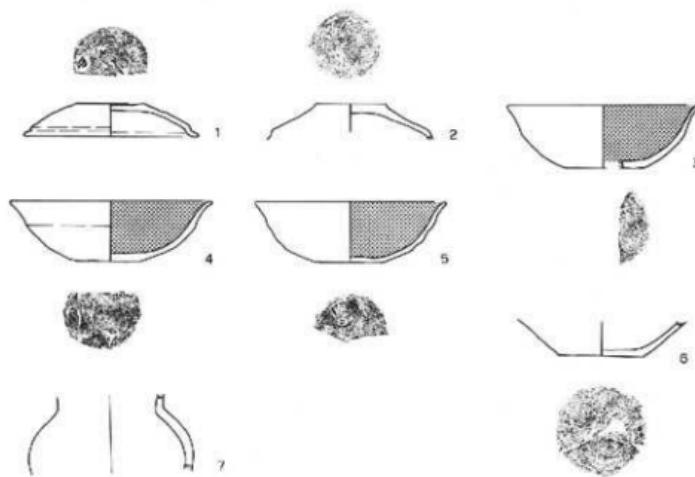


第118図 SD-04出土遺物実測図(1)

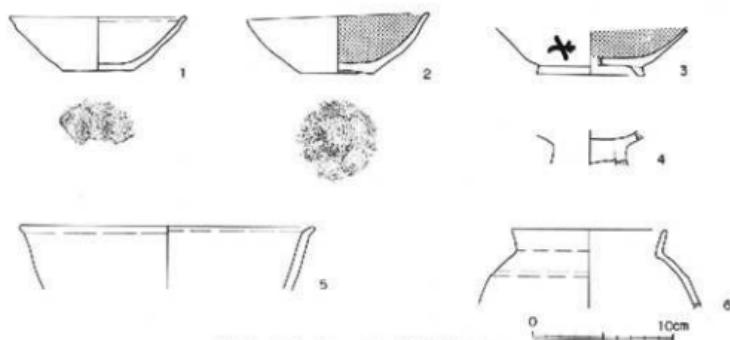
0 10cm



第119図 SD-04出土遺物実測図(2)



第120図 SD-07出土遺物実測図



第121図 SD-09出土遺物実測図

5. 遺物観察表

遺物No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-01 54-1	坏 土師	18.5 6.5 — 4/5	胎: 0.25の粗、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5VR7/4にぶい橙色 (有)7.5VR7/4にぶい橙色	丸底から細く内寄しながら立ち上がり、口縁部で短く外反する	(有)下位縫位の箇磨き、上位縫位の箇磨き (有)口縁部横位の箇磨き、体部縫位の箇磨き
SB-01 54-2	坏 土師 ほぼ完存	13.4 5.6 7.1 — —	胎: 0.4の粗、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5VR8/3淡橙色 (有)5VR8/3淡橙色	付高台の底部から体部は内寄しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(有)機械による撫で (有)機械による撫で
SB-01 54-3	高坏 土師	16.4 14.0 13.4 45/6 ■2/3	胎: 0.3の粗、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5VR5/4にぶい橙色 (有)7.5VR5/4にぶい橙色	環部下位に縫を有し、外反して口縁に立ち上がる。脚部は外傾して開き、底部で外反する 粘土帶積み上げ	(有)縫位の箇磨き (有)環部は繊維な箇磨き、口縁・脚部は横位の箇磨き ・脚部は横位の箇磨り
SB-01 54-4	高坏 土師	17.3 13.6 14.0 ■2/3 ■2/3	胎: 0.4の粗、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5VR5/6明赤褐色 (有)5VR5/6明赤褐色	脚底部で屈曲して、外反・外傾する体部に立ち上がり、口縁で若干内寄する。脚部は屈で屈曲外反する	(有)縫位の箇磨き (有)環部縫位の箇磨き、脚部縫 ・口縁部は横位の箇磨り
SB-01 54-5	高坏 土師	15.3 5.5 — ■3/5	胎: 0.3の粗、黒雲母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (有)5VR5/3にぶい赤褐色 (有)5VR5/4にぶい赤褐色	体部は僅かに内寄して開く	(有)撫で (有)撫での後縫位の箇磨き
SB-01 54-6	高坏 土師 環部 完存	11.3 5.5 — — ■1/3	胎: 精良 焼: 良好 色: (有)2.5VR7/3浅黄色 (有)2.5VR7/3浅黄色	体部は内凹して立ち上がり、口縁部で外反する	(有)縫位の丁寧な箇磨き (有)縫位の丁寧な箇磨き
SB-01 54-7	高坏 土師	6.0 — — ■1/3	胎: 黑母、粗砂粒、白色粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5VR6/3にぶい褐色 (有)7.5VR6/4にぶい褐色	ラッパ状に広がる	(有)脚部縫位の箇削りの後撫で 脚部横位の撫で (有)脚部横位の箇削りの後撫で 脚部横位の撫で
SB-01 54-8	高坏 土師 脚部のみ	— 7.4 — —	胎: 0.3の粗、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5VR6/4にぶい赤褐色 (有)5VR6/4にぶい赤褐色	粘土帶積み上げ	(有)縫位の精緻な箇磨き (有)横位の箇削り
SB-01 54-9	壺 土師	8.3 4.2 — 口縁 7/8	胎: 黑雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5VR5/3褐色～6/3にぶい褐色 (有)7.5VR6/3にぶい褐色		(有)撫で (有)撫で
SB-01 54-10	壺 土師	15.0 8.0 — 口縁 ■1/5	胎: 黑雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5VR4/8赤褐色 (有)5VR4/8赤褐色	頭部は「くの字」状に外反する 粘土帶積み上げ	(有)口縁部横位の撫で、体部不定方向の箇削り (有)口縁部横位の撫で、体部擦状工具による撫で
SB-01 54-11	壺 土師	20.3 8.4 — 口縁 ■1/5	胎: 0.3の粗、石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (有)7.5VR6/4にぶい褐色 (有)7.5VR3/2黑褐色	頭部は細く外反する	(有)口縁部横位の撫で、脚部斜位の箇削り (有)口縁部横位の撫で、脚部木口状工具による撫で

第8表 住居址出土遺物観察表(1)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	性 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-01 54-12	甕 上師	18.6 8.2 III/4 断	胎: 黒雲母、雲母、石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁部は「くの字」状に外反する 粘土帶積み上げ	(赤)口縁部撫で、胸部擦撫で (青)II縁部・体部擦撫で
SB-01 55-13	甕 土師	- 17.9 17.6 胸部 2/3	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	孔部より緩やかに立ち上りがり胴部中位から内傾する 粘土帶積み上げ	(赤)孔部は横位の撫で、胸部横位の擦削りの後撫で (青)孔部は横位の撫で、胸部横位の擦削りの後撫で
SB-01 55-14	甕 上師	- 5.5 3.0 底部 3/4	胎: 石英、粗砂粒を伴か含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/3にぶい赤褐色 (青)7.5YR6/3にぶい赤褐色	底部より緩やかに外傾し口縁部に至る	(赤)擦磨き (青)擦磨き
SB-01 55-15	甕 上師	- 8.5 5.5 II帯 欠損	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	孔部より緩やかに立ち上がる 粘土帶積み上げ	(赤)副縁位の刷毛撫での後磨 磨き (青)孔部撫で、胸部縁位の擦磨 磨き
SB-03 56-1	蓋 上師	12.7 5.8 - 完存	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR6/6橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	抓み部中央にへこみを有す	(赤)精緻な凹磨き (青)精緻な擦磨き
SB-03 56-2	蓋 土師	- 83.9 無 4-4	胎: 精良 焼: 良好 色: (赤)10YR7/3にぶい黄橙色 (青)10YR7/3にぶい黄橙色		(赤)精緻な凹磨き・抓み部は縦 位の擦削りの後撫で (青)精緻な磨き
SB-03 56-3	坏 土師	10.7 3.5 4.9 完存	胎: 金雲母を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR8/3浅黄橙色 (青)7.5YR8/3浅黄橙色	平底の底部から体部は内窓しながら立ち上がる	(赤)繊維による撫で、底部回転 系切り (青)繊維による撫で 繊維右回転
SB-03 56-4	坏 上師	10.0 2.6 4.9 完存	胎: 金雲母を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内窓しながら開く	(赤)繊維による撫で、底部回転 系切り (青)繊維による撫で 繊維右回転
SB-03 56-5	坏 土師	10.1 2.7 5.0 完存	胎: 金雲母を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内窓しながら開く	(赤)繊維による撫で、底部回転 系切り (青)繊維による撫で 繊維右回転
SB-03 56-6	坏 土師	17.0 3.4 4.7 完存	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR8/3淡橙色 (青)5YR8/3淡橙色	平底の底部から体部は内窓ながら開く、II 縁部は僅かに外反する	(赤)繊維による撫で、底部回転 系切り (青)繊維による撫で 繊維右回転
SB-03 56-7	坏 土師	10.0 3.2 4.8 完存	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR8/4浅黄橙色 (青)7.5YR8/4浅黄橙色	平底の底部から体部は内窓ながら開く	(赤)繊維による撫で、底部回転 系切り (青)繊維による撫で 繊維右回転

第9表 住居址出土遺物観察表(2)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-03 56-8	坏 土師	10.3 3.4 4.4 0-數 6/26	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)5YR6/4にぶい橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 56-9	坏 土師	10.6 2.5 5.0 0-數 6/26	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)7.5YR7/6橙色 (青)7.5YR7/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 56-10	坏 土師	10.0 3.0 4.5 02/3 底無	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら立ち上がり口縁部は僅かに外反する	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 56-11	坏 土師	10.0 3.0 0-數 2/5	胎：金雲母、粗砂粒を含む 焼：良好 色：(青)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 56-12	坏 土師	11.4 4.1 01/5 E1/4	胎：金雲母、粗砂粒を含む 焼：良好 色：(青)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)2.5YR4/6赤褐色	平底の底部から体部は内凹しながら立ち上がり口縁部は僅かに外反する	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で
SB-03 56-13	坏 土師	12.6 4.0 01/5 E1/2	胎：0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼：良好 色：(青)7.5YR7/3にぶい橙色 (青)黑色	平底の底部から体部は内凹しながら開き口縁部は僅かに外反する	(青)機械による横撫での後施調整 (青)機械による撫で
SB-03 57-14	坏 土師	10.4 3.0 5.6 01/5 久 脇	胎：金雲母、粗砂粒を含む 焼：良好 色：(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)10YR7/3 にぶい黄橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 57-15	坏 土師	10.9 3.1 5.3 01/6 久 脇	胎：粗砂粒を含む 焼：良好 色：(青)7.5YR8/4浅黄橙色 (青)7.5YR8/4浅黄橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開き口縁部は僅かに外反する	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 57-16	坏 土師	10.3 2.6 5.2 02/3 E-數	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)5YR5/6橙色 (青)9YR6/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 57-17	坏 土師	10.4 3.1 4.9 02/5 底無	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開き口縁部は外反する	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-03 57-18	坏 土師	10.2 3.0 3.9 01/2 E-數	胎：金雲母を含む 焼：良好 色：(青)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開く	(青)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転

第10表 住居址出土遺物観察表(3)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-03 57-19	环 土師	10.6 4.5 01/2 露筋	胎:粗砂粒を僅かに含む 燒:良好 色:(赤)7.5YR7/4にぶい褐色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内窵しながら開く	(赤)織輪による撫で、底部回転 糸切り (青)織輪による撫で 織輪右回転
SB-03 57-20	环 土師	10.6 3.2 4.3 01/3 露筋	胎:全玄母を含む 燒:良好 色:(赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内窵しながら開く	(赤)織輪による撫で、底部回転 糸切り (青)織輪による撫で 織輪右回転
SB-03 57-21	环 土師	14.2 4.1 — 0-8 01/5	胎:稍良 粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)7.5YR7/4にぶい褐色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	丸底の底部から体部は内窵して開き口縁部で短く外反する	(赤)擦磨き (青)擦磨き
SB-03 57-22	环? 土師	14.4 5.0 — 1/4	胎:粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)5YR6/4にぶい橙色 (青)5YR6/6橙色	丸底から緩く内窵しながら立ち上がり口縁部で屈曲外反する	(赤)擦磨き (青)放射状擦磨き
SB-03 57-23	环 土師	— 4.1 5.4 01/8 1/3	胎:全玄母、粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色		(赤)高台环部織輪による撫で (青)織輪による撫で
SB-03 57-24	环 土師	— 2.5 6.0 0-8 露筋	胎:石英、粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)5YR5/6明赤褐色 (青)黒色	平底の底部から体部は内窵しながら開く	(赤)織輪による撫で、底部回転 糸切り (青)精緻な擦磨き 織輪右回転
SB-03 57-25	环 土師	10.2 4.5 5.8 04/5 露筋	胎:全玄母、粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)7.5YR7/2明褐灰色 (青)黒色	高台付き底部から内窵して立ち上がる	(赤)織輪による撫で (青)織輪による撫での後、底部中央から4条の放射状の擦磨き 黒色処理
SB-03 57-26	环 土師	10.6 4.5 5.7 1/3 露筋	胎:粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)10YR7/2にぶい黄橙色 (青)黒色	高台付き底部から内窵して立ち上がる	(赤)織輪による撫で (青)精緻な磨き
SB-03 57-27	环 須恵	11.0 4.5 — 01/5 03/4	胎:白色粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)10YR3/1 オリーブ黒 (青)10YR3/1 オリーブ黒	丸底の底部から内窵して立ち上がり、口縁部との間に最大径を極に持ち、口縁は内傾する	(赤)環・口縁部織輪による撫で 天井部織輪による擦剤り (青)織輪による撫で
SB-03 57-28	高环 土師	— 8.2 — 0-8 脚部	胎:稍良 粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)10YR7/4にぶい黄橙色 (青)10YR7/4にぶい黄橙色		(赤)擦磨き (青)环部擦磨き、脚部横位の擦剤り
SB-03 57-29	高环 土師	14.3 5.6 — 2/5 露筋	胎:比較的精良 粗砂粒を含む 燒:良好 色:(赤)7.5YR5/8褐色(絶妙) (青)7.5YR5/8褐色(絶妙)	脚部との接合部より直線的に広がり、屈曲して一旦僅かに外反し、口縁部にかけて内窵する	(赤)織輪による木口状工具の撫での後擦磨き (青)織輪による撫での後擦磨き

第11表 住居址出土遺物観察表(4)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	摹形技法ほか
SB-03 58-30	高环 土師	8.5 粗砂 一部	胎: 精良 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)2.5Y7/4 浅黄色 (A)2.5Y7/4 淡黄色		(A)脚部繊細な施磨き (A)横位の擦削り
SB-03 58-31	高环 須恵	11.0 9.0 9.8 粗砂 1/3/4	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)10Y3/1オリーブ黒色 (A)10Y3/1オリーブ黒色	脚部で大きく広がり 棱を有し、口縁は内傾 する	(A)機械による擦で (A)機械による擦で
SB-03 58-32	皿 上師	11.8 2.7 4.0 粗砂 胎-3	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/2明褐色 (A)7.5YR7/2明褐色		(A)機械による擦で (A)機械による擦で
SB-03 58-33	碗 上師	14.2 5.9 D2/3 1/3/4	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/3にぶい橙色 (A)黒色	付高台 体部内窓し口縁部やや 外反する	(A)機械による擦で (A)機械による擦での後放射状 の施磨き
SB-03 58-34	鉢 土師	20.5 10.5 U1/2 1/3	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/3にぶい橙色 (A)黒色	体部は内窓し、口縁部 でやや外反する	(A)口縁部～体部縦縫による横 擦での後擦磨で (A)機械による横擦での後擦磨で
SB-03 58-35	甕 土筋	10.0 7.0 — 粗砂 1/3/4	胎: 精良 焼: 良好 色: (A)10YR3/3 暗褐色 (A)7.5TR6/6橙色	口縁「くの字」状に外 反する	(A)精緻な横位の施磨き (A)擦削りの後、精緻な横位の 施磨き
SB-03 58-36	甕 土師	18.2 5.4 — U1/3 1/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)2.5YR4/6赤褐色 (A)5YR4/4にぶい赤褐色	口縁部は外反する	(A)口縁木口状工具による横擦 で、体部擦磨で (A)木口状工具による横擦で
SB-08 59-1	杯 土師	12.2 3.5 4.4 ほぼ 光存	胎: 金雲母、石英、粗砂粒を 含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR6/4にぶい橙色 (A)7.5YR6/4にぶい橙色	平底より内窓して立ち 上がり、口縁部で僅かに 外反する	(A)体部縦縫による擦で、底部 回転系切り (A)機械による擦で 機械右回転
SB-08 59-2	杯 土師	12.2 3.7 4.2 2/3	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR3/2暗褐色 (A)7.5YR5/3にぶい褐色	平底から体部は内窓し て立ち上がり、口縁部で 僅かに外反する	(A)体部縦縫による擦で、底部 回転系切り (A)機械による擦で 機械右回転
SB-08 59-3	杯 土師	12.2 3.4 4.4 1/2	胎: 金雲母、石英、粗砂粒を 多く含む 焼: 良好 色: (A)5YR5/4にぶい赤褐色 (A)5YR5/4にぶい赤褐色	平底より立ち上がり、 体部は内窓し口縁部で 僅かに外反する	(A)体部縦縫による擦で、底部 回転系切り (A)機械による擦で 機械右回転
SB-08 59-4	杯 土師	13.0 3.4 6.0 1/3	胎: 0.4 の確、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)2.5YR6/6橙色 (A)5YR6/6橙色	平底の底部より体部は 内窓しながら立ち上る	(A)体部縦縫による擦で、底部 回転系切り (A)機械による擦で 機械右回転

第12表 住居址出土遺物観察表(5)

遺構No 図版No	器種類 形態	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-08 59-5	环 土師	12.2 3.8 5.0 完存	胎: 石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR6/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内凹しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(赤)体部輪縫による撫で、底部回転糸切り (青)輪縫による撫で 輪縫右回転
SB-08 59-6	环 上師	12.0 3.0 5.4 03/5 E1/2	胎: 0.4 の繊、全芸母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR5/3にぶい赤褐色 (青)SYR6/4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部より体部は内凹しながら立ち上がる	(赤)体部輪縫による撫で、底部回転糸切り (青)輪縫による撫で
SB-08 60-7	环 土師	11.2 3.1 5.8 1/6 E1/4	胎: 硅、石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/4にぶい赤褐色 (青)2.5YR6/6褐色	平底より立ち上がり内凹して口縁に至る	(赤)体部輪縫による撫で、底部回転糸切り (青)輪縫による撫で
SB-08 60-8	环 上師	11.0 3.0 4.4 E1/3 E1/2	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/3にぶい褐色 (青)7.5YR6/3にぶい褐色	平底の底部より内凹しながら立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(赤)体部輪縫による撫で、底部回転糸切り (青)輪縫による撫で、施磨き?
SB-08 60-9	环 上師	15.8 4.7 — E1/3 E1/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/6橙色 (青)7.5YR8/3淡黄褐色	内凹した体部	(赤)輪縫による撫で (青)精緻な磨き
SB-08 60-10	环 土師 底部 完存	— 1.5 4.8 E1/3	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4にぶい橙色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部	(赤)底部回転糸切り (青)輪縫による撫で 輪縫右回転
SB-08 60-11	环 土師 底部 完存	— 4.6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR6/4にぶい橙色	平底の底部	(赤)底部回転糸切り (青)輪縫による撫で
SB-08 60-12	环 土師 底部 完存	— 1.2 5.0	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR6/4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部	(赤)底部回転糸切り (青)輪縫による撫で 輪縫右回転
SB-08 60-13	环 上師 E2/3 輪縫	— 2.5 7.6 E2/3 輪縫	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR5/3にぶい褐色 (青)7.5YR5/3にぶい褐色	付高台	(赤)輪縫による撫で (青)輪縫による撫で
SB-08 60-14	环 土師 高台のみ	— 1.9 7.6	胎: 粗砂粒を僅かに含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR6/4にぶい橙色	付高台	(赤)輪縫による撫で (青)輪縫による撫で
SB-08 60-15	环 土師	— 2.3 6.6 E1/2	胎: 宝母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)黒色	付高台	(赤)輪縫による撫で、底部回転糸切り (青)輪縫による撫で 黒色処理

第13表 住居址出土遺物観察表(6)

遺構No 図版No	器種類 形	法量 残存	器 質	成 形・形 態	整 形 技 法 は か
SB-08 60-16	坏 土師	- 2.4 7.0 33/4 既燒	胎: 石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/3にぶい褐色 (青)墨色	付高台	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-08 60-17	坏 土師	- 2.4 6.0 41/2 既燒	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/3にぶい褐色 (青)黑色	付高台	(赤)機械による撫で (青)黒色処理
SB-08 60-18	壺 須恵	18.4 6.9 -	胎: 磁を僅か、石英を多く含む 軟質 焼: 良好 色: (赤)10YR4/1 暗灰色 (青)10YR5/1 暗灰色	頸部を持ち口縁は外反する	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-09 61-1	坏 土師	12.0 3.3 7.6 1/3	胎: 石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい赤褐色 (青)5YR6/6暗赤褐色	平底より内凹して立ち上る	(赤)体部機械による撫で、底部回転糸切り+撫で (青)機械による撫で
SB-09 61-2	杯 土師	13.2 3.3 5.6 1/26	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/6橙色 (青)7.5YR6/5橙色	平底より内凹して立ち上り、口縁部で外反する	(赤)体部機械による撫で、底部回転糸切り+撫で (青)機械による撫で
SB-09 61-3	坏 土師	14.8 4.0 -	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色	体部は内凹しながら立ち上る 機械成形	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-09 61-4	坏 土師	12.0 3.7 5.6 ほぼ 完存	胎: 石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR6/3にぶい黄褐色 (青)10YR6/3にぶい黄褐色～5/1 暗灰色	僅かに上げ底の底より、体部は内凹しながら立ち上る	(赤)体部機械による撫で、底部回転糸切り～腔調整 (青)体部機械による撫で+擦磨き？ 黒色処理
SB-09 61-5	坏 土師	14.5 5.2 6.6 1/4 既燒	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/3にぶい褐色 (青)黑色	高台付の底部から体部は内凹しながら開き、口縁部で外反する	(赤)体部機械による撫で、底部回転糸切り～撫で (青)機械による撫で 黒色処理
SB-09 61-6	坏 土師	14.0 5.7 7.4 2/5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい褐色 (青)黑色	高台付の底部から、体部は内凹して立ち上る	(赤)体部機械による撫で (青)黒色処理+擦磨き
SB-09 61-7	壺 土師	- 8.0 0.5 1/8	胎: 金表母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい褐色 (青)5YR6/3にぶい褐色	頸部から口縁部で「くの字」状に屈曲する 粘土帶積み上げ？	(赤)胸部、口縁部被撫で (青)胸部、口縁部被撫で
SB-10 62-1	坏 土師	- 1.3 5.2 約 8 既 燒	胎: 金表母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR4/2暗灰黄色 (青)5YR6/4にぶい褐色	平底	(赤)機械による撫で、底部回転糸切り (青)機械による撫で 機械右回転

第14表 住居址出土遺物観察表(7)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	審 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-10 62- 2	坏 土師	- 2.8 5.2 4-8 既溶	胎: 0.3 の纏、金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR6/4にぶい褐色 (有)7.5YR6/4にぶい褐色	平底の底部より内凹して広がる	(有)機械による擦拂で、底部回転糸切り (有)機械による擦
SB-10 62- 3	坏 土師	14.6 4.3 6.3 既溶 42/5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR6/6褐色 (有)黑色	平底の底部から体部は内凹しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(有)機械による擦で、底手持ちの擦切り (有)底部放射状の、体部横位の精緻な擦磨き
SB-10 62- 4	坏 土師	14.0 4.0 7.0 01/4 44-8	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR6/3にぶい褐色 (有)黑色	平底の底部から体部は内凹しながら広がる	(有)機械による擦で (有)精緻な擦磨き 黒色処理
SB-10 62- 5	坏 土師	- 2.9 5.7 4-8 既溶	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR3/4暗褐色～ 7.5YR1.7/1黑色 (有)黑色	平底より体部は内凹しながら立ち上がる	(有)機械による擦拂で、底部回転糸切り (有)機械による擦拂で 漆色處理 機械石回転
SB-10 62- 6	坏 土師	14.5 5.8 7.5 完存	胎: 0.4 の纏、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR7/4にぶい褐色 (有)黑色	底部から体部は内凹しながら広がり、口縁部は外反する	(有)機械による擦で (有)機械による擦で 黒色処理
SB-10 63- 7	坏 土師	- 2.3 7.2 4-8 既溶	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)10YR5/1灰色 (有)10YR5/1灰色	裡かに上げ底の底盤	(有)機械による擦で、底部回転糸切り (有)機械による擦で 機械石回転
SB-10 63- 8	瓶? 須恵	- 2.0 10.2 底部 1/3X	胎: 0.3 の纏、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)10YR5/2灰黃褐色 (有)10YR5/2灰黃褐色	付高台	(有)機械による擦で、底部回転糸切り (有)機械による擦
SB-10 63- 9	甕 上師	22.5 8.7 - 01/4 4-8	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR5/6明赤褐色 (有)5YR5/6明赤褐色	口縁部は外反する	(有)口縁部横位の擦で、頸部横位の擦拂り (有)機位の擦で
SB-11 64- 1	瓶? 土師	10.7 5.4 - 1/4	胎: 0.4 の纏、粗砂粒を含む に含む 焼: 良好 色: (有)5YR6/6暗赤褐色 (有)5YR6/6暗赤褐色	体部で内凹し口縁に至る	(有)横位、斜位の擦磨き (有)横位、斜位の擦磨き
SB-11 64- 2	甕 上師	21.2 5.0 - 口縁 1/8	胎: 0.4 の纏、金雲母を含む 焼: 良好 色: (有)黑色 (有)黑色	口縁外反	(有)機械による擦で (有)機械による擦での後、口縁部横位の擦磨き
SB-11 64- 3	壺 土師	11.8 7.5 - 01/8 既溶	胎: 菊良 焼: 良好 色: (有)5YR6/4にぶい褐色 (有)5YR6/4にぶい褐色	体部は球状を呈し、口縁部で強く屈曲する	(有)精緻な擦磨き (有)精緻な擦磨き

第15表 住居址山上遺物観察表(8)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形状	整形技法ほか
SB-11 64-4	甕	10.4 4.0 上師 11縫 1/7	胎: 0.3 の繩、雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR2/3 極暗赤褐色 (青)5YR3/3F 朱紫色	口縁で継ぐ「くの字」 状に外反する	(秀)口縁部継位の施磨き、体部 横位の施磨き (青)口縁部横位の施磨き
SB-12 65-1	壺	13.3 3.7 4.8 土師 1/5 縫跡	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR6/6 橙色 (青)5YR6/6 橙色	平底の底部から体部は 内寄しながら開き、口 縁部で短く外反する	(秀)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-12 65-2	壺	11.8 3.1 4.0 上師 1/2	胎: 0.4 の繩、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (秀)7.5YR7/4 にぶい橙色 (青)7.5YR7/4 にぶい橙色	平底の底部から体部は 内寄しながら開き、口 縁部で短く外反する	(秀)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で
SB-12 65-3	壺	14.1 3.2 5.2 土師 11/8 11/2	胎: 0.4 の繩、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR7/4 にぶい橙色 (青)5YR7/4 にぶい橙色	小ぶりの平底から内寄 して大きく広がり、口 縁部で外反する	(秀)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で
SB-12 65-4	壺	1.5 5.0 土師 縫跡	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR6/4 にぶい橙色 (青)5YR6/4 にぶい橙色	平底	(秀)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-12 65-5	壺	16.6 3.3 — 上師 11縫 1/6	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (秀)7.5YR7/4 にぶい橙色 (青)黒色	口縁部で僅かに外反す る	(秀)機械による撫で (青)機械による撫で 黒色処理
SB-12 65-6	壺	3.0 7.8 2/2 土師 8824	胎: 金・白・黑雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR7/4 にぶい橙色 (青)5YR7/4 にぶい橙色	付高台	(秀)高台部横位の撫で (青)高台部横位の撫で
SB-12 66-7	甕	19.7 6.8 — 土師 01/4 縫跡	胎: 0.4 の繩、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (秀)7.5YR7/4 にぶい橙色 (青)7.5YR7/4 にぶい橙色	頸部外反し、口縁部外 面に縫を有し、内寄し て立ち上がる	(秀)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-12 66-8	甕	12.8 5.9 — 土師 01/7 縫跡	胎: 0.4 の繩、雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR6/4 にぶい橙色 (青)5YR3/2 暗赤褐色	頸部「くの字」状に外 反し、口縁部は内寄す る	(秀)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-13 67-1	壺	15.2 3.2 8.2 土師 1/5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR6/4 にぶい橙色 (青)5YR6/4 にぶい橙色	体部で屈曲し、口縁部 は大きく外反する	(秀)施磨き (青)施磨き
SB-13 67-2	甕	14.1 14.6 4.8 土師 01/1 縫跡	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (秀)5YR5/6 明赤褐色 (青)5YR3/2 暗赤褐色	平底の底部から体部は 内寄して立ち上がり、 頸部で緩やかに「くの 字」状に外反する	(秀)口縁部横撫で、胴部～底部距 りの後捏撫で (青)口縁部横撫で、胴部削切り

第16表 住居址出土遺物観察表(9)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-13 67-3	甕 土師	21.3 15.0 01/5 48-3	胎: 金芸母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR5/6明赤褐色 (B)5YR5/6明赤褐色～ 2/2 黒褐色	口縁部窓型「くの字」 状に外反する	(A)口縁部窓型で+縦位の箇削り (B)口縁部窓型の窓で+箇削り、 体部箇削で
SB-13 67-4	甕 土師	4.5 5.2 5.9 E4/5	胎: 金芸母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR5/6明赤褐色 (B)5YR5/6明赤褐色		(A)箇削りの後、箇撫で (B)箇削りの後、箇撫で
SB-13 67-5	甕 土師 口縁 一部	— 9.5 0/5	胎: 金芸母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR3/2明赤褐色 (B)5YR3/2明赤褐色	口縁部「くの字」状に 外反する	(A)口縁部窓型で、体部工具によ る窓で (B)口縁部窓型で、体部箇削で
SB-14 68-1	坏 土師	18.8 2.8 19.5 H1/3	胎: 極く細かい金芸母を含む 焼: 良好 色: (A)5YR6/6橙色 (B)5YR6/6橙色	紙板と口縁の2枚にな る平底より丸みを帯 びた被を経て長く外傾 する	(A)箇撫で～泡磨き (B)泡磨きで？
SB-14 68-2	坏 土師 ほぼ 完存	11.6 4.2 — 7.5 10YR6/2	胎: 0.3 の窓、粗砂粒を多く 含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/4に近い橙色 (B)10YR6/2 灰黄褐色	丸底の底部から体部は 内凹して立ち上がり、 口縁部で僅かに内凹す る	(A)体部底部箇削で (B)体部箇削で泡磨き？
SB-14 68-3	坏 土師 体部 3/4	8.9 4.4 — 7.5 7.5YR2/1黒色	胎: 金芸母、露岩、石英を多 く、粗砂粒を少々含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR5/3に近い橙色 (B)7.5YR2/1黒色	丸底より体部は緩やかに 立ち上がり、内傾外 反する口縁に至る	(A)口縁部横撫で、体部箇削り (B)口縁部窓型～横撫で、体 部泡磨き
SB-14 68-4	高坏 土師 脚部 のみ	— 9.8 — 7.5	胎: 露母を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR6/6橙色 (B)7.5YR6/4に近い橙色	接合部より緩やかに広 がる	(A)上～下への箇削りの後脚部 上位窓の泡磨き、窓部にかけ 横撫で (B)脚位～斜位の箇削り、窓部 は横撫で
SB-14 68-5	坏 須惠 H1/2	12.0 4.2 — 5YR5/1灰黄色 5YR5/1灰黄色	胎: 粗砂粒を僅か、粗砂粒を 多く含む 焼: 良好 色: (A)5YR5/1灰黄色 (B)5YR5/1灰黄色	丸底より立ち上がり、 最大径が窓にあり口縁 は内傾している	(A)体部横撫による箇削り、口 縁横撫による窓で (B)体部横撫による窓で、口縁 横撫による窓で 體部左回転
SB-14 68-6	皿 土師	14.0 1.9 3.8 0-5 7/8	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A)10YR8/2 灰白色 (B)10YR8/3 浅黄褐色	最大径が口縁にある、 小型で平底の皿 不出来	(A)箇撫で (B)箇撫で
SB-14 68-7	甕 土師	18.9 27.3 5.4 2/3 H1/2	胎: 0.3 の窓、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)2.5YR5/8明赤褐色 (B)5YR4/6赤褐色	平底の底部より緩やかに 脚部に立ち上がり、 口縁部は「くの字」状 に外反する	(A)口縁部横撫で、脚部窓位の 箇削り (B)口縁部横撫で、脚部窓位によ る圧の強い横位の窓で
SB-14 68-8	甕 土師	18.0 29.8 6.0 口縁 1/3	胎: 0.3 の窓、金芸母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR4/1暗2-5/28褐色 (B)5YR2/1黒色	底部平底、口縁部は「 くの字」状に外反する 窓上帶横み上げ？	(A)口縁部横撫で、脚部窓位の 箇削り (B)口縁部横撫で、脚部窓位で 底部に木葉文

第17表 住居址出土遺物観察表(10)

遺構No 図版No	器種 種類	寸 幅 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-14 69- 9	甕 土師 脚部欠	18.1 27.8 7.8	胎: 0.3 の 粘、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR4/4にぶい橙色 (B) 5YR7/3にぶい橙色	平底から球形の肩部に立ち上がり、頸部は緩やかに外反する	(A) 縦位の箇削りの後撫で (B) 脚部箇削りの後撫で、口縁部横撫で
SB-14 70-10	甕 土筋 口1/5 欠損	16.3 15.7 6.4 H1/5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR4/4にぶい赤褐色 (B) 2.5YR2/2極端に褐色	平底の底部から内凹して立ち上がり、口縁部で外反する 粘土帶積み上げ	(A) 口縁部横撫で、脚部斜位の箇削り (B) 口縁部横撫で、脚部箇削りの後撫等
SB-14 70-11	甕 土筋 H1/3 E2/3	22.0 12.8 7.6 H1/3 E2/3	胎: 0.3 の 粘を僅か、茎母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR6/4にぶい橙色 (B) 2.5YR6/4にぶい橙色	僅かな上底より内凹して立ち上がり、胴部から緩やかに頸部に移行し、口縁は外反している	(A) 口縁部横撫で、脚部 (箇削り) 撫で (B) 口縁部横撫で、脚部 (箇削り) 撫で
SB-14 70-12	甕 土筋 H1/3 E2/3	11.8 11.7 5.7 H1/3 E2/3	胎: 茎母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR5/4にぶい赤褐色 (B) 5YR3/1黒褐色	平底より緩やかに立ち上がり、口縁部は外反する 粘土帶積み上げ	(A) 口縁部横撫で、脚部に刷毛目が残る、胸部箇削りの後撫で (B) 口縁部横撫で、胸部箇削りの後撫等
SB-14 70-13	甕 土筋 口1/4	14.8 15.0 — 口1/4	胎: 0.3 の 粘を僅か、茎母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR5/4にぶい赤褐色 (B) 10YR5/4 赤褐色	脚部は緩やかに立ち上がり、口縁部は「くの字」状に外反する 粘土帶積み上げ	(A) 口縁部横撫で、脚部横撫で (B) 口縁部横撫の箇削り、脚部 (箇削り) 横撫で、内面に積み上げ痕が明瞭に残る
SB-14 70-14	甕 土筋 H1/3	16.0 12.0 0~8 1/3	胎: 0.3 の 粘、茎母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 5YR5/4にぶい赤褐色 (B) 5YR4/2灰褐色	脚部は緩やかに立ち上がり、頭部との境に僅く僅かな縁を持ち、口縁は外反する 粘土帶積み上げ	(A) 口縁部横撫で、胸部斜位の箇削り (B) 口縁部横撫で、脚部斜位の箇削り
SB-14 70-15	甕 土筋 口1/5	15.6 7.6 — 1/5	胎: 茎母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 7.5YR5/4にぶい褐色 (B) 5YR3/3暗赤褐色	H1辺は「くの字」状に外反する 粘土帶積み上げ	(A) 口縁部横撫で、体部箇削り (B) 横撫で
SB-14 70-16	甕 土筋 H1/3 E2/3	— 8.7 3.8 H1/3 E2/3	胎: 0.4 の 粘を僅か、白色砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR4/4にぶい褐色 (B) 2.5YR4/3暗褐色	平底の底部から体部は内凹して立ち上がる 粘土帶積み上げ	(A) 縦位の箇削りの後撫で (B) 斜位の箇削り
SB-14 70-17	甕 土筋 H1/4 E2/3	— 13.5 5.0 H1/4 E2/3	胎: 0.3 の 粘を僅か、茎母、石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR5/6明赤褐色 (B) 5YR5/3にぶい赤褐色	平底の底部から緩やかに胴部に立ち上がる 粘土帶積み上げ	(A) 脚部箇削りの後撫で (B) 脚部箇削りの後撫等
SB-14 71-18	甕 土筋 H1/6	11.5 12.6 H1~8 1/6	胎: 0.3 の 粘、茎母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 2.5YR4/4にぶい褐色 (B) 5YR5/4にぶい褐色	体部は球形を呈する 粘土帶積み上げ	(A) 縦削りの後撫で (B) 縦削りの後撫等
SB-18 72- 1	甕 土筋 H1/7 E1/6	13.8 4.4 01/7 E1/6	胎: 0.3 の 粘、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 7.5YR7/3にぶい橙色 (B) 5YR5/3にぶい赤褐色	体部は内凹し口縁部で僅かに外反する	(A) 縮縫による撫で (B) 精緻な磨擦き

第18表 住居址出土遺物観察表(1)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-18 72-2	坏 土師	16.7 5.1 0.9 1/6	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)5YR7/3にぶい褐色 (良)黒色	体部は屈曲内弯する ,	(良)輪縫による擦で (良)口縁部横位の磨き 黒色処理
SB-18 72-3	坏 土師	14.6 2.6 0.9 1/5	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)黒色~5YR7/2明褐灰 色 (良)黒色	口縁部で外反する	(良)輪縫による擦で (良)擦磨き? 黒色処理
SB-18 72-4	坏 土師	14.1 5.5 6.6 II類 RI/2	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)5YR6/6橙色 (良)5YR6/6橙色	付高台の底部から、体 部は内凹しながら開き 口縁部で外反する	(良)輪縫による擦で (良)輪縫による擦で
SB-18 72-5	坏 土師	— 2.3 6.7 高台 3/4	胎: 0.3 の繊、雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (良)7.5YR7/4にぶい褐色 (良)7.5YR7/4にぶい褐色		(良)輪縫による擦で (良)輪縫による擦で
SB-18 72-6	坏 土師	9.7 3.8 5.6 0.9 残存	胎: 細砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)黒色~7.5YR7/3にぶ い褐色 (良)黒色	付高台の底部より体部 は緩やかに広がり、立 ち上がる 垂みが大きい	(良)擦磨き (良)擦磨き 黒色処理
SB-18 72-7	坏 土師	— 2.2 5.3 底部 完存	胎: 雪母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)7.5YR7/3にぶい褐色 (良)黒色	付高台	(良)輪縫による擦で (良)輪縫による擦で+放射状磨 き 黒色処理
SB-18 72-8	坏 土師	— 2.4 6.8 高台 完存	胎: 0.3 ~ 0.6 の繊、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (良)5YR7/3にぶい褐色 (良)黒色	付高台	(良)輪縫による擦で、底部回転 系切り (良)擦磨き 黑色処理
SB-18 72-9	皿 輪縫	13.3 2.1 7.0 D輪縫 1/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)10YW7/1 灰白色 (良)10YW7/1 灰白色	底部より入きく開き、 体部で段を有して外反 する	(良)輪縫による擦で (良)輪縫による擦で
SB-18 72-10	耳皿 輪縫	— 3.7 4.8 D輪縫 1/3	胎: ? 焼: 良好 色: (良)10YW7/1 灰白色(灰 釉) (良)10YW7/1 灰白色 (灰釉)	付高台	(良)輪縫による擦で (良)輪縫による擦で
SB-18 72-11	甕 土師	— 7.4 — 口縁 一部	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (良)5YR3/3暗赤褐色 (良)5YR3/3暗赤褐色	口縁が直角に外反する	(良)斜位の擦削り (良)擦で
SB-18 73-12	羽釜 土師	— 9.0 羽部 —部	胎: 0.5 の繊、雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (良)5YR5/4にぶい赤褐色 (良)5YR5/4にぶい赤褐色	付鉗	(良)口縁部擦で、胴部縦位の擦 削り (良)指による押圧の後擦で

第19表 住居址出土遺物観察表(12)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法はか
SB-18 73-13	羽釜 土師	一 7.5 幅-8 厚-5	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR6/3にぶい橙色 (±)5YR6/3にぶい橙色	付鉢	(±)横挽で (±)横挽で
SB-19 74-1	环 上師	10.6 3.1 5.2 H1/7 厚5.5	胎: 0.9 の疊、金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR7/4にぶい橙色 (±)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内窓しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)体部機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-2	环 上師	10.2 3.0 4.5 H1/5 厚5.5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)7.5YR7/3にぶい橙色 (±)7.5YR7/3にぶい橙色	平底から体部は内窓しながら開く	(±)機械による挽で、底部回転糸切り (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-3	环 土師	10.0 3.1 4.9 H2/3 厚5.5	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR7/4にぶい橙色 (±)5YR7/4にぶい橙色	平底から体部は内窓しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(±)機械による挽で、底部回転糸切り (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-4	环 土師	10.7 4.1 4.0 H1/4 厚-5	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR6/4にぶい橙色 (±)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から、体部は内窓しながら立ち上がる	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)体部機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-5	环 上師	10.6 3.5 4.8 H1/6 厚2/3	胎: 金雲母を僅かに含む 焼: 良好 色: (±)5YR6/6暗赤～6/3にぶい褐色 (±)5YR6/6暗赤～5/3にぶい褐色	平底の底部から、体部は内窓しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-6	环 土師	10.3 3.0 4.8 H1/5 厚5	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR6/4にぶい橙色 (±)5YR6/4にぶい橙色	平底より内窓しながら立ち上がる	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切りの後、一部刷毛調整 (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-7	环 土師	9.8 3.5 4.3 H1/9 厚-5	胎: 0.3 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)7.5YR7/4にぶい橙色 (±)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部より内窓する	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-8	环 土師	10.4 3.5 4.0 H1/2 厚1/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR6/4にぶい橙色 (±)5YR6/4にぶい橙色	平底から体部は内窓しながら開き、口縁部でやや肥厚する	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-9	环 上師	9.8 2.1 6.2 H1/2 厚1/3	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR3/2暗赤褐色 (±)5YR3/2暗赤褐色	平底の底部より広がり口縁に至る	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)体部機械による挽で 機械右回転
SB-19 74-10	环 土師	10.8 2.6 4.0 H1/7 厚5	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (±)5YR7/4にぶい橙色 (±)5YR7/3にぶい橙色	平底より体部は外傾して立ち上がる	(±)体部機械による挽で、底部回転糸切り (±)体部機械による挽で 機械右回転

第20表 住居址出土遺物観察表(13)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-19 74-11	环 土師	15.9 3.7 口縁 1/6	胎: 0.3 の 縫を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR4/3にぶい赤褐色 (青)黒色	口縁部で外反する	(赤)織輪による施で (青)織輪による施で 黒色処理
SB-19 74-12	环 土師	15.9 3.7 口縁 1/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR4/4にぶい橙色 (青)黒色	体部は内凹し口縁部で僅かに外反する	(赤)口縁部横位の磨き (青)口縁部横位の磨き 黒色処理
SB-19 74-13	环 土師	14.0 5.3 7.3 BP-8 高台窓	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	付高台 体部で内凹し口縁部で僅かに外反する	(赤)織輪による施で (青)織輪による施で
SB-19 74-14	环 土師	13.0 5.6 6.5 61/7 52/3	胎: 粗砂粒を僅かに含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/2灰褐色～5/2 灰褐色 (青)5YR5/3にぶい赤褐色	付高台 体部は内凹しながら開き、口縁部でやや外反する	(赤)織輪による施で (青)織輪による施で
SB-19 74-15	环 灰胎	12.2 2.1 6.2 61/3 52/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5Y7/1 灰白色 (青)7.5Y7/1 灰白色～5Y 7/2 灰白色	付高台 体部より口縁部は大きく広がる	(赤)体部織輪による施で、底部 回転糸切り (青)織輪による施で 織輪右回転
SB-19 74-16	环 土師	- 1.7 6.8 45/5 -5X	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)黑色 (青)黑色	付高台	(赤)底部施で、高台～体部精緻な施磨き (青)精緻な施磨き
SB-19 74-17	碗 灰胎	16.9 5.8 7.4 01/3 51/2	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR7/1 灰白色 (青)10YR7/1 灰白色	付高台 底部から体部は内凹しながら開き、口縁部で外反する	(赤)織輪による施で、口縁部灰 釉がかかる、底部回転糸切り (青)織輪による施で、口縁部灰 釉がかかる 織輪右回転
SB-19 75-18	甕 土師	22.5 10.5 U部 1/7	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色～黒色	口縁部「くの字」状に 外反する	(赤)口縁部横位の施で、胴部縫 位の施削りの後施磨で (青)口縁部横位の施で、胴部横 位の施磨で
SB-19 75-19	羽釜 土師	20.9 6.5 - 口縁 1/9	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR4/4にぶい赤褐色 (青)5YR6/4にぶい橙色	付鉤 口唇部に面取り	(赤)施で (青)施で
SB-19 75-20	羽釜 土師	24.4 8.8 - 口縁 1/8	胎: 0.3 の 縫、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR4/3にぶい赤褐色	付鉤	(赤)口縁～鈎部横位の施で、胴 部横位の施削り (青)横位の施磨で
SB-20 76-1	环 土師	12.7 4.3 - 01/8 52/3	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)黒色	体部は内凹し口縁部は 僅かに外反する	(赤)織輪による施で (青)施で 黒色処理

第21表 住居址出土遺物観察表(14)

遺構No 図版No	基盤類	法 基盤存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-20 76-2	环 須恵	1.5 6.7 直立	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR2/2黒褐色 (青)7.5YR2/2黒褐色~ 2/1 黑色		(赤)底部機械捺切り、高台・体 部機械による撫で 火拂 (青)機械による撫で 火拂
SB-20 76-3	利釜 土師	23.3 — 直立 横置	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR5/6明赤褐色 (青)5YR5/6明赤褐色	三ヶ月型の蹲	(赤)撫で (青)撫で
SB-21 77-1	环 土師	12.3 4.1 4.8 底面 81/4	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR7/4にぶい橙色~ 5YR5/6橙色 (青)黑色	平底より体部は内側し ながら広がり外面に螺旋 状の接を有す 口縁 は僅かに外反する	(赤)体部機械による撫で、底部 回転系切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-21 77-2	环 土師	10.7 3.1 4.8 底面 82/5	胎:0.3~0.5の繩、金雲母 粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR5/6橙色 (青)5YR5/6橙色	平底より内側しながら 口縁に至る	(赤)体部機械による撫で、底部 回転系切り (青)機械による撫で 機械右回転
SB-21 77-3	环 土師	13.7 3.2 — 直立 1/8	胎:0.4の繩、金雲母、雲母 粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	口縁で僅かに外反する	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で 黒色処理
SB-21 77-4	环 上師	— 1.7 6.0 底部 完存	胎:雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR4/3褐色 (青)黑色	平底の底部より広がる	(赤)体部機械による撫で、底部 回転系切り (青)精緻な磨き 機械右回転
SB-21 77-5	环 上師	— 1.2 5.3 底面 完存	胎:0.3の繩、雲母、粗砂粒 を含む 焼:良好 色:(赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	平底から体部は外反し て立ち上がる	(赤)体部機械による撫で、底部 回転系切り (青)機械による撫での後放射状 の施磨き 黒色処理 機械右回転
SB-21 78-6	环 土師	— 1.3 4.5 底部 完存	胎:0.3の繩、雲母、粗砂粒 を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	平底から体部は外反し て立ち上がる	(赤)体部機械による撫で、底部 回転系切り (青)放射状の5条の施磨き 黑 色処理 機械右回転
SB-21 78-7	环 灰釉	11.7 3.3 — 口縁 1/8	胎:細砂粒、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR7/1黒褐色~5Y 7/1 黑褐色~7色 (青)5YR7/1 黒褐色	口縁で外反する	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で
SB-22 79-1	环 上師	14.8 4.1 — H1/8 E-5	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/6橙色	底部より屈曲して外反 する体部へ立ち上がる	(赤)撫で? (青)丁寧な磨き(撫で)?
SB-22 79-2	环 土師	11.1 2.6 — D1/8 E-5	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR4/4灰褐色 (青)5YR7/4にぶい橙色	丸底から体部で屈曲し て外傾する口縁に立ち 上がる	(赤)口縁積墨で、底部磨削り (青)(赤)による磨磨き

第22表 住居址出土遺物観察表(15)

遺物No 図版No	器種 所附	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-22 79-3	环 土師	16.0 3.2 13.6 1/6	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)黒色	口縁部は外反して立ち上る	(青)推で? (青)横位の鏡磨き
SB-23 80-1	环 土師	13.7 4.0 5.0 10.6 1/6	胎:0.3の繊、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	平底より内弯しながら立ち上る	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)機械による推で 機械右回転
SB-23 80-2	环 土師	10.6 3.1 4.0 完存 1/4x	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底から体部は内弯して立ち上る	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)機械による推で 機械右回転
SB-23 80-3	环 土師	10.4 3.1 4.6 13.6 1/4x	胎:0.4の繊、粗砂粒を僅かに含む 焼:良好 色:(青)5YR6/8色~7/北青釉 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底面から内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(青)体部機械による推で、底部 回転糸切り (青)体部機械による推で 機械右回転
SB-23 80-4	环 土師	11.3 3.4 4.3 11/4 脚跡	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底面から内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)機械による推で 機械右回転
SB-23 80-5	环 土師	10.6 2.6 4.3 11/9 脚跡	胎:0.3の繊、金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR6/4にぶい橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	僅かな上げ底から内弯しながら立ち上る	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)機械による推で
SB-23 80-6	环 土師	10.7 2.9 5.0 1~8 1/8	胎:0.3の繊、金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/2にぶい橙色 (青)5YR7/3にぶい橙色	平底より内弯して立ち上る	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)機械による推で
SB-23 80-7	环 土師	11.6 4.6 6.3 脚跡 11/5	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR6/4にぶい橙色 (青)黒色	高台部より体部は内弯しながら立ち上り、口縁部は僅かに外反する	(青)体部機械による推で、底部 回転糸切り (青)機械による推で 黒色処理 表面が荒れている 機械右回転
SB-23 80-8	环 土師	10.5 3.7 4.7 13/4 青合掌	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)黒色 (青)黒色	付高台の底部から体部は内弯して立ち上る	(青)体部精緻な横位の磨き、底 部回転糸切り 黑色処理 (青)4枚花びら形の暗文、横位 の磨き 黑色処理
SB-23 80-9	环 土師	12.0 2.5 4.5 脚跡 欠損	胎:0.3~0.5の繊、雲母、 粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/4にぶい橙色 (青)黒色	付高台 小さめの底部より体部は外反する	(青)機械による推で、底部回転 糸切り (青)口縁部磨き、機械による推 で 黑色処理
SB-23 80-10	环 土師	2.9 5.0 脚跡 11/3	胎:粗砂粒を僅かに含む 焼:良好 色:(青)5YR7/3にぶい橙色 (青)黒色	付高台	(青)機械による推で (青)わらび手状の鏡磨き 黑色 処理

第23表 住居址出土遺物観察表(16)

遺物No 図版No	器種 種類	法環 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-23 81-11	环 須恵	13.2 3.4 7.3 口部 1/5x	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 7.5VR5/2灰オリーブ (B) 7.5YR5/2灰オリーブ	平底より体部は直線的に外傾する	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津 (2.5GY3/1暗オリーブ灰色)
		13.7 3.8 7.0 口部 1/5x	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 7.5VR5/3にぶい褐色 (B) 7.5YR5/3にぶい褐色	平底より内凹しながら立ち上がる	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津 (10YR5/1褐色)
SB-23 81-13	环 須恵	13.8 3.9 7.4 口部 2/2	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: やや不良 色: (A) 7.5VR5/3にぶい褐色 (B) 7.5YR5/3にぶい褐色	平底より体部は外傾する	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 火津 (6/B 橙色) 不完全な還元燒成
		12.6 3.7 6.2 口部 2/2	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 10YR7/1 灰白色 (B) 10YR7/1 灰白色	平底の底部より内凹しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転
SB-23 81-14	环 須恵	13.7 3.9 7.0 完存	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 7.5VR7/1灰色 (B) 7.5YR7/1灰色	平底より内凹して立ち上がる、体部は外傾する	(A) 体部機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津
		12.2 3.2 5.0 口部 2/2	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を僅かに含む 焼: 良好 色: (A) 10YR5/1 褐灰色 (B) 10YR5/1 暗灰色	平底より体部は外傾して立ち上がる	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転
SB-23 81-17	环 須恵	12.5 4.3 6.4 口部 2/1	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 5Y5/2 灰オリーブ色 (B) 5Y5/2 灰オリーブ色	平底の底部より内凹しながら立ち上がる	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津
		13.5 4.0 7.3 口部 2/2	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 7.5Y5/1 灰色 (B) 7.5Y5/1 灰色	平底の底部より内凹しながら開く	(A) 機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津
SB-23 81-19	环 須恵	14.2 3.7 8.9 口部 2/1	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 5Y3/1 オリーブ黒色 (B) 5Y4/1 灰色	体部は屈曲して立ち上がり、口縁部で外反する	(A) 体部機械による撫で、底部回転系切り (B) 機械による撫で 機械右回転 火津
		— 1.5 9.4 口部 1/2	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 10YR5/1 海灰色 (B) 10YR5/2 灰黄褐色	付高台	(A) 機械による撫で、底部回転系切り 火津 (B) 機械による撫で
SB-23 81-21	羽釜 土師	25.0 8.1 — 口部 1/4	胎: 金墨母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A) 5YR3/1 黒褐色 (B) 5YR5/4 にぶい赤褐色	脚部は胴部成形後に付ける 口縁部は面取りを施す	(A) 撫で、口唇・脚端部削り (B) 口縁部刷毛状工具による継位の撫で、胴部擦撫で

第24表 住居址出土遺物観察表(17)

遺構No 図版No	埋蔵 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB 24 82- 1	坏 土師	14.2 7.4 10.5 11.4 12.5	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/4に赤褐色 (青)2.5YR5/4に赤褐色	底部より内寄して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(A)機械による撫で、底部旋削 (B)機械による撫で
SB-24 82- 2	坏 土師	16.1 4.5 7.4 11.1 12.5	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/6明赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	平底の底辺より内寄して立ち上がる	(A)機械による撫で (B)精緻な磨磨き
SB-24 82- 3	坏 土師	12.4 4.2 6.1 11.4 12.5 12.8	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、粗砂粒を僅かに含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/6橙色 (青)黑色	底部より内寄しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)機械による撫で 黒色処理
SB-24 83- 4	坏 土師	10.7 3.0 4.3 11.1 12.5	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、金墨母粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4にぶい橙色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底辺より内寄して立ち上がる	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)機械による撫で
SB-24 83- 5	坏 土師	10.2 2.7 4.7 11.1 12.5 12.8	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	平底の底辺より内寄して立ち上がる 楕円に歩む	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)機械による撫で
SB-24 83- 6	坏 土師	11.9 4.4 5.8 11.1 12.5	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)黑色	平底の底辺より内寄して立ち上がり、口縁部を丸める	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)機械による撫で 黒色処理
SB-24 83- 7	坏 土師	13.5 4.1 6.4 11.1 12.5	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/4にぶい橙色 (青)黑色	平底の底辺より内寄して立ち上がり、口縁部で外反する	(A)機械による撫で、底部旋切り (B)機械による撫で 黒色処理
SB-24 83- 8	坏 土師	- 1.7 7.7 高台 1/5	胎: 0.3 ~ 0.8 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい橙色 (青)黑色	付高台	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)磨磨き 機械右回転
SB-24 83- 9	坏 須恵	- 2.0 7.0 底部 1/4	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR4/2灰黄褐色 (青)10YR5/2灰黄褐色	平底	(A)機械による撫で、底部回転糸切り (B)機械による撫で 機械右回転 火毒
SB-24 83-10	甌 須恵	- 8.0 9.0 8.5 底部 数	胎: 0.3 ~ 0.7 の疊を多く含む 焼: 良好 色: (赤)10YR4/2灰黄褐色 ~ 2/22 (青)4/2灰黄褐色	平底より体部内寄して立ち上がる 歩み入	(A)機械による撫で、胴部下位旋削り 自然輪 (B)機械による撫で
SB-26 84- 1	高坏 土師	16.8 3.5 11.8 1/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	口縁部僅かに外反する	(A)撫で (B)撫で

第25表 住居址出土遺物観察表(18)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法
SB-26 84-2	甕 上師	3.5 3.3 底部 先存	胎:全雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(希)SYR4/4にぶい赤褐色 (青)SYR4/6赤褐色	丸底	(希)窓削り (青)窓削り
SB-26 84-3	手捏 上師		色:(希)7.5YR7/6橙色 (青)7.5YR7/6橙色	手捏ね成形	
SB-27 85-1	坏 上師	15.4 5.0 5.3 H1/8 H1/3	胎:全雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(希)SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色	平底の底部から体部は 矮を有し、内凹しながら立ち上がる	(希)輪轂による撫で (青)黒色処理 輪轂右回転
SB-27 85-2	坏 上師	2.2 6.8 底部 2/3	胎:粗砂粒を多く含む 焼:良好 色:(希)7.5YR7/6橙色 (青)SYR7/4にぶい橙色		(希)輪轂による撫で (青)輪轂による撫で
SB-27 85-3	坏 土師	11.9 4.5 4.8 H2/5 H2/5	胎:0.4の確、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(希)7.5YR6/4にぶい橙色 (青)黒色	平底の底部から体部は 内凹しながら開き、口 縁部で僅かに外反する 歪みがある	(希)輪轂による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轂による撫で 黒色処理 輪轂右回転
SB-27 85-4	坏 上師	13.2 4.0 6.6 H3/4 H4/5	胎:粗砂粒を多く含む 焼:良好 色:(希)SYR6/6橙色 (青)黒色	平底の底部から体部は 内凹しながら開く	(希)輪轂による撫で、底部回転 糸切りの後一部窓削り (青)窓削き 輪轂右回転
SB-27 85-5	坏 土師	15.6 5.0 7.2 H2/3 H2/5	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(希)SYR5/4にぶい赤褐色 ~5/6 明赤褐色 (青)黒色 ~5/4 にぶい赤褐色	付高台の底部から体部 は矮やかに外反し、口 縁部は僅かに外反する	(希)輪轂による撫で (青)放射状の窓削き 黒色処理
SB-27 86-6	羽釜 ?	11.4 — H2/5 H3/5	胎:全雲母、石英、粗砂粒を 多く含む 焼:良好 色:(希)7.5YR6/4にぶい橙色 (青)7.5YR7/3にぶい橙色		(希)口縁部~脚部横位の撫で、脚 部斜位の窓削り (青)撫で
SB-27 86-7	羽釜 上師	— 8.5 — H2/5 H3/5	胎:全雲母、石英、粗砂粒を 多く含む 焼:良好 色:(希)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR6/4にぶい橙色		(希)口縁部~脚部横撫で
SB-28 87-1	坏 土師	11.0 3.1 5.3 H2/5 H3/5 1/3x	胎:全雲母、微砂粒を含む 焼:良好 色:(希)7.5YR6/6橙色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は 内凹して外反する	(希)口縁部輪轂による撫でその後 横位の撫で、底部回転糸切り (青)口縁部輪轂による撫での後 横位の撫で、体部輪轂による 搔き目
SB-28 87-2	坏 土師	10.9 2.9 5.0 H2/2 H2/3	胎:全雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(希)7.5YR6/4にぶい橙色 (青)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は 内凹して、口縁部は外 反する	(希)輪轂による撫で (青)輪轂による撫で 輪轂右回転

第26表 住居址出土遺物観察表(19)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-28 87-3	坏 土師	14.6 6.0 1/4 部缺	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 5YR5/4 に近い赤褐色 (B) 黒色	体部は後を有し内窓して、口縁部へ至る	(A) 横位の擦で (B) 体部の上部から口縁部へ、横位の磨磨き
SB-28 87-4	坏 土師	13.4 4.7 7.3 2/3X 高・数	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 10YR7/4 に近い黄褐色 (B) 10YR7/6 明黄褐色	付高台の底部から体部は内窓し、口辺部で外反する	(A) 体部擦磨による擦で (B) 擦で
SB-28 87-5	坏 土師	14.4 5.1 7.7 3/8X 高・数	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 7.5YR5/4 に近い褐色 (B) 7.5YR5/4 に近い褐色	体部は内窓し口縁部でやや外反する 底部には高台が貼り付けられている	(A) 機械による擦で (B) 擦で
SB-28 87-6	坏 土師	- 2.9 6.6 高・数 欠損	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 7.5YR7/6 棕褐色 (B) 黑色～2.5YR5/6 明赤褐色	高台付	(A) 機械擦位の擦で (B) 磨磨き？
SB-28 87-7	坏 土師	11.0 4.7 6.3 II 款 部缺	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 10YR7/3 に近い黄褐色 (B) 黑色	高台付き底部から内窓して体部へ立ち上がり 口縁部は外反する	(A) 機械による擦で (B) 口縁部・体部・底端中心に向かって磨磨き 黒色処理
SB-28 87-8	坏 土師	- 4.6 7.5 81/2 部缺	胎: 粒、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 7.5YR7/4 に近い褐色 (B) 黑色	高台付きの底部から、外燃しながら丸みをおびる体部	(A) 横位の擦で (B) 放射状の磨磨き 黒色処理
SB-28 87-9	坏 土師	- 4.2 8.0 E3/4 高・数	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 5YR7/4 に近い褐色 (B) 黑色	付高台の底部から、体部は内窓して立ち上がる	(A) 機械による擦で (B) 放射状の磨磨き 黒色処理
SB-28 87-10	坏 土師	9.2 4.8 5.2 1/2X 部缺	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 7.5YR8/2 灰白色 (B) 黑色	体部は内窓して立ち上がり、口縁部に至る 底部には高台が貼りつけられている	(A) 橫擦で (B) 横位の磨磨き 黒色処理
SB-28 87-11	坏 土師	- 1.7 5.5 部缺 のみ	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (A) 10YR8/3 浅黄褐色 (B) 黑色	高台底部	(A) 放射状の磨磨き
SB-28 87-12	坏 土師	15.2 6.6 8.6 1/4X 部缺	胎: 精良 燒: 良好 色: (A) 7.5Y7/1 灰白色 (B) 7.5Y7/1 灰白色	付高台の底部から内窓して立ち上がり、口縁部に至る 高台を貼り付けてある	(A) 体部下位擦削り、体部上位 機械による擦で (B) 機械による擦で 胎は溶け掛け
SB-28 88-13	坏 陶輪	17.5 7.5 8.1 DR-5 A1/2X	胎: 精良 燒: 良好 色: (A) 2.5Y8/1 灰白色 (B) 7.5G8/1 明緑灰色	付高台の底部から丸みを帯びて体部へ、やや外反しながら口縁部へ至る	(A) 機械による擦で (B) 機械による擦で

第27表 住居址出土遺物観察表(20)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SB-28 88-14	羽釜 土師	- 9.9	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (希)2.SYR5/6明赤褐色 (青)2.SYR5/3にぶい赤褐色	鉄接合 粘土帯積み上げ	(希)口縁部横撫で、体部擦剤り 鉄を貼り付け手による横撫で (青)横位の撫で
SB-28 88-15	羽釜 土師	23.2 7.2 -	胎: 金雲母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (希)SYR7/4にぶい橙色 (青)SYR3/3にぶい赤褐色	鉄接合 粘土帯積み上げ	(希)口縁部横位の撫で (青)横位の撫で
SB-30 89-1	釜 土師	25.5 5.7 11縫 1/8	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (希)SYR6/4にぶい橙色 (青)SYR3/3明赤褐色～ 5/3にぶい赤褐色	縫を有する	(希)縫縫による撫で (青)縫縫による撫で 軟質である
SB-30 89-2	环 土師	16.0 4.2 11縫 1/6	胎: 金雲母を多く含む 焼: 良好 色: (希)SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色	体部で内窓しながら口 縁に在る	(希)縫縫による撫で (青)口縁部横位の磨き
SB-30 89-3	环 土師	13.0 4.0 -	胎: 0.3～0.5の縫、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (希)SYR6/4にぶい橙色 (青)黒色	体部で内窓し、口縁で 外反する	(希)体部縫縫による撫で (青)原磨き 黒色処理 墨書き「太」
SB-30 89-4	环 土師	12.2 4.5 4.8 12/3 8.5	胎: 0.4の縫、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (希)SYR6/6橙色 (青)黒色	平底から体部は内窓し ながら開く	(希)体部縫縫による撫で、底部 回転系切り (青)縫縫による撫での後、放射 状に6条の磨き 黒色処理
SB-30 89-5	环 土師	12.7 3.1 5.6 01/2 8.5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (希)SYR7/4にぶい橙色～ SYR3/3暗赤褐色 (青)黒色	平底の底端から体部は 内窓して立ち上がり、口 縁部で外反する	(希)体部縫縫による撫で、底部 回転系切り (青)縫縫による撫での後、放射 状に6条の磨き 黒色処理
SB-30 89-6	环 土師	13.1 4.3 6.0 02/5 8.1/2	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (希)SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色	平底より体部は内窓し ながら立ち上がり、11 縫で僅かに外反する	(希)体部縫縫による撫で、底部 回転系切り (青)縫縫による撫で
SB-30 89-7	环 土師	14.5 4.5 -	胎: 金雲母を多く含む 焼: 良好 色: (希)SYR6/4にぶい橙色 (青)黒色	体部は内窓し、口縁部 で僅かに外反する	(希)縫縫による撫で (青)口縁部横位の磨き 黑色処理
SB-30 89-8	环 土師	14.8 5.0 -	胎: 金雲母を多く含む 焼: 良好 色: (希)SYR6/6橙色 (青)黒色	体部は内窓し、11縫部 で僅かに外反する	(希)縫縫による撫で (青)口縁部横位の磨き 黑色処理
SB-30 89-9	环 土師	12.5 4.2 5.5 01/2 8.5	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (希)7.SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色		(希)縫縫による撫で (青)精細な磨き 黑色処理

第28表 住居址山上遺物観察表(21)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	成形技法ほか
SB-30 89-10	坏 土師	- 2.5 6.9 高台 2/3	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 5YR7/4 にぶい橙色 (A) 黒色		(A) 底部回転糸切り (A) 花弁状暗文
SB-30 89-11	坏 土師	- 3.0 7.2 高台 完存	胎: 金雲母を多く含む 焼: 良好 色: (A) 5YR6/6 橙色 (A) 黑色	付高台	(A) 機械による捺撋で (A) 機械による撋で
SB-30 89-12	坏 土師	12.6 4.1 6.3 01/8 洗削	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 7.5Y7/1 灰白色 (A) 7.5Y7/1 灰白色	付高台	(A) 体部機械による撋で、底部 回転糸切り (A) 機械による撋で
SB-30 89-13	甕 土師	17.0 5.3 口留基 1/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A) 5YR6/4 にぶい橙色 (A) 5YR6/3 にぶい橙色	口縁部、稜を有し「く の字」状に外反する	(A) 機械による撋で (A) 機械による撋で

第29表 住居址出土遺物観察表(22)

付記

S B - 0 1 は古墳時代後期前半の住居址と考えられ、須恵器は見られない。第54-2は覆土からの出土で、平安時代の遺物が混在したものと思われる。S B - 0 3 も古墳時代後期の住居址と思われるが、やはり遺物は混在している。1. 27. 28. 29. 30. 31. 35 が当住居址に伴う遺物であろうが、あるいは当住居址の覆土内に平安時代の住居址が存在していた可能性も考えられが、検出が不可能であったため、一括図示した点、御了承頂きたい。

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK-02 90-1	蓋 土師 灰面 のみ	- 1.9	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR8/8黄褐色 (青)7.5YR8/3浅黄褐色		(赤)削り (青)陰磨き
SK-02 90-2	环 土師 灰面 のみ	- 7.2	胎:粗砂粒を僅かに含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR5/4に赤褐色 (青)7.5YR6/6褐色	平底の底部より内寄りして立ち上がる	(赤)輪轍による撫で、底部鉛切り (青)輪轍による撫で
SK-05 91-1	环 土師 灰面 1/6	16.0 3.7 1/6	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR6/8橙色 (青)5YR6/4に赤褐色	体部は内寄して立ち上がり、口縁部で極く僅かに外反する	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で、縦位の鉛磨き
SK-05 91-2	环 土師 灰面 1/6	14.5 3.0 1/6	胎:金認母を多く含む 焼:良好 色:(赤)5YR7/4に赤褐色 (青)5YR6/6褐色	体部外面に緩い段を行し、内凹して立ち上がり口縁部で僅かに外反する	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で
SK-05 91-3	环 土師 底部 完全	- 1.3 5.0	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR6/4に赤褐色 (青)黑色	平底の底部	(赤)輪轍による撫で、底部回転 系切り (青)陰磨き 黒色処理 輪轍右回転
SK-05 91-4	环 土師 高台 完全	- 1.8 5.5	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR8/4浅黄褐色 (青)黑色	付高台の底部から内面に僅かな段を行して立ち上がる	(赤)輪轍による撫で (青)4条の放射状の陰磨き 黒色処理
SK-05 91-5	壺 土師 一部	- 12.4	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5BG2/1青黒色 (青)10BG6/1青灰色		(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で 外面に鉛磨
SK-05 91-6	壺 土師 脚部 1/2	- 9.0	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR7/6橙色 (青)5YR6/6褐色		(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で
SK-07 92-1	环 土師 灰面 1/3	11.1 4.2 6.0 1/3	胎:糠、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR6/4に赤褐色 (青)黑色	付高台の底部から体部は内凹しながら開く	(赤)輪轍による撫で (青)底部陰磨き、口縁部度による横位の磨き 黑色処理
SK-07 92-2	环 土師 底部 完全	- 1.6 4.4	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	平底の底部	(赤)輪轍による撫で、底部回転 系切り (青)輪轍による撫で
SK-07 92-3	环 土師 底部 1/2	1.8 7.4 1/2	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)黑色	付高台	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で、底部陰磨 き 黑色処理

第30表 土壌出土遺物観察表(1)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK-07 93-4	壺	20.2 38.4 17.4 11/2 #1/5	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)10Y6/2オリーブ灰色 (B)10Y6/2オリーブ灰色		(A)機械による撫で (B)機械による撫で
SK-09 94-1	壺	2.1 — 一部のみ	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)10BG4/1暗青灰色 (B)10BG4/1暗青灰色		(A)機械による撫で (B)機械による撫で
SK-09 94-2	环	12.2 3.3 5.4 上師 #1/3 底部	胎:0.3の疊、全表面、粗砂粒を多く含む 焼:良好 色:(A)5YR6/8橙色 (B)7.5YR6/4にぼい橙色	平底の底部より体部は内窵する	(A)機械による撫で、底部回転 糸切り (B)機械による撫で
SK-09 94-3	环	13.6 4.0 — 土師 #1/3 底部	胎:全表面、粗砂粒を多く含む 焼:良好 色:(A)10YR6/4にぼい黄橙色 (B)1/4黒色	体部は外傾する	(A)機械による撫で (B)黒色処理
SK-09 94-4	环	13.7 4.0 6.6 E1/2 #1/3	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)10BG6/1青灰色 (B)10BG6/1青灰色	平底の底部から体部は緩慢に外傾して口縁部に至る	(A)機械による撫で、底部回転 糸切り (B)機械による撫で
SK-09 94-5	环	— 7.2 須恵 底部 1/2	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)5BG6/1青灰色 (B)5BG6/1青灰色	平底の底部	(A)機械による撫で、底部回転 糸切り (B)機械による撫で
SK-09 95-6	壺	21.3 — 上師 #1/8	胎:全表面、粗砂粒を僅かに含む 焼:良好 色:(A)5YR7/6橙色 (B)5YR7/6橙色	口縁部外反する	(A)口縁部横位の撫で (B)口縁部横位の撫で
SK-09 95-7	壺	18.5 3.6 上師 #1/6	胎:全表面、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)5YR7/4にぼい橙色 (B)5YR5/6明赤褐色	口縁部外反する	(A)口縁部横位の撫で (B)口縁部横位の撫で
SK-09 95-8	甕	— 須恵 底部	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)5BG2/1青黒色 (B)10BG5/1青灰色		(A)焼き目の撫で?、平行文の叩き (B)同心円文の叩き-青海波文の叩き
SK-11 96-1	环	14.1 4.7 土師 #1/6	胎:粗砂粒を僅かに含む 焼:良好 色:(A)7.5YR7/4にぼい橙色 (B)5YR5/8明赤褐色	口縁部は僅かに外反する。体部は外面向に低い後を有し、僅かに内窵する	(A)機械による撫で (B)機械による撫で
SK-11 96-2	环	1.9 5.0 土師 底部 1/3	胎:石英、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(A)7.5YR7/4にぼい橙色 (B)5YR5/6橙色	高台がとれた底部	(A)機械による撫で (B)捺壓

第31表 土 墓 出 土 遺 物 觀 察 表 (2)

構成 版面No	器種 種類	法號 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK 11 96- 3	要 須恵	- - - 胸窓 366	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5GY4/1暗緑灰色 (青)5BG7/1明青灰色		(赤)叩き (格子墨叩打文) ? (青)叩き (同心円文) ?
SK-12 97- 1	环	11.8 3.3 3.7 上部 81/3 断面	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	上げ底の底部から体部は内窓して口縁に至る	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で
SK 12 97- 2	环	10.5 2.6 4.5 土師 1/2	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/8橙色 (青)5YR6/3にぶい橙色	側かに上げ底の底部から、体部は内窓しながら開く	(赤)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転
SK 12 97- 3	环	10.7 4.5 6.6 上部 41/4 断面	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6橙色 (青)黒色	付高台の底部から体部は内窓して立ち上がり腰を有して口縁部は外反する	(赤)高台部機位の撫で、体部機 械による撫で (青)七弁蓮葉文の捺磨き 黒色 処理
SK-12 98- 4	环	15.5 4.5 上部 1/8	胎: 石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/6橙色 (青)黒色	体部は内窓して口縁部で矧く強く外反する	(赤)機械による撫で (青)擦磨き 黒色処理
SK 12 98- 5	环	- 1.7 9.0 上部 1/3	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/3にぶい赤褐色 (青)黒色	半底の底部	(赤)横位の撫で、底部削り (青)底部中心に達磨き、体部笠 の機械き 黒色処理
SK-12 98- 6	环	- 1.5 4.5 土師 483 断面	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/6橙色 (青)黒色	平底の底部	(赤)横位の撫で、底部回転糸切 り (青)中心から放射状に5条擦磨 き 黒色処理
SK-14 99- 1	环	12.0 3.7 - 上部 1/8 断面 8-8	胎: 褐色斑、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)黒色		(赤)機械による撫で (青)機械による撫で 黒色処理
SK-14 99- 2	环	11.8 3.3 - 土師 1/8 断面 8-8	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/6橙色 (青)黒色		(赤)機械による撫で、一部擦 磨で (青)黒色処理
SK 14 99- 3	环	- 1.8 6.4 土師 488 -部	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR8/4淡橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部	(赤)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で
SK-14 99- 4	鉢	3.1 10.4 -部	胎: 石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR4/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい橙色		(赤)機械による撫で、底部回転 糸切り (青)機械による撫で 機械右回転

第32表 土壤出土遗物觀察表(3)

遺物No 図版No	器種 種類	法環 残存	器 質	成形・形態	変形技法ほか
SK-14 99- 5	壺 鍵輪	— 5.3 5.4 5.5 5.6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)N6/ 灰色 (青)N7/ 灰白色	付高台の底部、体部はやや丸みを帯びて立ち上がる。気泡が入る	(赤)機械による擦で (青)機械による擦で
SK-14 99- 6	甕 須恵	— — — 胸割 一部	胎: 砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10BG4/1 增青灰色 (青)10BG5/1 青灰色		(赤)格子風印目文 (青)擦で調整
SK-15 100- 1	壺 土師	13.4 4.0 4.4 1/4	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/3に赤褐色 (青)黑色	平底の底部から体部は内凹しながら開き、口縁部で外反する	(赤)機械による擦で、底部回転 系切り (青)擦磨き? 黒色処理 機械右回転
SK-15 100- 2	壺 土師	— 1.9 5.6 底部 完存	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR5/8明赤褐色 (青)7.5YR5/6暗赤褐色	平底の底部から、体部は外反しながら開く	(赤)機械による擦で、底部回転 系切り (青)機械による擦での後擦磨き? 機械右回転
SK-15 100- 3	壺 七筋	13.0 4.5 — 1/2 鉢-8	胎: 0.3 の繩、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)黑色	底部内窓して、口縁部や外反する	(赤)機械による擦で (青)黒色処理
SK-15 101- 4	壺 土師	12.8 3.3 — 口体 1/4	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)黑色	体部は内窓して口縁部に至る	(赤)機械による擦で (青)斜位の擦磨き 黒色処理
SK-15 101- 5	壺 土師	13.2 3.8 — 口体 1/4	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)黑色	体部外間に強い縫を有し、口縁部は外反する	(赤)機械による擦で (青)擦磨き?
SK-15 101- 6	壺 土師	12.5 4.3 — 1/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR3/3暗褐色 (青)黑色	体部外間に強い縫を有し、口縁部は外反する	(赤)機械による擦で (青)黒色処理
SK-17 102- 1	壺 土師	— 2.2 4.5 鉢-8 51/2	胎: 繩、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)黑色	平底の底部から、体部は僅かに内窓して開く	(赤)機械による擦で、底部回転 系切り (青)擦で 黒色処理 機械右回転
SK-17 102- 2	壺 土師	— 1.6 4.8 底部 完存	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR8/4浅黄褐色 (青)黑色～5YR6/8橙色	平底の底部から体部は内窓して立ち上がる	(赤)機械による擦で、底部回転 系切り (青)底部機械による擦磨で 機械右回転
SK-18 103- 1	壺 土師	13.6 2.8 — 口体 一部	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4に赤褐色 (青)7.5YR7/3に赤褐色	口縁部外反	(赤)機械による擦で (青)丁寧な擦磨き

第33表 土壌出土遺物観察表(4)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK-18 103- 2	环 須恵	- 1.7 7.0 底部 1/5	胎: 砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)586/1 青灰色 (青)586/1 青灰色	平底の底部から体部は開く	(赤)輪轆による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轆による撫で 火薬打り
SK-18 103- 3	耳皿 土師	- 3.0 5.0	胎: 粗砂粒を僅かに含む 焼: 良好 色: (赤)黑色 (青)黑色		(赤)黒色処理+丁寧な箇磨き (青)黒色処理+丁寧な箇磨き
SK-18 103- 4	壺 須恵	13.0 7.2 -	胎: 0.3 の縫、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)10BG4/1 暗青灰色 (青)10BG5/1 青灰色	頸部は屈曲外傾し、口縁部は外反する 粘土帶積み上げ	(赤)輪轆による撫で調整 (青)撫で調整
SK-18 103- 5	壺 輪轆	6.8 -	胎: 砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5GY8/1明緑灰色 (青)N8/ 灰白色	頸部は口縁部に向かって大きく外反する	(赤)全体に回転撫で調整、自然軸がかかる (輪轆による引上げ) (青)全体に回転撫で調整 (輪轆による引上げ)
SK-21 104- 1	环 土師	- 1.5 4.6 底部 完存	胎: 黒色縫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR8/3浅黄褐色 (青)7.5YR8/4浅黄褐色	平底の底部より体部は開く	(赤)輪轆による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轆による撫で 輪轆右回転
SK-22 105- 1	环 土師	- 2.8 9.1 底部 1/2	胎: 雲母、微砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR5/2灰褐色 (青)5YR2/4極暗赤褐色	底部から立ち上がる	(赤)輪轆による撫で (青)輪轆による撫で
SK-24 106- 1	壺 網文	- 10.0 -	胎: 云母による 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4にぶい橙色 (青)7.5YR7/6橙色		(赤)錐状工具による撫で、区画線内に網文 (青)錐状工具による撫で
SK-24 106- 2	壺 須恵	- 10.8 -	胎: 砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10BG6/1 青灰色 (青)5BG6/1青灰色	頸部直線気味に立ち上がり、口縁部に向かってラッパ状に開く	(赤)輪轆による撫で、頭部の被の下は箇削り (青)頭部横位の箇削り、体部輪轆による撫で
SK-28 107- 1	环 土師	12.8 4.1 底部 1/8	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR7/3 にぶい黄褐色 (青)黒色	体部は内凹して、口縁部は外反する	(赤)輪轆による撫で (青)黒色処理
SK-28 107- 2	壺 須恵	- 10.3 -	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5BG5/1青灰色 (青)10BG6/1 青灰色	口縁部は外反しながら口縁部に立ち上がる	(赤)輪轆による撫で (青)撫で
SK-30 108- 1	壺 土師	18.6 4.2 - 口縁部 1/9	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/8橙色 (青)5YR6/6橙色	口縁部は「コの字」状に外反する	(赤)横位の撫で (青)横位の撫で

第34表 上 壤 山 土 遺 物 観 察 表 (5)

遺構No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK-32 109-1	环 土師	12.4 3.6 4.5 完存	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR7/6橙色 (B)5YR8/3淡橙色	半底の底部から体部は内窓しながら開き、口縁部はやや外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 109-2	环 土師	11.6 3.1 4.4 0-数	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR7/8橙色 (B)5YR7/8橙色	半底の底部から体部は内窓しながら立ち上がり、口縁部はやや外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 109-3	环 土師	11.5 4.0 4.4 0-数	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR8/4浅黄褐色 (B)7.5YR8/3浅黄褐色	半底の底部から体部は内窓しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 109-4	环 土師	11.6 2.8 3.5 4.0 0-数	胎: 全雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR8/3淡橙色～5YR7/3 橙色 (B)5YR8/4淡橙色	半底の底部から体部は内窓して立ち上がる	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 109-5	环 土師	12.5 3.5 4.0 13/4 0-数	胎: 0.5 の礫、全雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/4にぶい橙色 (B)7.5YR7/6橙色	半底の底部から体部は内窓し、口縁部で外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 109-6	环 土師	11.7 3.3 4.6 1/3 0-数	胎: 0.4 の礫、全雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR7/8橙色 (B)5YR7/6橙色	半底の底部から体部は内窓し、口縁部で外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 110-7	环 土師	12.1 3.3 4.4 43/4 0-数	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR7/4にぶい橙色 (B)5YR7/4にぶい橙色	半底の底部から体部は内窓して立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轉による撫で 輪轉右回転
SK-32 110-8	环 土師	13.0 3.8 4.0 3/5	胎: 全雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR7/6橙色 (B)7.5YR7/4にぶい橙色	半底の底部から体部は内窓して、口縁部でやや外反する	(A)輪轉による撫で (B)輪轉による撫で
SK-32 110-9	环 土師	12.5 3.3 4.2 1/2	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A)5YR6/4にぶい橙色 (B)5YR7/4にぶい橙色	半底の底部から体部は内窓して立ち上がり、口縁部は外反する	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)撫で 輪轉右回転
SB-32 110-10	环 土師	12.2 3.9 3.9 01/2 0-数	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5YR7/3にぶい橙色 (B)5YR7/3にぶい橙色	半底の底部から体部はやや内窓して立ち上がり、口縁部へ至る	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)撫で 輪轉右回転
SK-32 110-11	环 土師	12.8 3.5 4.2 3/5 0-数	胎: 全雲母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR6/6橙色 (B)7.5YR7/6橙色	半底の底部から内窓して立ち上がり、口縁部へ至る	(A)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (B)撫で 輪轉右回転

第35表 上塙出土遺物観察表(6)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SK-32 110-12	环 土師	12.6 3.5 4.8 5/6	胎: 全玄母、玄母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR3/6にぶい褐色 (青)7.5YR3/6にぶい褐色	上げ底ぎみの底落より内凹しながら立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(青)輪轆による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轆による撫で 輪轆右回転
SK-32 110-13	环 土師	14.7 5.8 8.0 1/2	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)10YR7/6 明黄褐色 (青)10YR7/4 にぶい黄褐色	付高台の底座から外反しながら体部へ、体部は緩く内凹し、口縁部で粗面外反する	(青)輪轆による撫で、口縁部は指頭で撫でている (青)撫で
SK-32 110-14	环 土師	14.4 5.4 7.5 1/2 5/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR7/6明黄褐色 (青)5YR7/4にぶい橙色	付高台の底座から体部は緩く外反して立ち上がり、口縁部は外反する。底部に胎土の収縮による亀裂がある	(青)輪轆による撫で (青)撫で
SK-32 110-15	环 土師	12.7 5.5 5.8 1/4 5/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR7/4にぶい橙色 (青)黒色	付高台の底部から体部は内凹して立ち上がり、口縁部で緩く外反する	(青)輪轆による撫で、底部回転 糸切り (青)丁寧な磨き 黒色処理 輪轆右回転
SK-32 110-16	环 土師	12.2 5.4 5.5 1/2 5/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)黒色 (青)黒色	底部から体部は内凹して口縁部に至る	(青)捺撫で (青)擦撫で

第36表 土 壤 出 土 遺 物 観 察 表 (7)

遺構No 図版No	器種類別	法量 残存	器 質	成形・形状	整形技法はか
P - 0 3 III- 1	高杯 土師	9.8 5.3 8.0 脚部 1/3	胎: 0.4 の謫、麦母、粗砂粒 を含む 燒: 良好 色: (赤)7.5YR6/4にぶい橙色 (青)7.5YR6/4にぶい橙色		(赤)輪轉による撫で、回転糸切り (青)輪轉による撫で
P - 0 5 III- 2	壺? 須恵	- 2.2 7.1 脚 5 脚1/4	胎: 0.4 の謫、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (赤)7.5YR5/2灰褐色 (青)7.5YR5/2灰褐色	付高台	(赤)輪轉による撫で (青)輪轉による撫で
P - 0 7 III- 3	壺 土師	2.1 5.0 脚-5 脚-5	胎: 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (赤)黒色 (青)黒色	付高台	(赤)体部輪轉による撫で、底部 回転糸切り (青)体部輪轉による撫で 輪轉右回転
P - 0 7 III- 4	壺 土師	4.4 10.2 脚-5 脚1/6	胎: 0.4 の謫、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (赤)7.5Y4/1 暗灰色～黒 (青)10YR5/1 暗灰色	平底	(赤)輪轉による撫で (青)輪轉による撫で 自然胎がかかる
P - 0 8 III- 5	壺 土師	13.8 3.4 6.6 脚1/7 脚-5	胎: 0.3 ~ 0.5 の謫、粗砂粒 を含む 燒: 良好 色: (赤)5YR6/6橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内寄し ながら口縁に至る	(赤)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轉による撫で 輪轉右回転
P - 0 8 III- 6	壺 土師	1.9 6.4 高台 1/2	胎: 0.3 ~ 0.6 の謫、金雲母 粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい橙色 (青)黒色	付高台	(赤)輪轉による撫で、底部回転 糸切り (青)輪轉による撫で の跡さ 黒色処理
P - 0 8 III- 7	壺 須恵	14.0 3.8 - 口縁 1/6	胎: 0.4 の謫、粗砂粒を含む 燒: 良好 色: (赤)7.5YR6/1 暗灰色 (青)7.5YR7/1明褐灰色	体部で内寄し口縁に至る	

第37表 ピット出土遺物観察表

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-01 II-2-1	环 土師	10.6 4.0 II縁 -裏	胎: 0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 5YR7/4 にぶい橙色 (青) 5YR7/4 にぶい橙色	丸底から内凹して立ち上がり、II縁部は内傾する	(青) 口縁部削りで、体部旋削りの後施で、底部旋削り (青) 機械で
SD-01 II-2-2	环 土師	10.8 3.5 II縁 -裏	胎: 0.4 の礫を多く、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 5YR7/4 にぶい橙色 (青) 5YR7/4 にぶい橙色	丸底 II縁直立する	(青) 口縁部削りで、体部旋削りの後施で、底部旋削り (青) 機械で
SD-01 II-2-3	环 土師	11.1 2.4 6.7 II縁 -裏	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 5YR8/4 淩褐色 (青) 5YR8/4 淩褐色～7/4 にぶい橙色	平底の底部より広がり II縁に至る	(青) 体部輪轉による削り、底部回転系切り (青) 輪轉による削り
SD-01 II-2-4	环 土師	- 2.0 6.0 G3/4 G3/20	胎: 0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 5YR7/4 にぶい橙色 (青) 黒色	付高台	(青) 輪轉による削り (青) 黑色処理
SD-01 II-2-5	皿 土師	11.8 2.3 5.0 H2/3 胎	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 黑色 (青) 黑色	付高台	(青) 輪轉による削り 黑色処理 (青) 輮轉による削り 黑色処理
SD-01 II-2-6	皿 土師	17.5 28.0 16.8 H1/3 H1/4	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 7.5YR4/7 にぶい橙色 (青) 7.5YR4/7 にぶい橙色	体部は球形を呈し II縁は外反する	(青) 縱位の削りの後施で (青) 口縁部機械で、体部旋削りの後施で
SD-02 II-3-1	皿 土師	12.0 2.2 4.8 H1/5 H1/2	胎: 0.3 ～ 0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 7.5YR5/4 にぶい褐色 (青) 5YR7/4 にぶい褐色	天井部は平面、裾部は屈曲して広がる	(青) 輮轉による削りで、天井部回転系切り (青) 輮轉による削り -2と同一個体か
SD-02 II-3-2	皿 土師	13.2 1.8 II縁 -裏	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 5YR7/6 橙色 (青) 5YR7/6 橙色	基部屈曲外反する	(青) 「太」の刻畫 1と同一個体か
SD-02 II-3-3	环 土師	11.3 3.5 4.2 完存	胎: 金雲母、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (青) 5YR6/8 橙色 (青) 2.5YR4/8 赤褐色	平底の底部から体部は内凹しながら立ち上がり II縁部は緩やかに外反する	(青) 輮轉による削りで、底部回転系切り (青) 輮轉による削りで 輮轉右回転
SD-02 II-3-4	环 土師	12.3 3.4 5.0 完存	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (青) 5YR7/4 橙色 (青) 5YR7/4 にぶい橙色	平底の底部から体部は内凹しながら立ち上がり II縁に至る	(青) 輮轉による削りで、底部回転系切り (青) 輮轉による削りで 輮轉右回転
SD-02 II-3-5	环 土師	11.1 3.8 4.0 1/5 欠損	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 7.5YR7/4 にぶい橙色 (青) 7.5YR7/6 橙色	平底の底部から体部は丸みを帯び、II縁は外反する	(青) 輮轉による削りで、底部回転系切り (青) 輮轉による削りで 輮轉右回転

第38表 溝址出土遺物観察表(1)

遺物No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 113-6	坏 土師	12.5 4.1 4.9 1/4	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)10YR8/4 淡黄褐色 (青)黑色	平底の底部から体部は内窵して、口縁部はやや外反する	(赤)輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理 輪轉右回転
SD-02 114-7	坏 土師	12.0 4.0 4.3 01/2 E588	胎: 0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい褐色 (青)5YR7/4にぶい褐色	平底より外反して立ち上がり体部は内窵し、口縁部で僅かに外反する	(赤)体部輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)輪轉による撫で 輪轉右回転
SD-02 114-8	坏 土師	11.4 3.5 4.0 01/6 E2/3	胎: 0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/3にぶい褐色 (青)5YR7/3にぶい褐色	半底より内窵しながら立ち上がる	(赤)体部輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)体部輪轉による撫で 輪轉右回転
SD-02 114-9	坏 土師	12.2 3.9 4.8 01/4 E.数	胎: 0.6 の礫を僅か、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい褐色 (青)5YR7/4にぶい褐色	半底より内窵しながら立ち上がる	(赤)体部輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)体部輪轉による撫で
SD-02 114-10	坏 土師	12.4 3.3 5.0 01/4 E2/3	胎: 0.3 ~ 0.6 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	底部より外傾して立ち上がる	(赤)体部輪轉による撫で、底部下手な回転糸切り (青)輪轉による撫で 輪轉右回転
SD-02 114-11	坏 土師	10.9 4.0 4.6 1/2	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/6褐色 (青)7.5YR6/8褐色	半底の底部から体部は内窵して立ち上がる	(赤)輪轉による撫で (青)輪轉による撫で
SD-02 114-12	坏 土師	12.6 3.8 — 口縁 1/2	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4にぶい褐色 (青)7.5YR7/4にぶい褐色	口縁で僅かに外反	(赤)輪轉による撫で (青)輪轉による撫で
SD-02 114-13	坏 土師	— 1.9 5.7 胎: 2.6 11.6	胎: 石英、褐色粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR7/2にぶい黃褐色 (青)10YR6/3にぶい黃褐色	高台のとれた底部から内窵して立ち上がる	(赤)輪轉による撫で (青)輪轉による撫で 高台部がきれいにとれている
SD-02 114-14	坏 土師	11.1 4.5 4.0 01/6 E1/3	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/6褐色 (青)黑色	小さな平底より体部は内窵して口縁に至る	(赤)輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)輪轉による撫で
SD-02 114-15	坏 土師	13.3 4.5 5.0 01/4 E1/3	胎: 0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい褐色～ 口縁部黑色 (青)黑色	平底より縫を有して内窵しながら立ち上がり 口縁で外反する	(赤)体部輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)体部輪轉による撫で 黒色処理 輪轉右回転
SD-02 114-16	坏 土師	13.7 5.2 6.0 01/7 E5/5	胎: 0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい褐色 (青)黑色	半底より内窵して立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)輪轉による撫で、底部回転糸切り (青)体部輪轉による撫で 黒色処理 輪轉右回転

第39表 溝址出土遺物観察表(2)

遺構No 図版No	器種 種類	法類 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 114-17	环 土師	14.2 4.8 5.4 01/4 翻筋	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊、玉母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/6 橙色 (青)黒色	平底より内窵しながら立ち上がる	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)体部鍛錆による撫で鍛錆右回転
SD-02 114-18	环 土師	12.1 3.9 5.0 01-8 翻筋	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、玉母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR5/3にぶい赤褐色 (青)黒色	平底の底部より内窵しながら立ち上がり、口縁に至る	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)追磨き 黒色処理 鍛錆右回転
SD-02 114-19	环 土師	13.0 4.5 4.9 01/8 翻筋	胎: 0.3 の疊、金玉母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色	平底より内窵しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)体部鍛錆による撫で鍛錆右回転
SD-02 114-20	环 土師	13.2 4.5 4.5 01/4 翻筋	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/3にぶい橙色 (青)黒色	平底より内窵して立ち上がり口縁で僅かに外反する	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)鍛錆による撫での後口縁部位の追磨き、5条の放射状磨き 黒色処理 鍛錆右回転
SD-02 114-21	环 土師	12.5 4.2 6.2 01/8 翻筋	胎: 0.5 の疊を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/4にぶい橙色 (青)黒色	平底より内窵しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)鍛錆による撫で 黑色処理
SD-02 114-22	环 土師	12.6 4.2 5.0 01/5 翻筋	胎: 0.3 の疊を多く、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/6 橙色 (青)黒色	平底の底部より内窵して立ち上がる	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)鍛錆による撫で 鍛錆右回転
SD-02 114-23	环 土師	13.0 4.2 5.2 01/3 翻筋	胎: 0.3 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/4~6/4 にぶい橙色 (青)黒色	平底より内窵しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)鍛錆による撫で 鍛錆右回転
SD-02 114-24	环 土師	13.5 4.2 5.6 01/3 翻筋	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/6 橙色 (青)黒色	平底の底部から内窵して体部に立ち上がり、口縁部に至る	(赤)品位の撫で、底部回転系切り (青)丁寧な追磨き 黑色処理
SD-02 114-25	环 土師	14.5 5.1 5.5 01/2 翻筋	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR6/4にぶい橙色 (青)黒色	平底の底部より内窵しながら縦を有して立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)鍛錆による撫で (青)鍛錆による撫での後8条の放射状及び意味不明の包磨き 黑色処理
SD-02 114-26	环 土師	3.5 4.8 7/6 翻筋	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/4にぶい橙色~7/6 橙色 (青)黒色	平底より内窵して立ち上がる	(赤)体部鍛錆による撫で、底部回転系切り (青)鍛錆による撫での後5条の放射状磨き 鍛錆右回転
SD-02 114-27	环 土師	15.1 5.8 6.7 01/4 翻筋	胎: 金玉母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)SYR7/6 橙色 (青)SYR7/6 橙色	底部から体部は内窵して口縁部で外反する	(赤)鍛錆による撫で (青)鍛錆による撫で

第40表 溝址出土遺物観察表(3)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 115-28	坏 土師	1.5 5.0 高台 完存	胎：粗砂粒を含み堅微 燒：良好 色：(赤)2.5YR5/6明赤褐色 (青)2.5YR5/6明赤褐色	付高台	(赤)輪轍による擦で、底部回転 糸切り (青)輪轍による擦で
SD-02 115-29	坏 土師	15.1 4.5 6.3 D1/7 高台 完存	胎：0.3～0.5の繊を多く、 粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5YR6/6褐色 (青)5YR7/4にぶい橙色	底部より僅かに内凹し て口縁部で外反する	(赤)輪轍による擦で (青)輪轍による擦で
SD-02 115-30	坏 土師	11.4 4.6 5.5 D1/6 E-数	胎：粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5YR8/3淡褐色 (青)黑色	付高台の底部から体部 は内凹しながら立ち上 がり、口縁部は外反する	(赤)輪轍による擦で (青)D1縫添筋線の擦磨き、体部 ～底部ト文字の擦きとわらび 手状の擦磨き 黒色処理
SD-02 115-31	坏 土師	— 2.4 7.0 高台 2/3	胎：0.4の繊を多く、金雲母 粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)蓝色	付高台	(赤)高台～体部輪轍による擦で 底部回転糸切り (青)輪轍による擦で 輪轍右回転
SD-02 115-32	坏 土師	14.5 6.0 7.0 1/2 E6-4	胎：石英、粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)10YR8/4 淡黄褐色 (青)黑色	付高台の底部から体部 は内凹して、僅かに外 反する口縁に至る	(赤)輪轍による擦で (青)丁寧な擦磨き 黒色処理
SD-02 115-33	坏 土師	15.3 4.5 — D1/5 D1/3	胎：0.3～0.5の繊、莖母、 粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	付高台 体部で中位に縫を有し 内凹しながら口縁に至る	(赤)体部輪轍による擦で、底部 回転糸切り (青)輪轍による擦での後擦磨き ？ 黒色処理
SD-02 115-34	坏 土師	— 2.0 6.9 高台 完存	胎：金雲母、粗砂粒を多く含 む 燒：良好 色：(赤)10YR6/4 明黄褐色 (青)黑色	—	(赤)底部回転糸切り (青)黒色処理
SD-02 115-35	坏 須恵	— 2.2 5.0 D6-5 E6-6	胎：石英、粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5BG6/1青灰色 (青)5BG7/1明青灰色	平底の底部から体部は 内凹して立ち上がる	(赤)輪轍による擦で、底部回転 糸切り (青)輪轍による擦で 輪轍右回転 鉄質須恵器
SD-02 115-36	坏 須恵	— 1.4 7.7 底部 1/2	胎：0.3～0.5の繊、粗砂粒 を含む 燒：良好 色：(赤)7.5Y4/1 灰色～5/1 灰色 (青)7.5Y5/1 灰色	—	(赤)輪轍による擦で (青)輪轍による擦で
SD-02 115-37	坏 灰輪	14.0 4.6 7.4 D6-5 E6-6	胎：粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)2.5GY7/1明オリーブ 灰色 (青)2.5GY7/1明オリ ーブ灰色	付高台 底部より内凹しながら 立ち上がり、口縁部で 僅かに外反する	(赤)輪轍による擦で (青)輪轍による擦で
SD-02 115-38	高坏 土師	16.1 4.4 — D6-5 E6-6 2/3	胎：0.3の繊、粗砂粒を含む 燒：良好 色：(赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	体部下位で屈曲して、 僅かに内寄して立ち上 がる	(赤)擦で (青)擦磨き？

第41表 溝址出土遺物観察表(4)

遺構No 図版No	器種類 形態	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 115-39	皿 土師	8.8 2.0 — 82.3 82.3 — 81.2	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR8/3淡橙色 (青)5YR8/3淡橙色		(青)横位の撫で (青)横位の撫で
SD-02 115-40	碗 土師	20.7 10.7 9.5 82.3 82.3 — 81.2	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR6/6橙色 (青)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内凹しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(青)機械による撫で (青)機械による撫での後磨き?
SD-02 115-41	鉢 土師	19.7 10.8 7.3 82.8 82.8 — 81.7	胎: 粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (青)5YR7/6橙色 (青)黑色	平底の底部から体部は緩く内凹しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(青)撫で? (青)黒色処理
SD-02 115-42	鉢 土師	5.0 10.5 82.8 82.8 — 82.8	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊を多く、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR7/6にぶい橙色 (青)黑色	平底の底部より内凹して立ち上がる	(青)窓削り (青)窓削り
SD-02 115-43	鉢 土師	5.0 9.6 82.8 82.8 — 82.4	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊、斐母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR7/4にぶい橙色 (青)黑色	平底の底部より内凹しながら立ち上がる	(青)体部縫隙による撫で、底部回転系切り (青)機械による撫で 黒色処理 機械右回転
SD-02 115-44	鉢 圓文	3.2 — 81.5 — 81.5	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR7/3にぶい橙色 (青)7.5YR7/3にぶい橙色		
SD-02 115-45	壺 土師	15.0 8.0 — 81.9 81.9 — 82.8	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR7/6橙色 (青)5YR7/6橙色	体部上部で四角形の帶を有し、口縁で大きく「くの字」状に外反する	(青)機械による撫で (青)機械による撫で
SD-02 115-46	壺 須恵 頸部	— 8.5 — 81.9 81.9 — 81.4	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)10YR5/1褐色 (青)10YR5/1褐色-6/1褐色	頸部で直に立ち上がる	(青)機械による撫での後体部を平行文の叩き (青)機械による撫で
SD-02 115-47	壺 土師	17.7 4.0 — 81.5 81.5 — 81.5	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)5YR6/6橙色 (青)5YR6/6橙色		(青)横位の撫で (青)横位の撫で
SD-02 115-48	壺 須恵	— 9.0 17.1 82.8 82.8 — 81.5	胎: 繊を僅かに含む 焼: 良好 色: (青)5B5/1 青灰色 (青)5B6/1 青灰色	粘土帯積み上げ	(青)機械による擦拂で (青)機械による撫で
SD-02 115-49	壺 須恵	— 4.4 — 82.8 82.8 — 82.8	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)10YR4/1 褐灰色 (青)10YR4/1 褐灰色	肩部に板状の円孔を空った耳がつく	(青)機械による撫で (青)機械による撫で

第42表 溝址出土遺物観察表(5)

遺構No 図版No	器種 形態	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-03 117- 1	杯 土師	— 1.1 6.2 底部 1/2	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) SYR7/4 にぶい橙色 (青) 黒色	平底	(青) 体部撫で、底部回転糸切り (青) 織繩による撫での後磨き
SD-03 117- 2	杯 土師	— 1.9 5.0 高台 — —	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) SYR6/4 にぶい橙色 (青) 黒色	付高台	(青) 機位の撫で (青) 木口状工具による撫で
SD-03 117- 3	鉢 陶文	— — 体部 — —	胎: 0.4 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) SYR6/4 にぶい橙色 (青) SYR6/4 にぶい橙色		
SD-04 118- 1	蓋 土師	16.4 3.5 1/3	胎: 0.3 の繊、細かい石英、 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) T.5YR4/3褐色 (青) T.5YR4/2灰褐色	天井は丸みを持ち、届 曲してやや外傾する口 縁に至る	(青) 線削りの後天井下位は精 緻な擦磨き、脇部横位の擦磨 き (青) 天井部撫で、脇部横位の擦 磨き
SD-04 118- 2	高杯 土師	— 6.2 — — 上部 のみ	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 10YR7/4 にぶい黄褐色 (青) 7.5YR6/6橙色		(青) 線方向の擦削りの後精緻な 縦位の擦磨き
SD-04 118- 3	高杯 土師	— 3.1 — — 上部 のみ	胎: 白色砂粒、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) SYR6/6橙色 (青) 黒色	脇部に 3 箇所三角形の 窓がある	(青) 擦磨き (青) 擦磨き 黒色処理
SD-04 118- 4	手捏 土師	7.0 5.8 3.8 1/4	胎: 0.3 の繊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) SYR5/4 にぶい赤褐色 (青) SYM5/4 にぶい赤褐色	手捏ね成形	(青) 体部指による押捺 (青) 体部指による撫で
SD-04 118- 5	皿 土師	7.9 1.8 2.6 完存	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 7.5YR7/6橙色 (青) 7.5YR7/6橙色	最大径が口縁にある小 型で平底の皿 織繩成形、器形が歪み 手捏ねなみの仕上がり	(青) 撫で (青) 織撫で
SD-04 118- 6	壺 土師	8.4 8.4 8.4 1/2	胎: 白色砂粒、石英を僅かに 含む 焼: 良好 色: (青) 10YR7/4 にぶい黄褐色 (青) 10YR8/4 淡黄褐色	丸底より偏平な球形の 体部に立ち上がる 粘土帶積み上げ	(青) 擦削りの後横位の擦磨き (青) 撫で 頸部との接合部から剥離する
SD-04 119- 7	甕 土師	— 3.7 5.6 H1/5 E5/6	胎: 0.3 ~ 0.5 の繊、粗砂粒 を多く含む 焼: 良好 色: (青) SYR5/4 にぶい赤褐色 (青) SYR5/4 にぶい赤褐色	平底の底部より体部は 内凹しながら立ち上がる 脇部の張り出しに 歪みがある	(青) 底部・脇部能削り (青) 脇部笠削り、擦撫で
SD-04 119- 8	甕 土師	— 4.2 4.5 H1/2	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青) 2.5YR5/5明赤褐色 (青) 5YR5/4明赤褐色	半底の底部より体部は 僅かに内凹しながら立ち 上がる	(青) 底部～脇部能削り (青) 脇部笠削り

第43表 满址出土遗物觀察表(6)

遺物No 図版No	器種 種類	法記 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SD-04 119- 9	壺 土師	12.4 9.9 回-3 51/3	胎: 石英、白色砂粒、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)SYR6/6橙色 (青)7.5YR7/6橙色	丸みを帯びた胴部より僅かに外傾する口縁に至る 粘土帯積み上げ	(青)II縫部斜位の箇削り、胴部箇位の箇削り (青)横位の箇毛目
SD-04 119-10	壺 土師	12.0 -- 回-3 51/3	胎: 0.3 の疊、雲母、石英を多く含む 焼: 良好 色: (青)SYR6/6明赤褐色 (青)SYR6/4にぶい橙色	II縫部は緩やかに外反する 粘土帯積み上げ	(青)口縫部横挽で、縱方向の箇削りの後、精緻な縫位の箇磨き (青)II縫部横挽で、縱方向の箇削りの後、精緻な縫位の箇磨き
SD-07 120- 1	蓋 土師	12.3 2.3 5.0 01/4 43/5	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊、雲母を含む 焼: 良好 色: (青)SYR7/6橙色 (青)7.5YR7/6橙色	天井上部は平面で、裾部は起曲する	(青)機械による挽で、天井部回転糸切り (青)機械による挽で
SD-07 120- 2	瓶 土師	— 2.5 5.0 01/6 43-数	胎: 0.3 の疊、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)SYR7/4にぶい橙色 (青)SYR7/4にぶい橙色	天井上部は平面で、裾部は起曲する	(青)機械による挽で、天井部回転糸切り (青)機械による挽で 機械右回転
SD-07 120- 3	环 土師	13.4 4.5 5.6 01/5 43/3	胎: 0.3 の疊を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR7/4にぶい橙色 ~II縫部黒色 (青)黒色	平底より内凹しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(青)体部機械による挽で、底部回転糸切り (青)体部機械による挽で 機械右回転
SD-07 120- 4	环 土師	14.1 4.3 4.4 01/6 43/6	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR7/4にぶい橙色 ~II縫部黒色 (青)黒色	平底の底部より内凹しながら開き、口縫部で僅かに外反する	(青)機械による挽で、底部回転糸切り (青)体部機械による挽で 機械右回転
SD-07 120- 5	环 土師	13.4 4.3 4.6 01/3 43/2	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)SYR4/2灰褐色 (青)黒色	平底より内凹しながら立ち上がり、II縫で僅かに外反する	(青)機械による挽で、底部回転糸切り (青)体部機械による挽で 機械右回転
SD-07 120- 6	壺 土師	— 2.5 6.0 01-数	胎: 0.3 の疊、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)SYR6/6橙色 ~ 5/4 にぶい赤褐色 (青)黒色	平底の底部から内凹して立ち上がる	(青)胴部挽で、底部挽切り 底に×印の箇記号
SD-07 120- 7	壺 須恵	— 5.5 — 頸部 1/36	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR4/2灰褐色 (青)7.5YR4/2灰褐色		(青)機械による挽で (青)機械による挽で
SD-09 121- 1	环 土師	12.4 3.8 5.0 01/8 43/3	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)SYR6/6橙色 (青)SYR6/6橙 ~ 2.5YR5/3褐色	平底の底部より内凹する	(青)機械による挽で、底部回転糸切り (青)機械による挽で
SD-09 121- 2	环 土師	12.3 4.3 5.2 02/3 43/26	胎: 0.4 の疊を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (青)7.5YR7/4にぶい橙色 ~II縫部黒色 (青)黒色	平底より体部は内凹して口縫に至る	(青)機械による挽で、底部回転糸切り (青)機械による挽で

第44表 溝址出土遺物観察表(7)

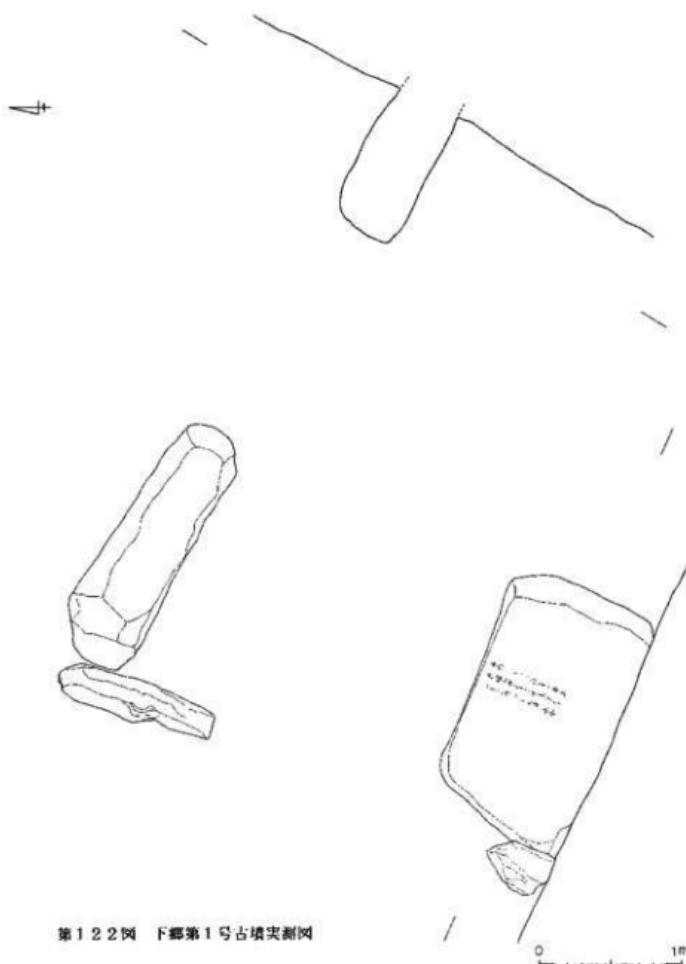
遺物No 図版No	器種類 形	法量 残存	器 質	成形・形彫	整形技法ほか
SD-09 121-3	坏 土師	3.4 7.5 41/3	胎: 石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/8橙色 (青)黒色	付高台 底部より内側しながら 立ち上がる	(青)機械による擦で 塗装か? (青)丁寧な擦磨き 黒色処理
SD-09 121-4	坏 弥生 脚部 部	2.3	胎: 0.3 の疊、雲母を含む 焼: 良好 色: (赤)10R4/8赤色(赤色 映彩) (青)10R4/8赤色(赤 色映彩)		?
SD-09 121-5	鉢 土師	20.7 4.5 — 口縁 一部	胎: 0.3 の疊、雲母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/4にぶい橙色 (青)2.5YR5/8黒色(結晶?)		(青)機械による擦で? 器面荒れ る (青)丁寧な擦磨き
SD-09 121-6	壺 土師	10.7 5.4 — 口縁 一部	胎: 0.3 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい橙色+ 汚れ多い (青)黒色	口縁部で「くの字」状 に外反する	(青)木口状工具による擦磨で (青)機械による擦で

第45表 溝址出土遺物観察表(8)

第四章 下郷古墳群の調査

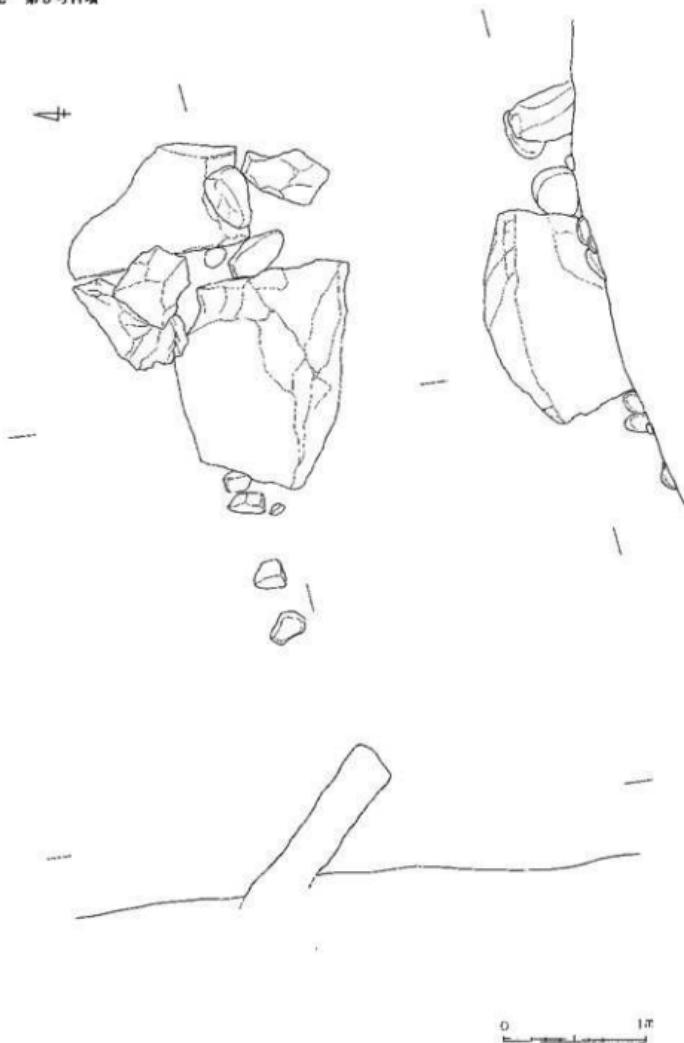
第1節 遺構

1 第1号古墳



第122図 下郷第1号古墳実測図

2 第3号古墳

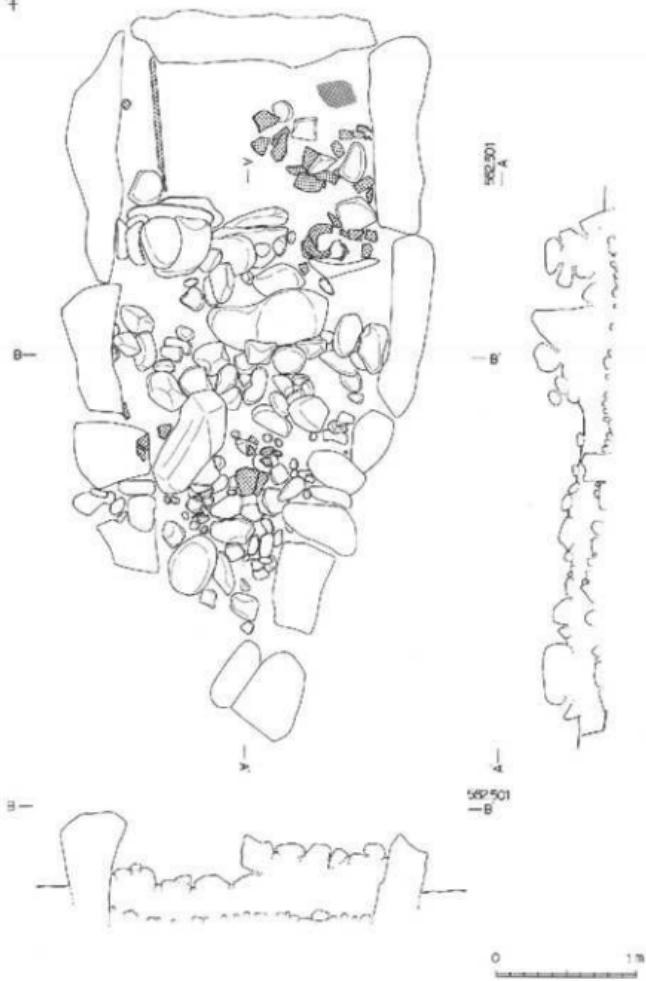


第1 2 3圖 下鄉第3号古墳実測図



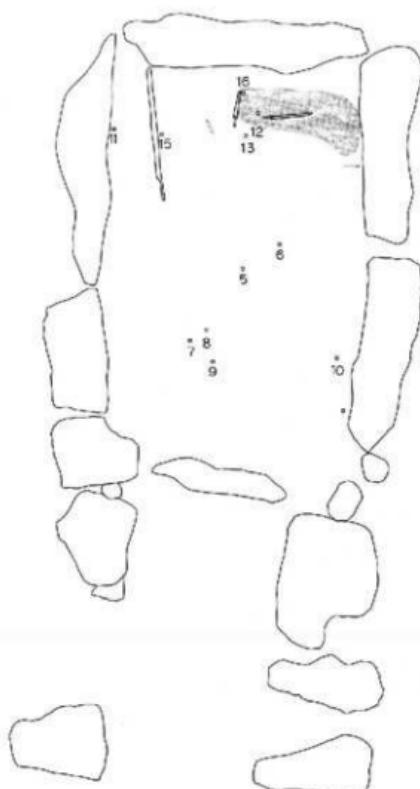
第124図 下郷第2号古墳調査前実測図

4



第125図 下郷第2号古墳石積除去後尖削圖

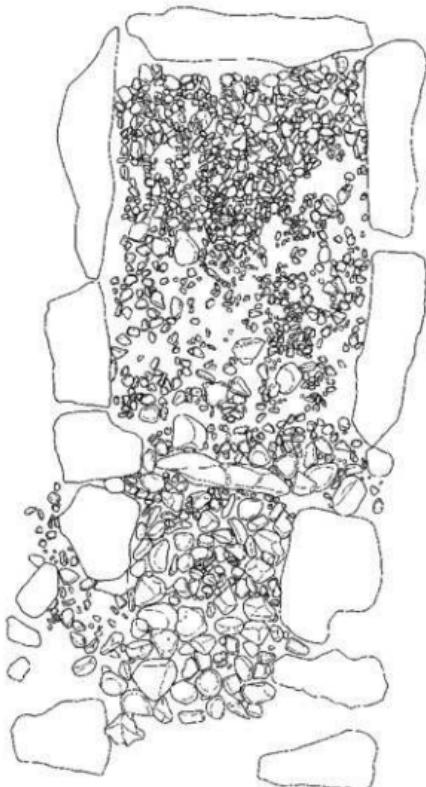
4



0 1m

第126圖 下鄧第2號古墳直刀・人骨・金環出土狀況實測圖

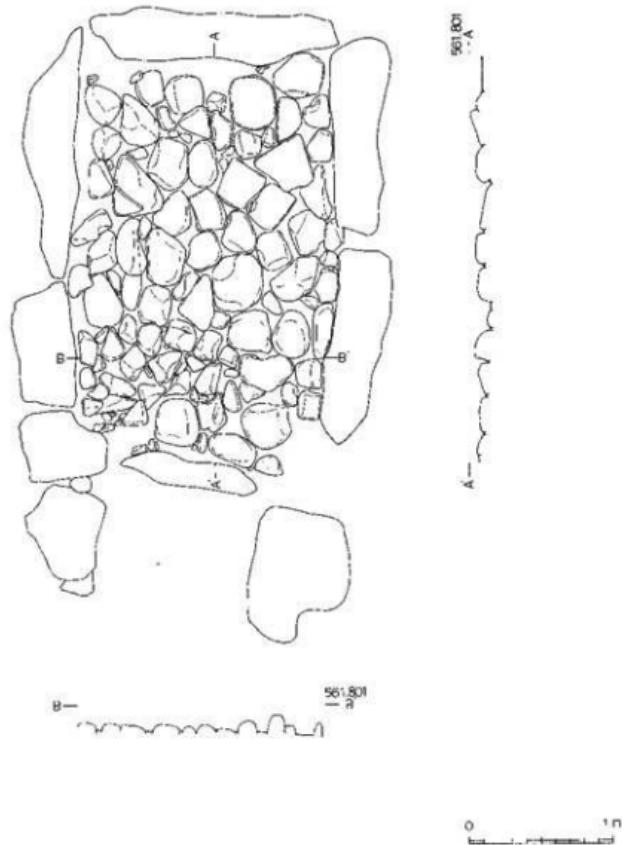
4



0 1m

第127図 下郷第2号古墳覆土除去後火窯図

4



第128圖 下部第2號古墳小壁除去後火窯図



第129圖 下鄉第2古墳周溝火薬圖

第2節 遺物

1 第1号古墳出土遺物



1



2

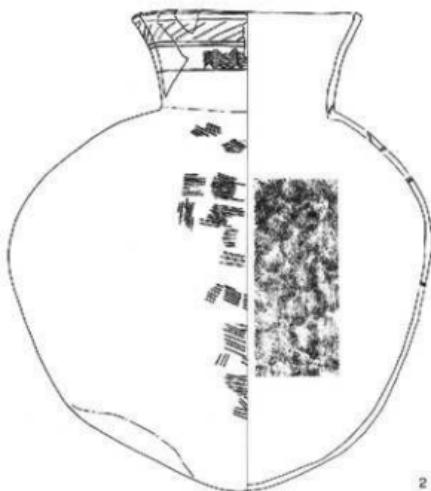
0 10cm

第130圖 下鄉第1号古墳出土遺物実測図

2 第2号古墳出土遺物

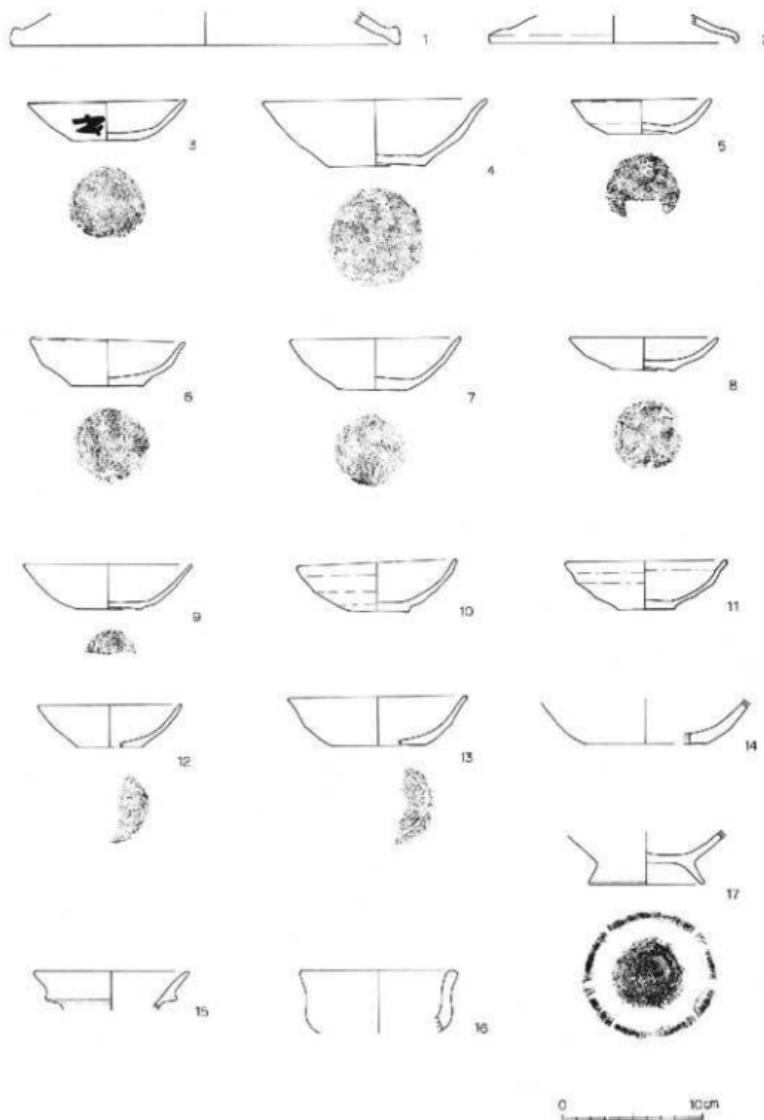


1 0 10cm

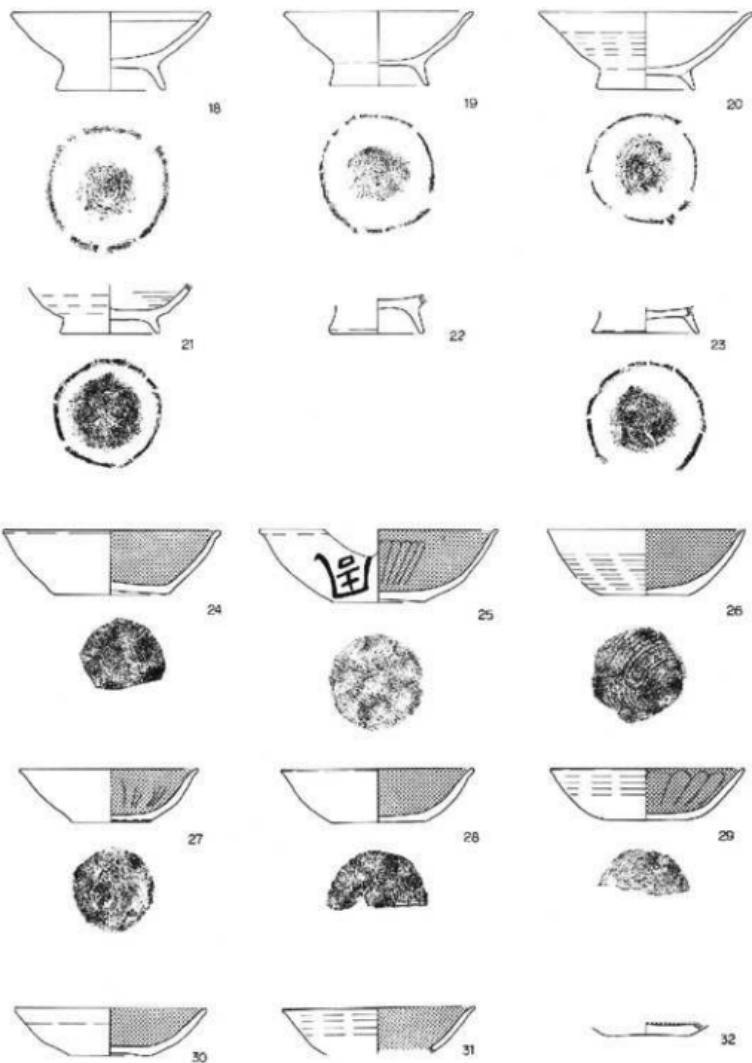


2 0 20cm

第131圖 下郷第2号古墳石室に出土遺物実測図

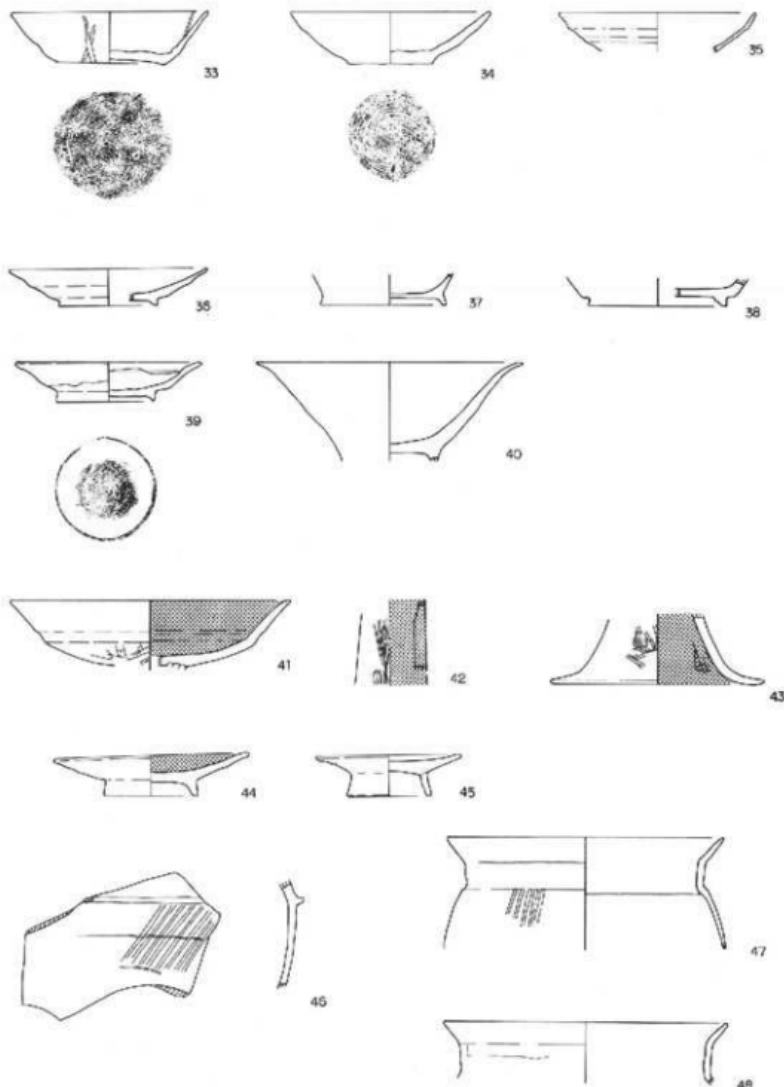


第132圖 下鄉第2號古墳石室外出土遺物實測圖(1)



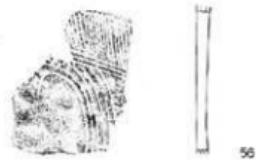
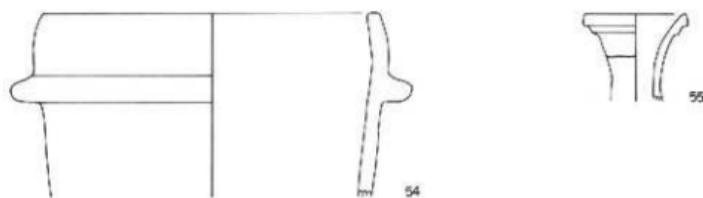
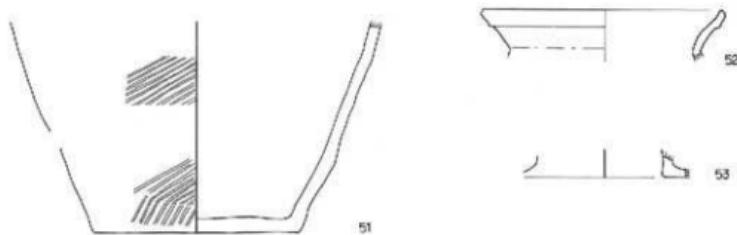
0 10cm

第133圖 下鄉第2號古墳石室外出土遺物實測圖(2)



第134图 下葬第2号古墓石室外出土遗物实测图(3)

0 10cm



0 10cm

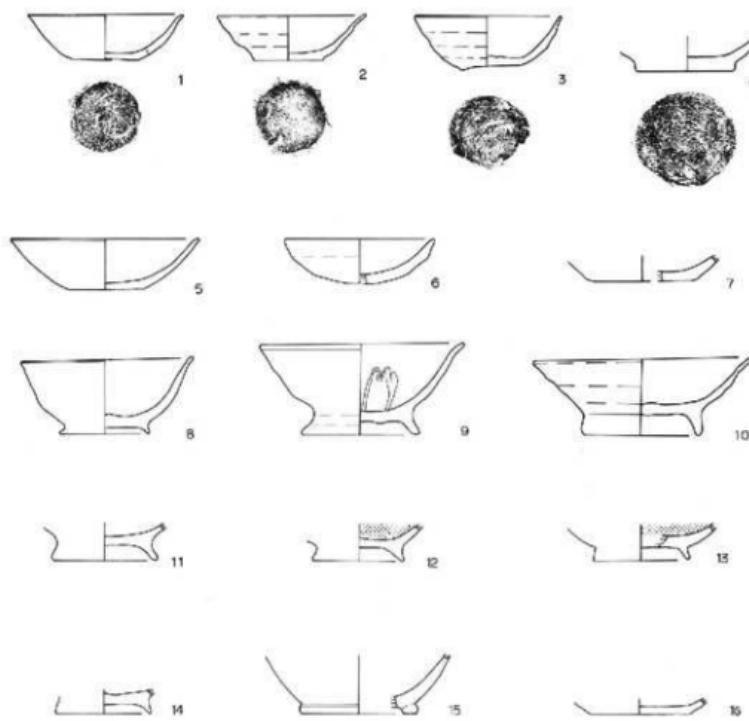
第135圖 下鄉第2號古墳石室外出土遺物實測圖(4)

3 第3号古墳出土遺物



第136図 下郷第3号古墳出土遺物実測図

4 第5号古墳出土遺物

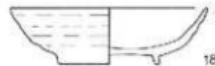


第137図 下郷第5号古墳出土遺物実測図(1)





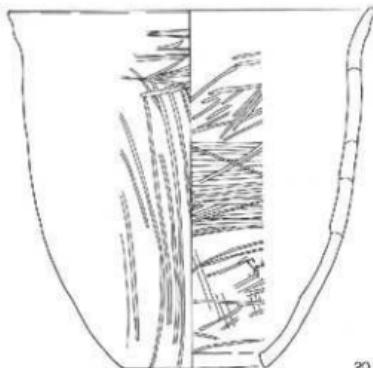
17



18



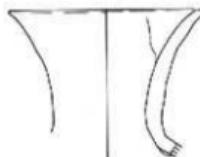
19



20



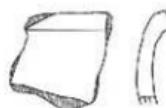
21



22



23



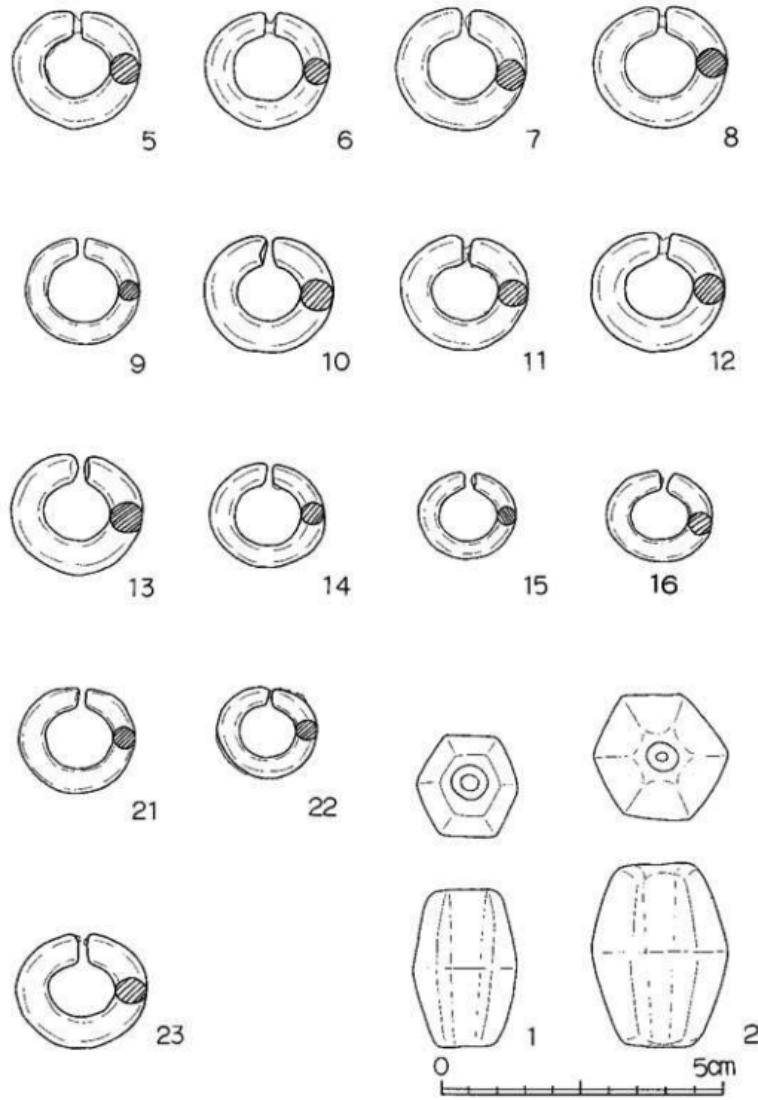
24



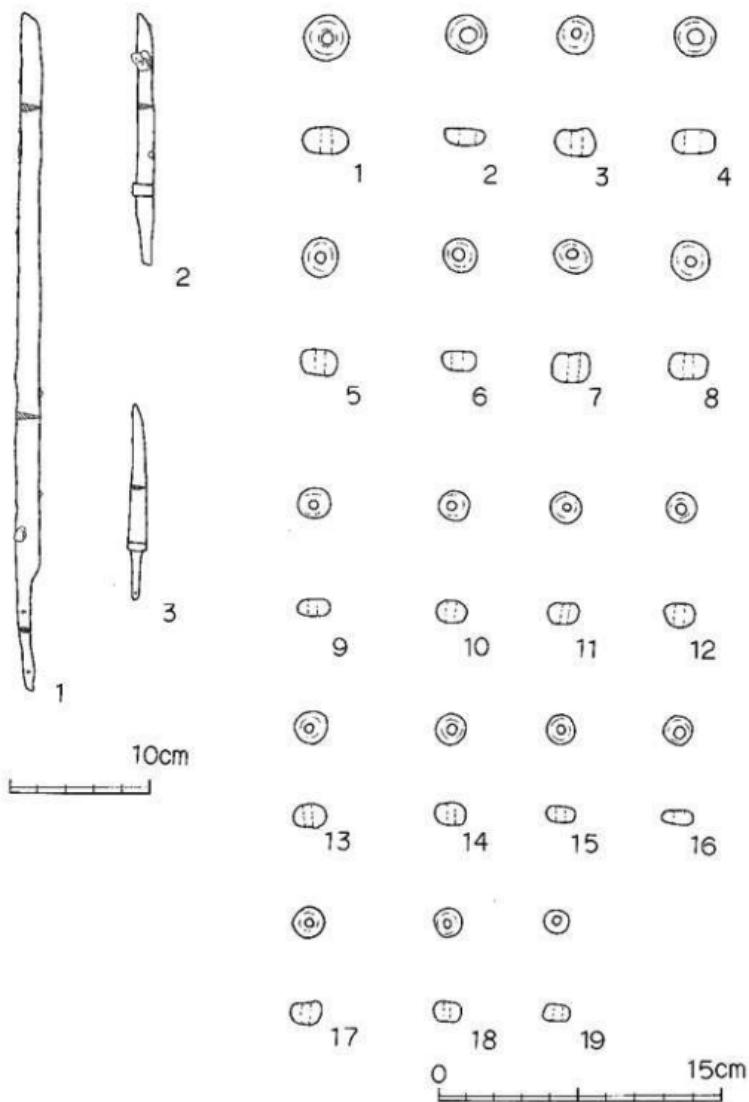
25



第138图 下鄧第5号古墳出土遺物実測図(2)



付圖 1 下鄉第2号古墳石室内出土金環・切子玉片面図



付図 2 下郷第2号古墳石室内出土直刀・ガラス小玉実測図

5 進物觀察表

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG 1 石室外 130-1	环	- 4.6 6.4 断面 割1/4	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR6/6 橙色 (B)黒色	平底から内湾して立ち上がる	(A)底部削り、体部横撫で、 体部下位窓削り (B)輪轍の窓磨き 黒色処理
SMG-1 石室外 130-2	环	- 1.6 3.6 底部 1/4	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)7.5YR6/6 橙色 (B)黒色	平底の底部	(A)底部回転糸切り (B)黒色処理
SMG 2 石室内 131-1	甕	22.2 46.5 4/5	胎: 0.3 ~ 0.8 の疊、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (A)7.5Y5/3 斜方-丸 (B)7.5Y5/3 斜方-丸	丸底より内湾して立ち上りがり、腹部上位に最大 径を持ち、頸部は緩やかに外反する	(A)胸部平行文の叩き、頸部波 状文の叩き LI 迂回 ~ 刃まで 線彫がかかる (B)輪轍による撫で
SMG-2 石室内 131-2	甕	33.2 68.0 2/3	胎: 0.3 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5Y5/2 斜灰オーリーブ色 (B)5Y6/2 斜灰オーリーブ色	腹部は丸みをおびて立ち上りがり、頸部は緩やかに外反する	(A)頸部棒状工具による波状文 胸部格子目叩き (B)青海波文の叩き
SMG-2 石室外 132-1	蓋	25.0 2.4 -	焼: 良好 色: (A)10YR3/1 黒褐色 (B)10YR4/1 塗灰色		(A)輪轍による撫で (B)輪轍による撫で
SMG-2 石室外 132-2	蓋	17.2 1.9 -	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)2.5Y3/3 塗オーリーブ 褐色 (B)2.5Y3/3 塗オーリーブ褐色		(A)輪轍による撫で (B)輪轍による撫で
SMG-2 石室外 132-3	坏	10.9 2.8 4.2 口縁 1/9	胎: 全表面を多く含む 焼: 良好 色: (A)7.5Y7/6 橙色 (B)7.5Y7/4 に近い橙色	輪轍による成形 平底より緩やかに聞く	(A)輪轍による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轍による撫で 墨書き
SMG-2 石室外 132-4	坏	16.0 4.7 6.9 上師 断面 割2/3	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5Y5/3 に近い赤褐色 (B)黒色	上げ底の底部より内湾 しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(A)輪轍による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轍による撫で
SMG 2 石室外 132-5	坏	9.6 2.4 4.6 1/3	胎: 全表面を多く含む 焼: 良好 色: (A)7.5Y7/4 に近い橙色 (B)7.5Y7/4 に近い橙色	上げ底の底部より内湾 して立ち上がる	(A)体部輪轍による撫で、底部 回転糸切り (B)輪轍による撫で
SMG 2 石室外 132-6	坏	10.7 3.4 5.0 11/3 断面 割2/3	胎: 0.4 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (A)5Y6/4 に近い橙色 (B)5Y6/4 に近い橙色	平底の底部より内湾して 立ち上がり口縁に平ら	(A)輪轍による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轍による撫で 輪轍右回転
SMG-2 石室外 132-7	坏	12.0 3.8 4.8 03/4	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (A)5Y6/4 に近い橙色 (B)5Y6/4 に近い橙色	平底の底部より内湾し ながら立ち上がり、口縁に平ら	(A)輪轍による撫で、底部回転 糸切り (B)輪轍による撫で 後肥さ

第46表 古墳出土 遺物観察表(1)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-02 石室外 132-8	环 土師	10.4 2.4 4.4 完存	胎: 0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR6/4にぶい橙色 (有)5YR6/4にぶい橙色	上げ底の底部より内凹しながら立ち上がり、口縁に至る	(有)機械による撫で、底部回転系切り (有)機械による撫で
SMG-02 石室外 132-9	环 土師 口/4 断面	11.9 3.2 4.5 01/4 断面	胎: 0.3 の礫、金雲母、雲母粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR4/3にぶい赤褐色 (有)黒色	上げ底の底部より内凹しながら立ち上がり、口縁に至る	(有)機械による撫で、底部回転系切り (有)機械による撫で
SMG-2 石室外 132-10	坏 土師	11.1 3.8 4.3 完存	胎: 0.3 ~ 0.7 の礫を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR7/4にぶい橙色 (有)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部より内凹しながら広がり、口縁に至る 底部が器厚	(有)機械による撫で、底部回転系切り (有)機械による撫で 機械右回転
SMG-2 石室外 132-11	坏 土師 断面 01/2	11.3 3.4 4.0 01/2	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR6/6橙色 (有)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内凹しながら開き、口縁部で外反する	(有)機械による擦磨き (有)機械による擦磨き
SMG-2 石室外 132-12	坏 土師	10.1 3.0 4.6 01/6 01/3	胎: 0.3 の礫を含む 焼: 良好 色: (有)5YR6/6橙色 (有)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内凹して立ち上がり口縁に至る	(有)機械による撫で、底部回転系切り (有)機械による撫で
SMG-2 石室外 132-13	坏 土師	12.7 3.5 6.5 01/7 01/3	胎: 0.4 の礫、金雲母、雲母粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR5/3にぶい赤褐色 (有)5YR5/3にぶい赤褐色	上げ底の底部より内凹しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(有)機械による撫で、底部回転系切り (有)機械による撫で
SMG-2 石室外 132-14	坏 土師 体部 1/8	- 3.1 8.6 01/8	胎: 石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (有)7.5YR5/3にぶい褐色 (有)7.5YR5/2灰褐色	体部は僅かに内凹して立ち上がる	(有)体部機械による撫で (有)体部丁寧な擦磨き
SMG-2 石室外 132-15	坏 土師 口縁 1/8	10.7 2.7 - 01/8	胎: 雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR6/4にぶい橙色 (有)5YR6/6橙色	体部で縫を有し口縁に至る	(有)機械による撫での後磨き (有)機械による撫での後精緻な磨き
SMG-2 石室外 132-16	坏 土師 口縁 1/6	10.9 4.4 - 01/6	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR3/3暗赤褐色 (有)5YR5/3にぶい赤褐色	口縁で緩やかに外反する	(有)機械による撫で (有)機械による撫で
SMG-2 石室外 132-17	坏 土師 直立部のみ	- 3.9 8.0 直立部のみ	胎: 金雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)2.5YR6/4にぶい橙色 (有)2.5YR6/4にぶい橙色	付高台の底部から緩やかに立ち上がる	(有)直立・体部機械による撫で 底部回転系切り (有)撫で
SMG-2 石室外 133-18	坏 土師	14.0 5.6 7.5 01/9 断面	胎: 0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (有)5YR5/4にぶい赤褐色 ~6/6 橙色 (有)6/6 橙色	付高台の底部より広がりながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(有)機械による撫で (有)機械による撫で

第47表 古墳出土遺物観察表(2)

構築No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 133-19	壺 土師	13.2 5.3 6.9 III/5 粗砂	胎: 0.4 の礫、玄母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6明赤褐色 (青)5YR5/6明赤褐色	付高台の底部より内窓しながら開き、口縁に至る	(赤)織輪による撫で、底部回転糸切り (青)織輪による撫で
SMG-2 石室外 133-20	壺 土師	14.9 5.5 6.7 III/4 粗砂	胎: 0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR6/4 に赤い黄褐色 (青)10YR6/4 に赤い黄褐色	付高台の底部より体部は緩く内窓し、外面に僅かな核を有しながら開き、口縁に至る	(赤)織輪による撫で、底部回転糸切り (青)織輪による撫で
SMG-2 石室外 133-21	壺 土師	— 3.5 7.0 48-8 粗砂	胎: 金雲母を多く、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	高台付きの底部から内窓して立ち上がる	(赤)体部織輪による撫で (青)織輪による撫で
SMG-2 石室外 133-22	壺 土師	— 2.4 6.4 青白系 のみ	胎: 金雲母、雲母を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/4 に赤い褐色 (青)7.5YR6/4 に赤い褐色	付高台	(赤)横撫で (青)横撫で
SMG-2 石室外 133-23	壺 土師	— II/8 7.4 脚部 のみ	胎: 金雲母を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	付高台	(赤)底部回転糸切りの後脚部を付ける (青)撫で
SMG-2 石室外 133-24	壺 土師	15.0 4.6 8.4 II/6-8 粗砂	胎: 玄母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR7/4明褐色 (青)黒色	上げ底の底部より内窓して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(赤)体部織輪による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理+精緻な笠磨き
SMG-2 石室外 133-25	壺 七師	16.8 5.1 6.6 III/4 粗砂	胎: 0.4 の礫、全雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR7/6褐色 (青)黒色	僅かに上げ底の底部より内窓しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(赤)織輪による撫で、底部回転糸切り (青)織輪による撫での後丁寧な放射状摩き、口縁は横摩き 織輪右回転 畏古
SMG-2 石室外 133-26	壺 土師	14.0 4.7 6.2 III/5 粗砂	胎: 石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/3 に赤い褐色 (青)黒色	平底の底部から体部は内窓して立ち上がる	(赤)体部織輪による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理+精緻な笠磨き 織輪右回転
SMG-2 石室外 133-27	壺 七師	12.8 3.8 5.6 III/3 粗砂	胎: 0.3 ~ 0.5 の礫、石英、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/4 に赤い褐色 (青)黒色	上げ底気味の底部から体部は僅かに内窓して開く	(赤)体部織輪による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理+笠磨き 織輪右回転 畏古土器
SMG-2 石室外 133-28	壺 土師	13.6 3.8 6.6 I/1/2 粗砂	胎: 0.3 ~ 0.7 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR5/4 に赤い褐色 (青)黒色	平底の底部から、体部は内窓して立ち上がる	(赤)体部織輪による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理+笠磨き 織輪右回転
SMG-2 石室外 133-29	壺 七師	13.8 3.7 6.0 III/4 I/1/2	胎: 雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)10YR4/2 灰黃褐色 (青)黒色	平底の底部から、体部は内窓しながら開く	(赤)体部織輪による撫で、底部回転糸切り (青)黒色処理+笠磨き 織輪右回転

第48表 古墳出土遺物観察表(3)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 133-30	环 土師	13.4 3.4 5.6 01/2 E3/4	胎: 0.4 の疊、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/5明赤褐色 (青)墨色	上げ底の底部より内凹して立ち上がり口縁に至る	(赤)機械による撫で、底部回転糸切り (青)機械による撫での後磨き
SMG-2 石室外 133-31	环 土師	13.8 3.3 01/5 E3-5	胎: 雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/3にぶい赤褐色 (青)黒色	体部は内窵しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(赤)体機械による撫で (青)精緻な旋磨き 黒色処理
SMG-2 石室外 133-32	环 土師 底部 完存	- 5.8	胎: 石英、粗砂粒を多く含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい褐色 (青)黒色	僅かに上げ底の底部	(赤)底部回転糸切り (青)磨き 黒色処理
SMG-2 石室外 134-33	环 須恵	13.8 3.8 7.7 01/5 E3-5	胎: 0.3 ~ 0.9 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR4/1灰褐色 (青)5YR5/2灰オリーブ色	上げ底の底部より内凹しながら立ち上がり腰を有し、口縁で外反する	(赤)機械による撫で、底部回転糸切り (青)機械による撫で 機械右回転火摩
SMG-2 石室外 134-34	环 須恵	14.0 3.7 6.0 01/5 E3-5	胎: 0.3 ~ 0.5 の疊を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/1黄灰色 (青)2.5YR5/2灰黄色	平底の底部より内凹しながら立ち上がり口縁に至る	(赤)機械による撫で、底部回転糸切り (青)機械による撫で
SMG-2 石室外 134-35	环 須恵	13.8 2.8 - 01/5 E3-5 1/8	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR7/1灰白色 (青)10YR7/1灰白色		(赤)機械による磨き 灰釉 (青)機械による磨き 灰釉
SMG-2 石室外 134-36	环 須恵	13.9 2.6 6.8 01/6	胎: 細砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5GY7/1明オリーブ色 (青)2.5GY5/1オリーブ色 灰色	付高台 底部より大きくなっている	(赤)機械による磨き (青)機械による磨き
SMG-2 石室外 134-37	环 須恵	- 2.1 8.9 01/8 E3/4	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR5/1褐灰色 (青)10YR5/1褐灰色	付高台	(赤)機械による撫で (青)機械による撫で 布の撫で
SMG-2 石室外 134-38	环 須恵	- 1.9 9.8 高台 1/6	胎: 0.3 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)10YR4/1褐灰色 (青)10YR4/1褐灰色	付高台	(赤)機械による撫で、底部回転糸切り 灰摩 (青)機械による撫で
SMG-2 石室外 134-39	环 須恵	13.0 2.9 6.8 01/5 E3-5 1/6	胎: 0.3 ~ 0.7 の疊、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR7/2灰黄色 (青)2.5YR7/2灰黄色	付高台 底部より内凹しながら広がり、内面に段を行し口縁で僅かに外反する	(赤)機械による撫で 灰釉 (青)機械による撫で 灰釉
SMG-2 石室外 134-40	环 須恵	18.9 7.0 - 01/6 E3/3	胎: 0.3 ~ 0.6 の疊、全雲母 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/6明赤褐色 (青)黒色	接合部より広がり、口縁で外反する	(赤)機械による撫での後磨き (青)機械による撫での後磨き

第49表 古墳出土遺物観察表(4)

造営No 図版No	器種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 134-41	高坏 土師	19.6 5.0 — 坏部 1/4	胎: 0.4 の繩、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい褐色～ 1YR1-2部黒色 (青)黒色	接合部より内窓して広 がり、体部で屈曲して 外反して、口縁部に至 る	(赤)口部輪轍による撫で、体 部下位箇所削り (青)輪轍による撫での後丁寧な 磨き 黒色処理
SMG-2 石室外 134-42	高坏 土師	— 5.0 — 脚部 — 部	胎: 0.4 の繩、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい褐色 (青)黒色		(赤)縦位の磨き (青)削り
SMG-2 石室外 134-43	高坏 土師	— 5.0 14.5 脚部 部	胎: 0.3 ～ 0.5 の繩、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/4にぶい褐色 (青)黒色	脚部粘部で大きく開く	(赤)削りの後、縦位の磨き 脚部の磨き (青)輪轍による撫で、脚部削 り
SMG-2 石室外 134-44	皿 土師	13.4 3.1 6.3 0枚 4枚	胎: 0.4 の繩、金雲母、粗砂 粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6褐色 (青)黒色	付高台 底部より大きく広がり 口縁で僅かに外反する	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫での後磨き
SMG-2 石室外 134-45	皿 土師	10.7 2.9 5.8 01/8 44/5	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR6/6褐色 (青)5YR6/6褐色	付高台 底部より大きく広がる	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で
SMG-2 石室外 134-46	壺 須恵	— 7.7 — 体部 一部	胎: 粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/2暗灰黄色 (青)5.5YR5/2暗灰黄色	肩に三角帶を有す	(赤)輪轍による撫で、捺叩き (青)輪轍による撫で
SMG-2 石室外 134-47	壺	17.6 8.6 — 0枚 1/36	胎: 雪母、白色砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)7.5YR6/4にぶい褐色 (青)7.5YR6/4にぶい褐色	口辺部「コの字」状に 外反する	(赤)口縁部横擦で、胸部平行文 の叩き (青)横撫で
SMG-2 石室外 134-48	壺 土師	19.8 4.3 — 0枚 1/6	胎: 雪母を多く、白色砂粒を 僅かに含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/6明赤褐色 (青)7.5YR6/5明褐色	口辺部「コの字」状に 外反する	(赤)口縁部横擦で、頸部底削り の後横撫で (青)横撫で
SMG-2 石室外 135-49	壺 土師	19.2 6.0 — 口縁 一部	胎: 0.3 の繩、雪母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁で「コの字」状に 外反する	(赤)口縁部横擦で、頸部底削り の後横撫で (青)胸部横位の旋拂で
SMG-2 石室外 135-50	壺 土師	11.9 3.3 — 0枚 1/4	胎: 0.3 の繩、雪母、粗砂粒 を含む 焼: 良好 色: (赤)5YR5/4にぶい赤褐色 (青)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁で「コの字」状に 外反する	(赤)輪轍による撫で (青)輪轍による撫で
SMG-2 石室外 135-51	壺 須恵	— 15.0 14.5 0枚 1/25	胎: 0.3 の繩、粗砂粒を含む 焼: 良好 色: (赤)2.5YR5/1黄灰色～ 6/2 灰黄色 (青)2.5YR6/2灰黄色	平底の底部から体部は 直線的に外傾する 粘土帯積み上げ	(赤)平行文の叩き (青)刷毛、指の押圧、撫で

第50表 古墳出土遺物観察表(5)

遺構No 図版No	器種 種類	法延 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 135-52	甕 須恵	16.7 3.5 口部 1/8	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10Y6/1灰色 灰褐色 (青)10Y6/1灰色	口縁部で「くの字」状に外反し、縁を有す	(赤)織輪による磨き (青)織輪による磨き
SMG-2 石室外 135-53	甕 須恵	- 2.0 - 頭部 -?:	胎:0.4の疊、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR4/1褐灰色 (青)10YR4/1褐灰色		(赤)織輪による施で (青)織輪による施で
SMG-2 石室外 135-54	羽釜 土師	24.0 13.0 口全体 部	胎:0.4の疊、雲母、金雲母を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR4/3褐色 (青)7.5YR4/3褐色	利益	(赤)口縁部横撫で、胸部叩きの後捺削り (青)刷毛状工具による積付の撫で
SMG-2 石室外 135-55	量量瓶 墨瓶?	7.0 6.2 - 頸部	胎:0.3の疊、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR5/2オリーブ灰色 (青)10YR5/2オリーブ灰色~4/2オリーブ灰色	口縁部で屈曲し、口唇部に至る	(赤)織輪 (青)織輪
SMG-2 石室外 135-56	鉢 織文	10.0 - -	胎:0.3の疊、全云母、石英を含む 焼:良好 色:(赤)5YR5/4にぼい赤褐色 (青)5YR5/4にぼい橙色		(赤)沈線に文様構成
SMG-3 石室外 136-1	环? 土師	- 2.0 10.4 底部 1/5	胎:石英を多く含む 焼:良好 色:(赤)10YR6/4にぼい黄褐色 (青)5YR6/4にぼい橙色	平底の底部に指で擴んだ形の足がついている	(赤)施で (青)施で
SMG-3 石室外 136-2	环 陶器	- 1.6 4.0 42/3 頭部	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR5/2灰黃褐色 (青)10YR6/2灰黃褐色	付高台	(赤)織輪による施で (青)織輪による施で
SMG-3 石室外 136-3	? 織文	- 7.0 -	胎:0.3の疊、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR6/4にぼい黄褐色 (青)10YR5/4にぼい黄褐色	口縁の下に縁を有し、口唇部は面取り	(赤)口縁部横撫で (青)横撫で
SMG-5 石室外 137-1	环 土師	10.0 3.3 4.8 D7/8 頭部	胎:0.3の疊、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR5/4にぼい赤褐色 (青)5YR5/4にぼい赤褐色	僅かに上げ底気味の底より内窓しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(赤)体部織輪による施で、底部回転系切り (青)織輪による施で 織輪右回転
SMG-5 石室外 137-2	环 土師	10.4 3.2 4.8 D1/3 頭部	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR8/3淡褐色 (青)5YR8/3淡褐色	体部は僅かに内窓して開く 粘土帶積み上げ	(赤)織輪による施で、底部回転系切り (青)織輪による施で
SMG-5 石室外 137-3	环 土師	10.5 4.0 4.7 ほぼ 完存	胎:石英、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR6/4にぼい橙色 (青)5YR6/4にぼい橙色	体部は内窓しながら開き、口縁部でやや外反する 粘土帶積み上げ	(赤)織輪による施で、底部回転系切り (青)織輪による施で

第51表 古墳出土遺物観察表(6)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	素 質	成形・形態	整形技法ほか
SNG-5 石室外 137-4	环	- 2.4 7.0 底部 完存	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7YR7/3に赤い橙色 (青)SYR5/1褐色		(赤)横振で、底部回転糸切り (青)輪轂による振で
SNG-5 石室外 137-5	环	13.2 3.6 5.4 H-E 1/3	胎:雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR7/6橙色 (青)黑色	平底より内寄して立ち 上がり、口縁部で僅か に外反する	(赤)底部輪轂による振で、底部 回転糸切り+窓調整 (青)黒色処理
SNG-5 石室外 137-6	环	10.4 3.2 2.2 H-E 1/4	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR8/3 浅黄橙色 (青)10YR8/3 浅黄橙色	丸底より内寄して立ち 上がる	(赤)横位の振で (青)横位の振で
SNG-5 石室外 137-7	环	- 1.8 3.6 底部 1/4	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR6/4に赤い橙色 (青)7.5YR6/3に赤い褐色	平底の底面	(赤)底部輪轂による振で、底部 回転糸切り (青)輪轂による振で
SNG-5 石室外 137-8	环	12.2 5.2 6.4 H-E 1/2	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR5/2灰褐色 (青)黑色	体部は内寄しながら開 き、口縁部は僅かに外 反する 粘土帶積み上げ	(赤)体部横位の振で、底部回転 糸切り (青)黒色処理+窓磨き
SNG-5 石室外 137-9	环	14.3 6.5 8.4 3/4 H-E 2/3	胎:0.3~0.5の礫、雲母、 粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR5/4に赤い褐色 (青)黑色	体部は内寄しながら開 き、口縁部で外反する 粘土帶積み上げ	(赤)体部は横位の振で (青)黒色処理+窓磨き
SNG-5 石室外 137-10	环	15.4 5.8 8.4 1/2 底部 剥離	胎:黒雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)5YR3/4暗赤褐色 (青)5YR4/4に赤い褐色	体部は緩く外反しなが ら開く 粘土帶積み上げ	(赤)体部輪轂による振で、底部 回転による窓切り (青)輪轂による振で
SNG-5 石室外 137-11	环	- 2.4 7.4 底部 剥離 H-E 1/2	胎:石英、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR7/6橙色 (青)10YR6/3に赤い黄色	付高台	(赤)底部回転糸切りの後振で (青)横振で
SNG-5 石室外 137-12	环	- 2.6 6.6 底部 5/6	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)7.5YR6/4に赤い褐色 (青)黑色	付高台	(赤)輪轂による振で (青)黒色処理
SNG-5 石室外 137-13	环	- 2.6 6.4 底部 1/2	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR8/2灰白色 (青)黑色	付高台	(赤)底部窓切り (青)黒色処理
SNG-5 石室外 137-14	环	- 1.7 4.8 H-E 2/3 剥離	胎:金雲母、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(赤)10YR6/4に赤い褐色 (青)黑色	付高台	(赤)底部回転糸切りの後振で (青)黒色処理

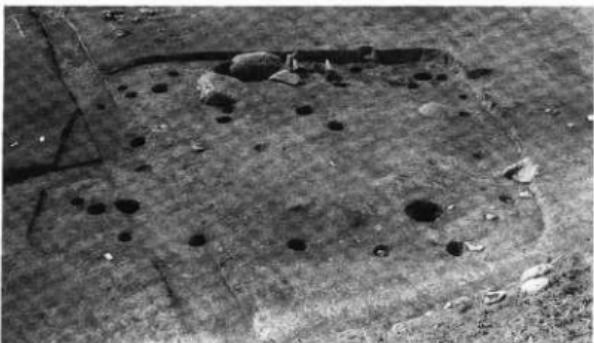
第52表 古墳出土遺物観察表(7)

遺物No 國版No	器種 種類	法量 残存	器 質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-5 石室外 137-15	环 須惠	- 4.2 8.4 底部 1/8	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)2.5Y7/2 灰黄色 (青)2.5Y7/2 灰黄色	高台付の底部から内寄して立ち上がる	(青)輪轂による撫で (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 137-16	环 須惠	- 1.1 7.0 底部 1/4	胎:白色砂粒を多く含む 焼:良好 色:(青)2.5Y5/1 黄灰色 (青)2.5Y5/1 黄灰色	平底の底部	(青)体部輪轂による撫で、底部回転糸切り (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 138-17	环 須惠	- 2.2 4.0 底部 完存	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR8/1灰白色 (青)5YR8/1灰白色		(青)輪轂による撫で、底部回転糸切り (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 138-18	环 灰釉 灰釉	13.5 4.0 7.2 H1/5 H1/2	胎:白色砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/1明褐色 (青)5YR7/1明褐色	体部は内寄して開き、口縁部で側かに外反する 粘土帯積み上げ	(青)横位の撫で (青)横位の撫で
SMG-5 石室外 138-19	甕 土師	- 2.7 9.6 底部 2/3	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)10YR6/4 にぶい黄褐色 (青)10YR6/4 にぶい黄褐色	平底の底部	(青)底に葉の模様あり
SMG-5 石室外 138-20	甕 土師	25.6 25.5 10.0 1/2	胎:0.3の疊、粗砂粒を多く含む 焼:良好 色:(青)5YR7/6橙色 (青)5YR7/4にぶい橙色	孔部から胴部はやや内寄して口縁部は外反して開く 粘土帯積み上げ	(青)口縁～孔部削り後擦磨をして、口縁もう一度横位の擦磨 (青)削り後胴部下位に刷毛目をし丁寧に横位の擦磨
SMG-5 石室外 138-21	甕? 須惠	- 4.7 -	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)2.5Y6/2 灰黄色 (青)2.5Y7/2 灰黄色		(青)叩き目 (青)青海波文の叩き
SMG-5 138-22	長唇甕 須惠	13.5 9.7 0.5 1/2	胎:粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5Y6/2 灰オリーブ色 (青)5Y7/1 灰白色	頸部より外反する口縁に至る	(青)輪轂による撫で、部分的に輪がかかる (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 138-23	長唇甕 須惠	20.6 5.5 - 口唇部 一部	胎:白色砂粒、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5Y2/1 黒色 (青)2.5Y5/2 暗灰黄色	外反した口縁	(青)輪轂による撫で (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 138-24	長唇甕 須惠	- 6.6 - 口唇部 一部	胎:白色砂粒、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)2.5Y5/1 黄灰色 (青)2.5Y5/2 暗灰黄色	外反した口縁 粘土帯積み上げ	(青)輪轂による撫で (青)輪轂による撫で
SMG-5 石室外 138-25	深鉢 圓文	- 10.5 口唇部 一部	胎:石英、粗砂粒を含む 焼:良好 色:(青)5YR7/2灰褐色 (青)7.5YR6/3にぶい褐色	胴部より側かに外反し 口縁に至る 粘土帯積み上げ	(青)胴部と口縁部に条線文ある 焼き? (青)横撫での後磨き

第53表 古墳出土遺物観察表(8)

写 真 図 版

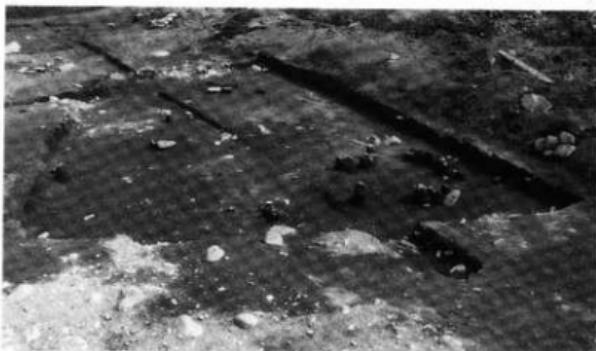




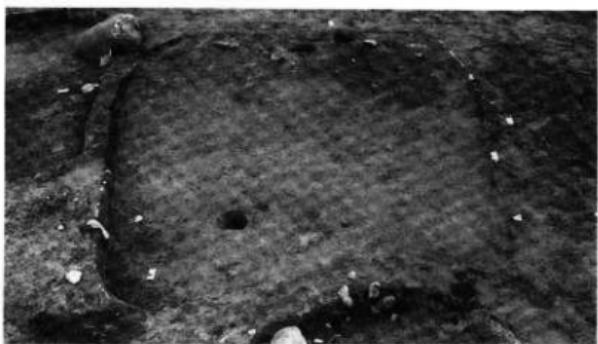
K N B
S B - 01 (E)



K N B
S B - 01 窟 (E)

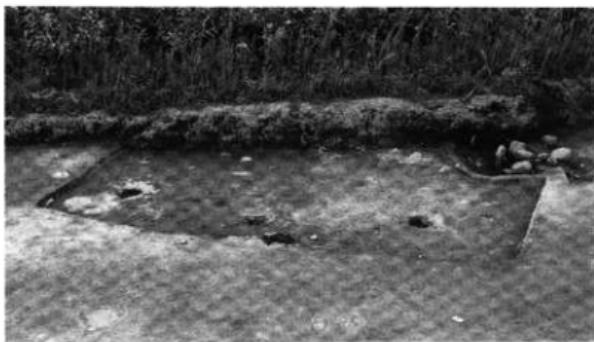


K N B
S B - 03 (W)





K N B
S B - 10 窩 (W)



K N B
S B - 11 (E)



K N B
S B - 13 (E)

P L 5

神林遺跡遺構寫真(4)

K N B

S B - 13 電 (E)



K N B

S B - 14 (E)



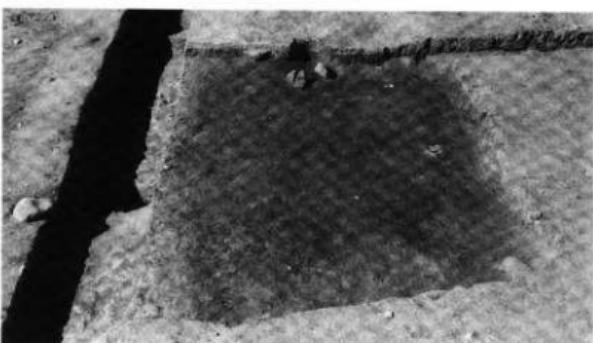
K N B

S B - 14 電 (E)





K N B
S B - 19 (N)
手前は S B - 29
奥は S B - 30



K N B
S B - 21 (E)



K N B
S B - 22 (E)

K N B
S B - 23 (W)



K N B
S B - 23 (W)



K N B
S B - 24 (E)





K N B
S B - 28 (W)



K N B
S B - 30 (手前・S)



K N B
S X - 01 (E)

S M G - 1 (S)
調査前



S M G - 1 奥壁 (S)
銘文



S M G - 1 (S)
調査後





SMG-2 (S)
調査前



SMG-2 (W)
調査前



SMG-2 (S)
石積除去後

S M G - 2 (N)

石積除去後



S M G - 2 (S)

石室内石積



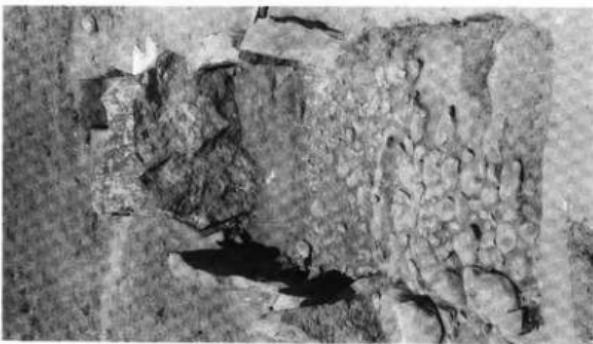
S M G - 2 (N)

石室内石積

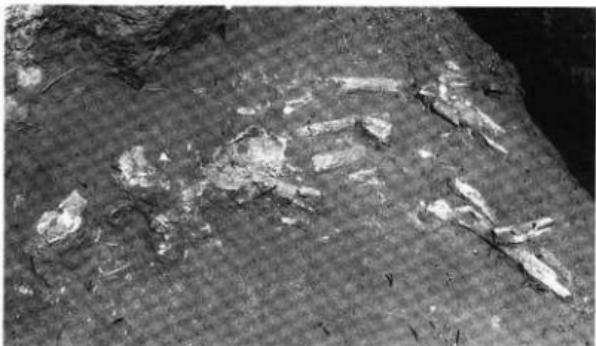




S M G - 2 (W)
直刀出土状態

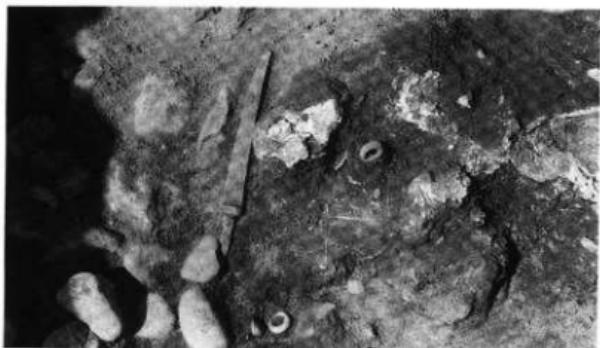


S M G - 2 (S)
閉塞石除去後

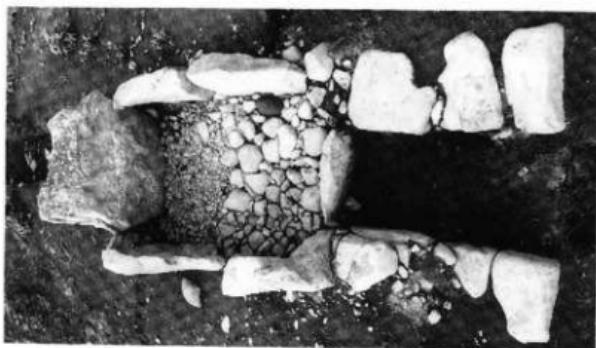


S M G - 2 (S)
人骨・金環出土状態

S M G - 2 (S)
石室内金環等出土



S M G - 2 (S)
覆土除去後



S M G - 2 (S)
石室内小砾除去後





S MG - 3 (S)
調査前



S MG - 3 (W)
調査前



S MG - 5 (S)
調査前



K N B K N B
S B - 01 S B - 01
- 01 - 07



K N B K N B
S B - 01 S B - 01
- 02 - 13



K N B K N B
S B - 01 S B - 01
- 03 - 13



K N B K N B
S B - 01 S B - 01
- 04 - 14, - 15



K N B K N B
S B - 01 S B - 03
- 05 - 01



K N B K N B
S B - 01 S B - 03
- 06 - 03





K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 05 - 11



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 06 - 14



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 07 - 15



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 08 - 16



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 09 - 17



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 10 - 18

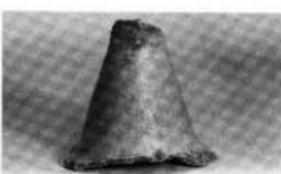




K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 19 - 29



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 20 - 30



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 25 - 32



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 26 - 31



K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 27 - 33

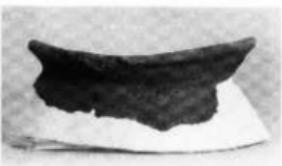


K N B K N B
S B - 03 S B - 03
- 28 - 34





K N B K N B
S B - 03 S B - 08
- 35 - 05



K N B K N B
S B - 03 S B - 08
- 36 - 06



K N B K N B
S B - 08 S B - 08
- 01 - 07



K N B K N B
S B - 08 S B - 09
- 02 - 01



K N B K N B
S B - 08 S B - 09
- 03 - 02



K N B K N B
S B - 08 S B - 09
- 04 - 03





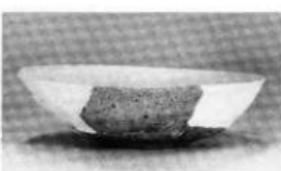
K N B K N B
S B - 09 S B - 10
- 04 - 09



K N B K N B
S B - 09 S B - 12
- 05 - 01



K N B K N B
S B - 09 S B - 12
- 06 - 03



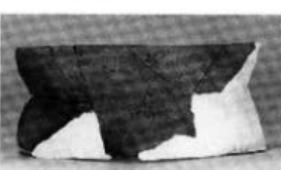
K N B K N B
S B - 10 S B - 12
- 03 - 04



K N B K N B
S B - 10 S B - 12
- 05 - 06



K N B K N B
S B - 10 S B - 12
- 06 - 07





K N B
S B - 14
- 02



K N B K N B
S B - 13 S B - 14
- 02 - 03



K N B K N B
S B - 13 S B - 14
- 03 - 04



K N B K N B
S B - 13 S B - 14
- 04 - 05



K N B
S B - 13
- 05



K N B K N B
S B - 14 S B - 14
- 01 - 07





K N B K N B
S B - 14 S B - 14
- 08 - 12



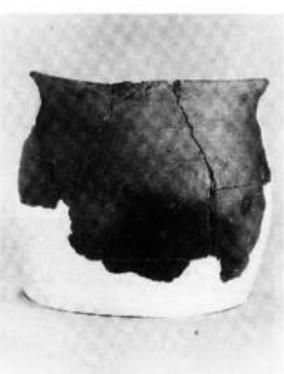
K N B K N B
S B - 14 S B - 14
- 09 - 13



K N B
S B - 14
- 10



K N B K N B
S B - 14 S B - 14
- 11 - 14





K N B
S B - 18
- 06



K N B K N B
S B - 14 S B - 18
- 16 - 10



K N B
S B - 19
- 01



K N B K N B
S B - 14 S B - 19
- 17 - 05



K N B K N B
S B - 14 S B - 19
- 18 - 06



K N B K N B
S B - 18 S B - 19
- 04 - 07





K N B K N B
S B - 19 S B - 21
- 08 - 01



K N B K N B
S B - 19 S B - 21
- 09 - 02



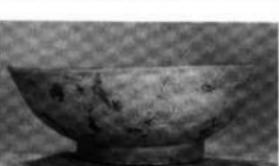
K N B K N B
S B - 19 S B - 23
- 13 - 02



K N B K N B
S B - 19 S B - 23
- 14 - 03

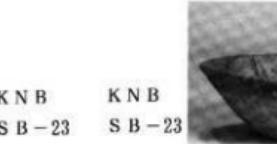
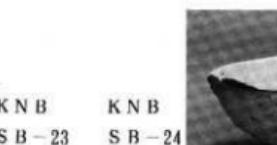
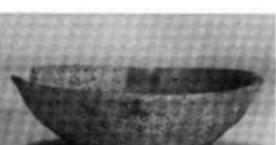
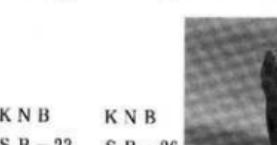


K N B K N B
S B - 19 S B - 23
- 15 - 04



K N B K N B
S B - 19 S B - 23
- 16 - 07



	K N B S B - 23 - 08		K N B S B - 23 - 15
	K N B S B - 23 - 09		K N B S B - 23 - 21
	K N B S B - 23 - 11		K N B S B - 24 - 05
	K N B S B - 23 - 12		K N B S B - 24 - 10
	K N B S B - 23 - 13		K N B S B - 26 - 03
	K N B S B - 23 - 14		K N B S B - 27 - 03



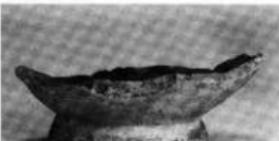
K N B K N B
S B - 27 S B - 28
- 04 - 07



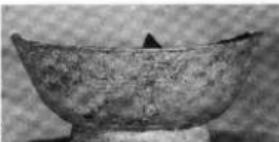
K N B K N B
S B - 27 S B - 28
- 05 - 08



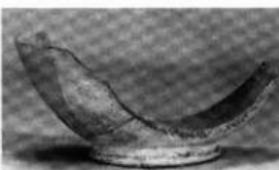
K N B K N B
S B - 28 S B - 28
- 01 - 10



K N B K N B
S B - 28 S B - 28
- 02 - 12



K N B K N B
S B - 28 S B - 28
- 04 - 13



K N B K N B
S B - 28 S B - 30
- 05 - 03



